

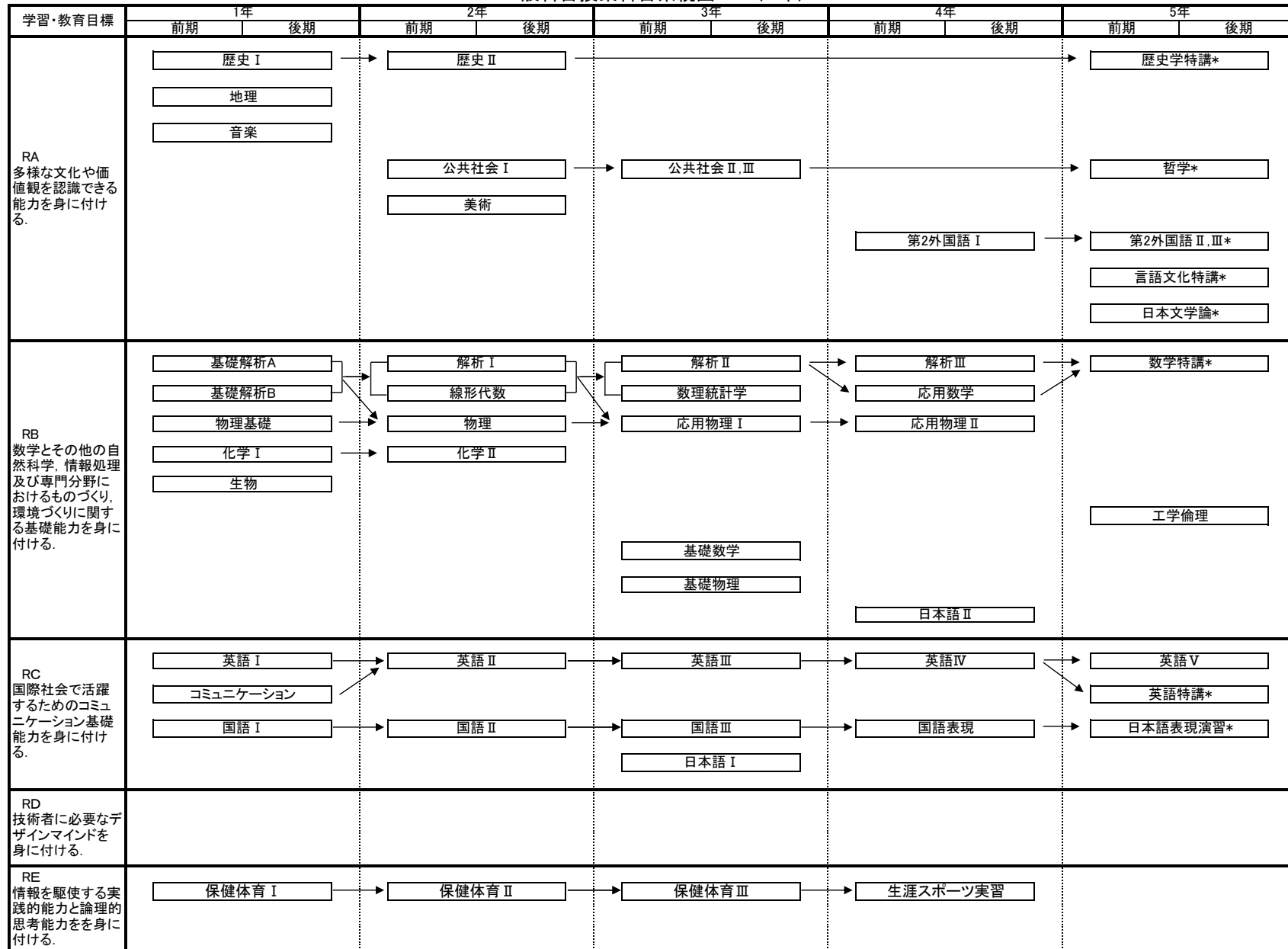
令和8年度本科(準学士課程)の学習・教育目標と科目の配置

一般科目(1年)

本科(準学士課程)						
大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年
RA 多様な文化や価値観を認識できる能力を身に付ける。	1 人間社会の基本的な仕組みを理解し、様々な地域の言語や歴史・伝統などの文化を多面的に認識できる。	歴史Ⅰ 地理	歴史Ⅱ 公共社会Ⅰ	公共社会Ⅱ 公共社会Ⅲ	第2外国語Ⅰ	歴史学特講 哲学 第2外国語Ⅱ 第2外国語Ⅲ 言語文化特講 日本文学論
	2 様々な地域における芸術とそれに根ざした価値観を、認識・理解する意識を持てる。	音楽	美術			
RB 数学とその他の自然科学、情報処理及び専門分野におけるものづくり、環境づくりに関する基礎能力を身に付ける。	1 数学とその他の自然科学に関する基礎知識を理解できる。	基礎解析A 基礎解析B 物理基礎 化学Ⅰ 生物	解析Ⅰ 線形代数 物理 化学Ⅱ	解析Ⅱ 数理統計学 応用物理Ⅰ 基礎数学 基礎物理	解析Ⅲ 応用数学 応用物理Ⅱ	数学特講
	2 専門分野における基礎知識・技術に基づいて情報を処理し、工学的現象を正しく理解できる。	専門基礎Ⅰ 専門基礎Ⅱ 専門基礎Ⅲ	(各学科専門科目:座学,製図等)	(各学科専門科目:座学,製図等)	日本語Ⅱ (各学科専門科目:座学,製図等)	工学倫理 (各学科専門科目:座学,製図等)
RC 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける。	1 英語による基本的な対話や文章が理解でき、自分の意見を表現できる。	英語Ⅰ コミュニケーション	英語Ⅱ	英語Ⅲ	英語Ⅳ	英語Ⅴ 英語特講
	2 日本語の文章や言語作品を的確に理解・鑑賞でき、自分の思いや主張を適切に日本語の談話や文章で表現できる。	国語Ⅰ	国語Ⅱ	国語Ⅲ 日本語Ⅰ	国語表現	日本語表現演習 卒業研究

大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年
	3 わかりやすい図表等を作成し、それを用いて日本語により効果的な説明ができる。					卒業研究
RD 技術者に必要なデザインマインドを身に付ける。	1 課題に対して自主的に問題を発見し、解決方法を探求して問題解決能力の重要性を認識できる。			(工学演習, 工学実験, 創成科目等)	(創成科目等)	
RE 情報を駆使する実践的能力と論理的思考能力を身に付ける。	1 実験・調査などの経験を通してデータの解析法を学び、理論との比較や考察などができる。				(工学演習, 工学実験等)	(工学演習, 工学実験等)
	2 課題の背景を理解し、習得した知識を生かして適切な方法を選んで実験・調査などを遂行し、データを解析・考察することにより、結果を客観的に説明できる。					卒業研究
	3 身体・健康・スポーツに関する知識と実践力を獲得するために各自の能力に応じて目標を設定し、個人あるいはグループで課題を達成できる。	保健体育 I	保健体育 II	保健体育 III	生涯スポーツ実習	

一般科目授業科目系統図 (1年)



*: 選択必修科目

別表第1 (第13条第2項関係)

一般科目

各系共通

授業科目		単位種別	単位数	学年別配当					備考	
				1年	2年	3年	4年	5年		
必修科目	国語	国語Ⅰ	2	2						留学生は対象外
		国語Ⅱ	2		2					
		国語Ⅲ	2			2				
		国語表現	2				2			
	社会	公共社会Ⅰ	2		2					留学生は対象外
		公共社会Ⅱ	1			1				
		公共社会Ⅲ	1			1				
		歴史Ⅰ	2	2						
	数学	歴史Ⅱ	2		2					
		地理	2	2						
		基礎解析A	4	4						
		基礎解析B	3	3						
	理科	解析Ⅰ	4		4					
		線形代数	2		2					
		解析Ⅱ	3			3				
		解析Ⅲ	2				2			
	保健体育	物理基礎	2	2						
		物理	3		3					
		化学Ⅰ	2	2						
		化学Ⅱ	2		2					
	芸術	生物	1	1						
		保健体育Ⅰ	4	4						
		保健体育Ⅱ	2		2					
		保健体育Ⅲ	2			2				
	外国語	生涯スポーツ実習	2					2		
		美術	1		1					
		音楽	1	1						
英語Ⅰ		4	4							
英語Ⅱ		4		4						
英語Ⅲ		4			4					
英語Ⅳ	2				2					
英語Ⅴ	2					2				
第2外国語Ⅰ	2					2		留学生は対象外		
工学倫理	1						1			
修得単位計			79	29	24	13	10	3		
選択必修科目	第2外国語Ⅱ	1						1	2単位以上 修得すること	
	第2外国語Ⅲ	1						1		
	言語文化特講	1						1		
	日本語表現演習	1						1		
	日本文学論	1						1		
	哲学	1						1		
	歴史学特講	1						1		
	数学特講	1						1		
	英語特講	1						1		
	他大学等科目(一般)	1						1		
修得単位計			2以上					2以上		
正課外科目	大学等における学修			(別に定める)					卒業認定に必要な単位数には含まれないが、単位認定は行う。	
	技能審査における学修			(別に定める)						
修得単位合計 (卒業認定必要単位数)			81以上	29	24	13	10	5以上		
外国人留学生修得単位計			73以上	29	24	9	6	5以上		
(特設必修科目)	日本語Ⅰ	2			2				留学生のみ対象	
	日本語Ⅱ	2				2				
	基礎数学	2			2					
	基礎物理	2			2					
修得単位計			8			6	2			
外国人留学生修得単位合計 (卒業認定必要単位数)			81以上	29	24	15	8	5以上		

注：学修単位の単位種別は次のとおりとする。

A：15時間の授業と30時間の授業外学修で1単位とする。

B：30時間の授業と15時間の授業外学修で1単位とする。

C：45時間の授業で1単位とする。(実験、実習のみ可)

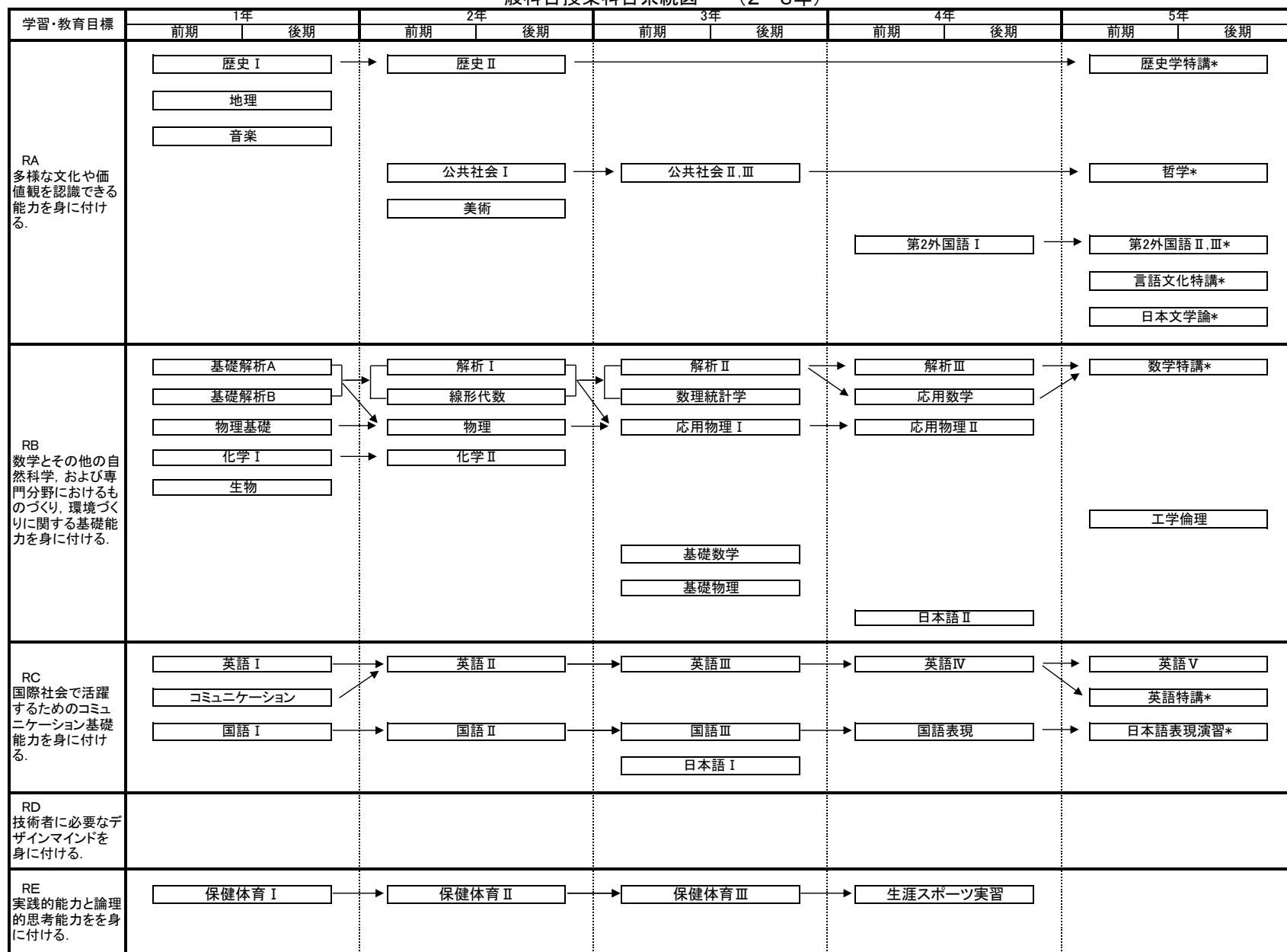
令和8年度本科(準学士課程)の学習・教育目標と科目の配置

一般科目(2~3年)

本科(準学士課程)						
大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年
RA 多様な文化や価値観を認識できる能力を身に付ける。	1 人間社会の基本的な仕組みを理解し、様々な地域の言語や歴史・伝統などの文化を多面的に認識できる。	歴史Ⅰ 地理	歴史Ⅱ 公共社会Ⅰ	公共社会Ⅱ 公共社会Ⅲ	第2外国語Ⅰ	歴史学特講 哲学 第2外国語Ⅱ 第2外国語Ⅲ 言語文化特講 日本文学論
	2 様々な地域における芸術とそれに根ざした価値観を、認識・理解する意識を持てる。	音楽	美術			
RB 数学とその他の自然科学、および専門分野におけるものづくり、環境づくりに関する基礎能力を身に付ける。	1 数学とその他の自然科学に関する基礎知識を理解できる。	基礎解析A 基礎解析B 物理基礎 化学Ⅰ 生物	解析Ⅰ 線形代数 物理 化学Ⅱ	解析Ⅱ 数理統計学 応用物理Ⅰ 基礎数学 基礎物理	解析Ⅲ 応用数学 応用物理Ⅱ	数学特講
	2 専門分野における基礎知識・技術に基づいて情報を処理し、工学的現象を正しく理解できる。	専門基礎Ⅰ 専門基礎Ⅱ 専門基礎Ⅲ	(各学科専門科目:座学,製図等)	(各学科専門科目:座学,製図等)	日本語Ⅱ (各学科専門科目:座学,製図等)	工学倫理 (各学科専門科目:座学,製図等)
RC 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける。	1 英語による基本的な対話や文章が理解でき、自分の意見を表現できる。	英語Ⅰ コミュニケーション	英語Ⅱ	英語Ⅲ	英語Ⅳ	英語Ⅴ 英語特講
	2 日本語の文章や言語作品を的確に理解・鑑賞でき、自分の思いや主張を適切に日本語の談話や文章で表現できる。	国語Ⅰ	国語Ⅱ	国語Ⅲ 日本語Ⅰ	国語表現	日本語表現演習 卒業研究

大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年
	3 わかりやすい図表等を作成し、それを用いて日本語により効果的な説明ができる。					卒業研究
RD 技術者に必要なデザインマインドを身に付ける。	1 課題に対して自主的に問題を発見し、解決方法を探求して問題解決能力の重要性を認識できる。			(工学演習, 工学実験, 創成科目等)	(創成科目等)	
RE 実践的能力と論理的思考能力を身に付ける。	1 実験・調査などの経験を通してデータの解析法を学び、理論との比較や考察などができる。				(工学演習, 工学実験等)	(工学演習, 工学実験等)
	2 課題の背景を理解し、習得した知識を生かして適切な方法を選んで実験・調査などを遂行し、データを解析・考察することにより、結果を客観的に説明できる。					卒業研究
	3 身体・健康・スポーツに関する知識と実践力を獲得するために各自の能力に応じて目標を設定し、個人あるいはグループで課題を達成できる。	保健体育Ⅰ	保健体育Ⅱ	保健体育Ⅲ	生涯スポーツ実習	

一般科目授業科目系統図 (2~3年)



* : 選択必修科目

別表第1 (第13条第2項関係)

一 般 科 目

各学科共通

授 業 科 目		単 位 種 別	単 位 数	学 年 別 配 当					備 考
				1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必 修 科 目	国 語	国語Ⅰ	2	2					
		国語Ⅱ	2		2				
		国語Ⅲ	2			2			
		国語表現	2				2		留学生は対象外
	社 会	公共社会Ⅰ	2		2				
		公共社会Ⅱ	1			1			留学生は対象外
		公共社会Ⅲ	1			1			
		歴史Ⅰ	2	2					
		歴史Ⅱ	2		2				
		地理	2	2					
	数 学	基礎解析A	4	4					
		基礎解析B	3	3					
		解析Ⅰ	4		4				
		線形代数	2		2				
		解析Ⅱ	3			3			
		解析Ⅲ	B	2				2	
	理 科	物理基礎	2	2					
		物理	3		3				
		化学Ⅰ	2	2					
		化学Ⅱ	2		2				
		生物	1	1					
	保 健 体 育	保健体育Ⅰ	4	4					
		保健体育Ⅱ	2		2				
		保健体育Ⅲ	2			2			
		生涯スポーツ実習	2				2		
	芸 術	美術	1		1				
		音楽	1	1					
	外 国 語	英語Ⅰ	4	4					
		コミュニケーション	2	2					
		英語Ⅱ	4		4				
英語Ⅲ		4			4				
英語Ⅳ		B	2			2			
英語Ⅴ		B	2				2		
第2外国語Ⅰ	2				2		留学生は対象外		
工学倫理			1					1	
修 得 単 位 計			79	29	24	13	10	3	
選 択 必 修 科 目	第2外国語Ⅱ		1					1	
	第2外国語Ⅲ		1					1	
	言語文化特講		1					1	
	日本語表現演習		1					1	
	日本文学論		1					1	
	哲学		1					1	
	歴史学特講		1					1	
	数学特講		1					1	
	英語特講		1					1	
	他大学等科目(一般)		1					1	
修 得 単 位 計			2以上					2以上	
正 課 外 科 目	大学等における学修			(別に定める)					卒業認定に必要な単位数には含まれないが、単位認定は行う。
	技能審査における学修			(別に定める)					
修 得 単 位 合 計 (卒業認定必要単位数)			81以上	29	24	13	10	5以上	
外 国 人 留 学 生 修 得 単 位 計			73以上	29	24	9	6	5以上	
(特 設 科 目 必 修 科 目)	日本語Ⅰ		2			2			留学生のみ対象
	日本語Ⅱ		2				2		
	基礎数学		2			2			
	基礎物理		2			2			
	修 得 単 位 計		8			6	2		
外国人留学生 修得単位合計 (卒業認定必要単位数)			81以上	29	24	15	8	5以上	

(注) 学修単位の単位種別は次のとおりとする。

A : 15時間の授業と30時間の授業外学修で1単位とする。

B : 30時間の授業と15時間の授業外学修で1単位とする。

C : 45時間の授業で1単位とする。(実験、実習のみ可)

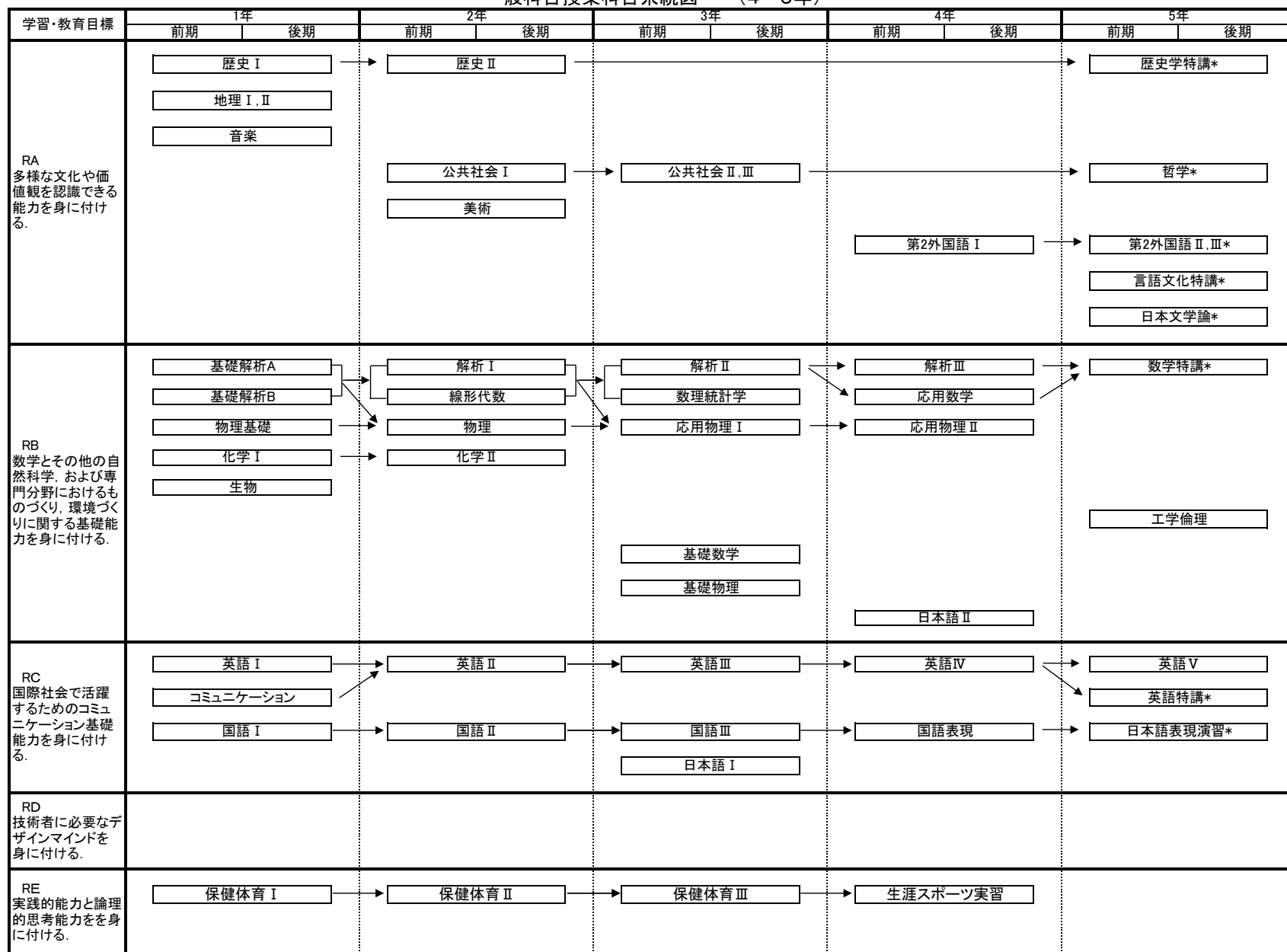
令和8年度本科(準学士課程)の学習・教育目標と科目の配置

一般科目(4~5年)

本科(準学士課程)						
大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年
RA 多様な文化や価値観を認識できる能力を身に付ける。	1 人間社会の基本的な仕組みを理解し、様々な地域の言語や歴史・伝統などの文化を多面的に認識できる。	歴史Ⅰ 地理Ⅰ 地理Ⅱ	歴史Ⅱ 公共社会Ⅰ	公共社会Ⅱ 公共社会Ⅲ	第2外国語Ⅰ	歴史学特講 哲学 第2外国語Ⅱ 第2外国語Ⅲ 言語文化特講 日本文学論
	2 様々な地域における芸術とそれに根ざした価値観を、認識・理解する意識を持てる。	音楽	美術			
RB 数学とその他の自然科学、および専門分野におけるものづくり、環境づくりに関する基礎能力を身に付ける。	1 数学とその他の自然科学に関する基礎知識を理解できる。	基礎解析A 基礎解析B 物理基礎 化学Ⅰ 生物	解析Ⅰ 線形代数 物理 化学Ⅱ	解析Ⅱ 数理統計学 応用物理Ⅰ 基礎数学 基礎物理	解析Ⅲ 応用数学 応用物理Ⅱ	数学特講
	2 専門分野における基礎知識・技術に基づいて情報を処理し、工学的現象を正しく理解できる。	専門基礎Ⅰ 専門基礎Ⅱ 専門基礎Ⅲ	(各学科専門科目:座学,製図等)	(各学科専門科目:座学,製図等)	日本語Ⅱ (各学科専門科目:座学,製図等)	工学倫理 (各学科専門科目:座学,製図等)
RC 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける。	1 英語による基本的な対話や文章が理解でき、自分の意見を表現できる。	英語Ⅰ コミュニケーション	英語Ⅱ	英語Ⅲ	英語Ⅳ	英語Ⅴ 英語特講
	2 日本語の文章や言語作品を的確に理解・鑑賞でき、自分の思いや主張を適切に日本語の談話や文章で表現できる。	国語Ⅰ	国語Ⅱ	国語Ⅲ 日本語Ⅰ	国語表現	日本語表現演習 卒業研究

大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年
	3 わかりやすい図表等を作成し、それを用いて日本語により効果的な説明ができる。					卒業研究
RD 技術者に必要なデザインマインドを身に付ける。	1 課題に対して自主的に問題を発見し、解決方法を探求して問題解決能力の重要性を認識できる。			(工学演習, 工学実験, 創成科目等)	(創成科目等)	
RE 実践的能力と論理的思考能力を身に付ける。	1 実験・調査などの経験を通してデータの解析法を学び、理論との比較や考察などができる。				(工学演習, 工学実験等)	(工学演習, 工学実験等)
	2 課題の背景を理解し、習得した知識を生かして適切な方法を選んで実験・調査などを遂行し、データを解析・考察することにより、結果を客観的に説明できる。					卒業研究
	3 身体・健康・スポーツに関する知識と実践力を獲得するために各自の能力に応じて目標を設定し、個人あるいはグループで課題を達成できる。	保健体育 I	保健体育 II	保健体育 III	生涯スポーツ実習	

一般科目授業科目系統図 (4~5年)



* : 選択必修科目

別表第1 (第13条第2項関係)

一般科目

各学科共通

授業科目		単位種別	単位数	学年別配当					備考
				1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	国語	国語Ⅰ	2	2					
		国語Ⅱ	2		2				
		国語Ⅲ	2			2			留学生は対象外
		国語表現	2				2		
	社会	公共社会Ⅰ	2		2				
		公共社会Ⅱ	1			1			留学生は対象外
		公共社会Ⅲ	1			1			
		歴史Ⅰ	2	2					
		歴史Ⅱ	2		2				
		地理Ⅰ	1	1					
		地理Ⅱ	1	1					
	数学	基礎解析A	4	4					
		基礎解析B	3	3					
		解析Ⅰ	4		4				
		線形代数	2		2				
		解析Ⅱ	3			3			
		解析Ⅲ	B	2				2	
	理科	物理基礎	2	2					
		物理	3		3				
		化学Ⅰ	2	2					
		化学Ⅱ	2		2				
		生物	1	1					
	保健体育	保健体育Ⅰ	4	4					
		保健体育Ⅱ	2		2				
		保健体育Ⅲ	2			2			
		生涯スポーツ実習	2				2		
	芸術	美術	1		1				
		音楽	1	1					
	外国語	英語Ⅰ	4	4					
		コミュニケーション	2	2					
英語Ⅱ		4		4					
英語Ⅲ		4			4				
英語Ⅳ		B	2				2		
英語Ⅴ		B	2					2	
	第2外国語Ⅰ	2				2		留学生は対象外	
	工学倫理		1				1		
修得単位計			79	29	24	13	10	3	
選択必修科目	第2外国語Ⅱ		1					1	2単位以上 修得すること
	第2外国語Ⅲ		1					1	
	言語文化特講		1					1	
	日本語表現演習		1					1	
	日本文学論		1					1	
	哲学		1					1	
	歴史学特講		1					1	
	数学特講		1					1	
	英語特講		1					1	
	他大学等科目(一般)		1					1	
修得単位計			2以上					2以上	
正課外科目	大学等における学修			(別に定める)					卒業認定に必要な単位数には含まれないが、単位認定は行う。
	技能審査における学修			(別に定める)					
修得単位合計 (卒業認定必要単位数)			81以上	29	24	13	10	5以上	
外国人留学生修得単位計			73以上	29	24	9	6	5以上	
(特設科目)	日本語Ⅰ		2			2			留学生のみ対象
	日本語Ⅱ		2				2		
	基礎数学		2			2			
	基礎物理		2			2			
	修得単位計			8			6	2	
外国人留学生修得単位合計 (卒業認定必要単位数)			81以上	29	24	15	8	5以上	

(注) 学修単位の単位種別は次のとおりとする。

A: 15時間の授業と30時間の授業外学修で1単位とする。

B: 30時間の授業と15時間の授業外学修で1単位とする。

C: 45時間の授業で1単位とする。(実験、実習のみ可)

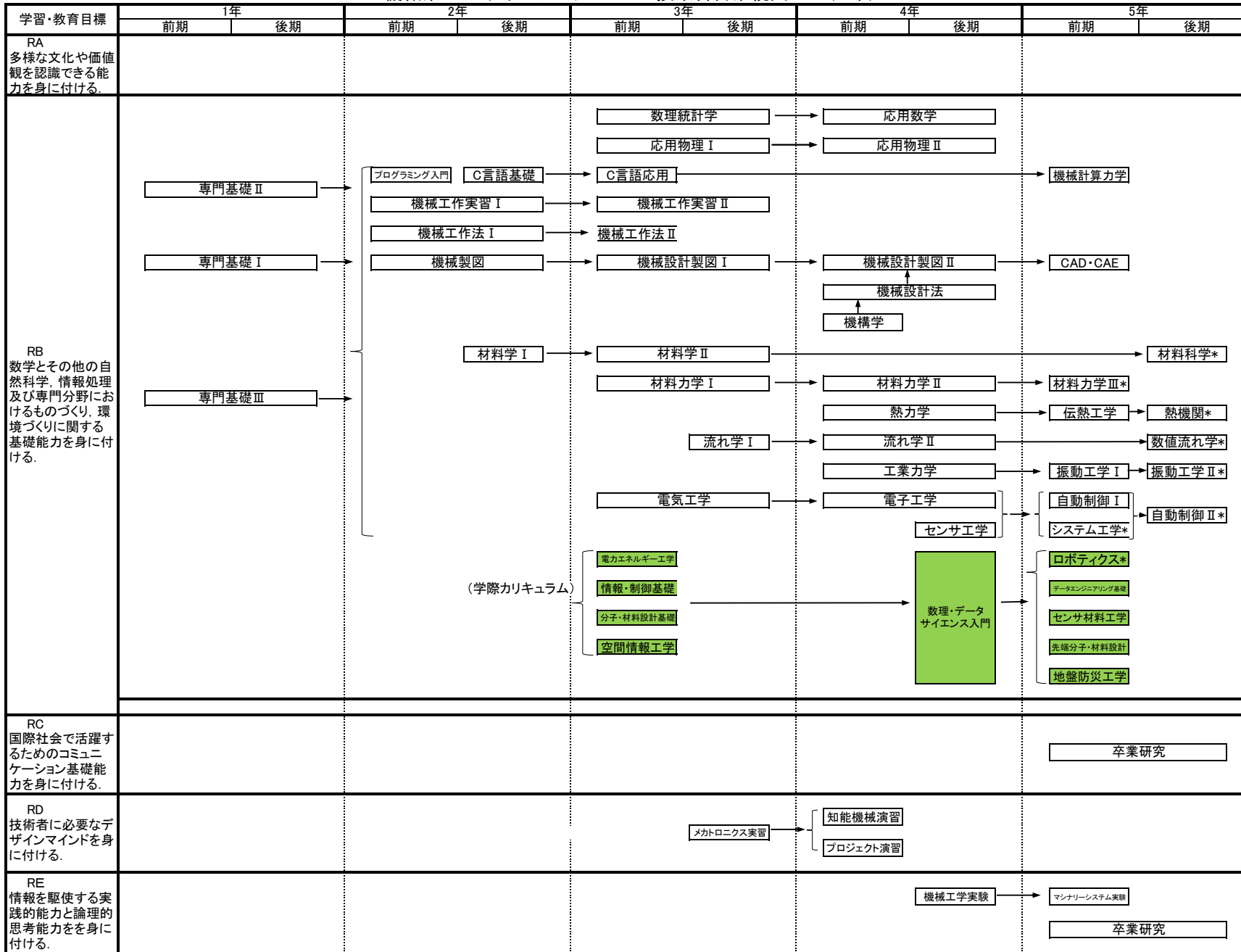
令和8年度本科(準学士課程)の学習・教育目標と科目の配置

機械系・マシナリーシステムコース(1年)

本科(準学士課程)							
大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年	
RA 多様な文化や価値観を認識できる能力を身に付ける。	1	人間社会の基本的な仕組みを理解し、様々な地域の言語や歴史・伝統などの文化を多面的に認識できる。	歴史Ⅰ 地理	歴史Ⅱ 公共社会Ⅰ	公共社会Ⅱ 公共社会Ⅲ	第2外国語Ⅰ	歴史学特講 哲学 第2外国語Ⅱ 第2外国語Ⅲ 言語文化特講 日本文学論
	2	様々な地域における芸術とそれに根ざした価値観を、認識・理解する意識を持てる。	音楽	美術			
RB 数学とその他の自然科学、情報処理及び専門分野におけるものづくり、環境づくりに関する基礎能力を身に付ける。	1	数学とその他の自然科学に関する基礎知識を理解できる。	基礎解析A 基礎解析B 物理基礎 化学Ⅰ 生物	解析Ⅰ 線形代数 物理 化学Ⅱ	解析Ⅱ 数理統計学 応用物理Ⅰ 基礎数学 基礎物理	解析Ⅲ 応用数学 応用物理Ⅱ	数学特講
	2	専門分野における基礎知識・技術に基づいて情報を処理し、工学的現象を正しく理解できる。	専門基礎Ⅰ 専門基礎Ⅱ 専門基礎Ⅲ	C言語基礎 機械工作法Ⅰ 材料学Ⅰ 機械工作実習Ⅰ 機械製図 プログラミング入門	C言語応用 機械工作法Ⅱ 材料学Ⅱ 材料力学Ⅰ 流れ学Ⅰ 電気工学 機械工作実習Ⅱ 機械設計製図Ⅰ 電力エネルギー工学 情報・制御基礎 分子・材料設計基礎 空間情報工学	日本語Ⅱ 機械設計法 材料力学Ⅱ 工業力学 機構学 流れ学Ⅱ 熱力学 電子工学 センサ工学 機械設計製図Ⅱ 数理・データサイエンス入門	工学倫理 機械計算力学 材料科学 数値流れ学 伝熱工学 熱機関 システム工学 材料力学Ⅲ 振動工学Ⅰ 振動工学Ⅱ 自動制御Ⅰ 自動制御Ⅱ CAD・CAE ロボティクス データエンジニアリング基礎 センサ材料工学 先端分子・材料設計 地盤防災工学
	1	英語による基礎的な対話や文章が理解でき、自分の意見を表現できる。	英語Ⅰ コミュニケーション	英語Ⅱ	英語Ⅲ	英語Ⅳ	英語Ⅴ 英語特講

大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年	
RC 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける。	2	日本語の文章や言語作品を的確に理解・鑑賞でき、自分の思いや主張を適切に日本語の談話や文章で表現できる。	国語 I	国語 II	国語 III 日本語 I	国語表現	日本語表現演習 卒業研究
	3	わかりやすい図表等を作成し、それをういて日本語により効果的な説明ができる。					卒業研究
RD 技術者に必要なデザインマインドを身に付ける。	1	課題に対して自主的に問題を発見し、解決方法を探求して問題解決能力の重要性を認識できる。			メカトロニクス実習	知能機械演習 プロジェクト演習	
RE 情報を駆使する実践的能力と論理的思考能力を身に付ける。	1	実験・調査などの経験を通してデータの解析法を学び、理論との比較や考察などができる。				機械工学実験	マシナリーシステム実験
	2	課題の背景を理解し、習得した知識を生かして適切な方法を選んで実験・調査などを遂行し、データを解析・考察することにより、結果を客観的に説明できる。					卒業研究
	3	身体・健康・スポーツに関する知識と実践力を獲得するために各自の能力に応じて目標を設定し、個人あるいはグループで課題を達成できる。	保健体育 I	保健体育 II	保健体育 III	生涯スポーツ実習	

機械系・マシナリーシステムコース授業科目系統図 (1年)



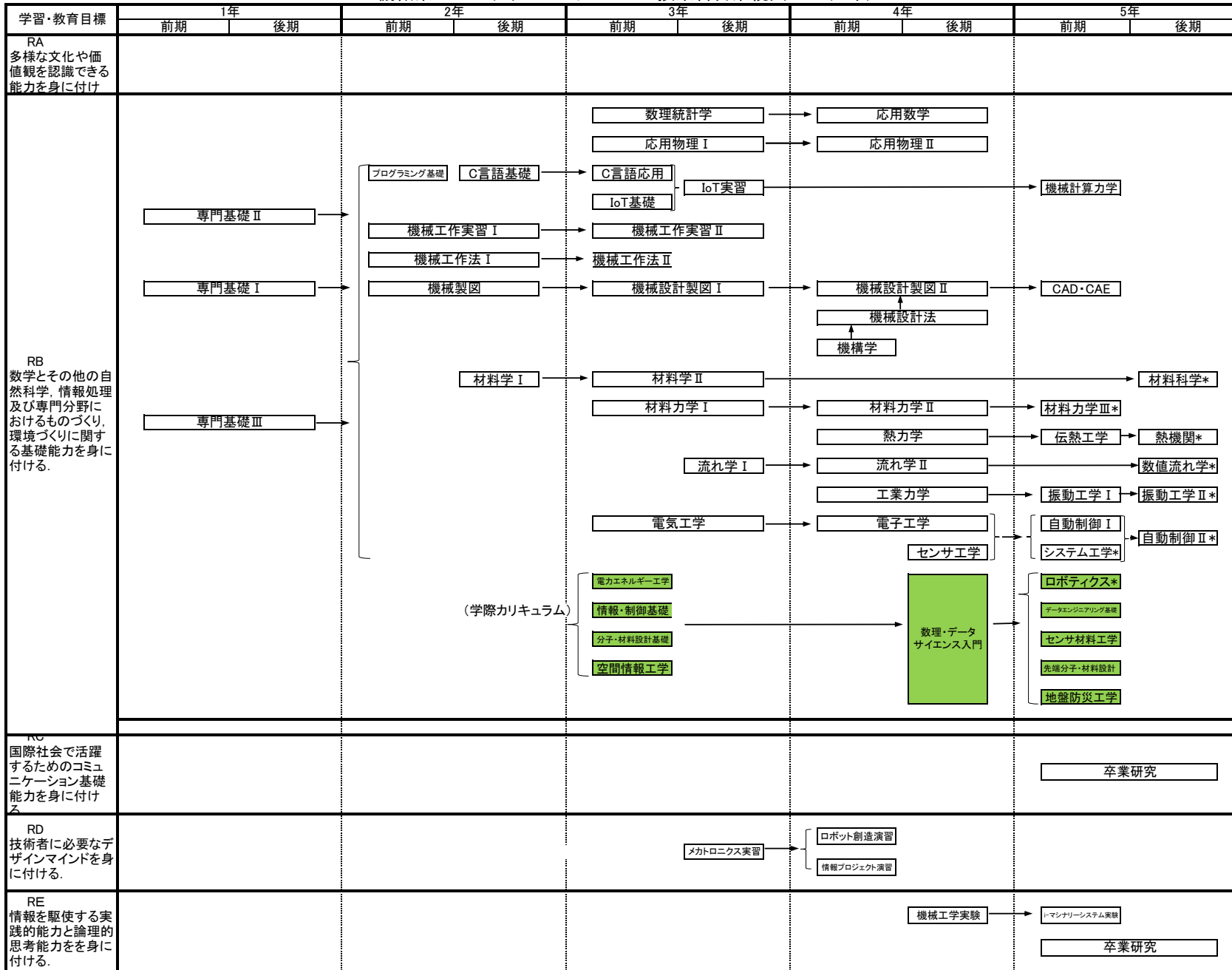
令和8年度本科(準学士課程)の学習・教育目標と科目の配置

機械系・i-マシナリーシステムコース(1年)

本科(準学士課程)							
大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年	
RA 多様な文化 や価値観を 認識できる能 力を身に付け る。	1	人間社会の基本的な仕組みを理解し、様々な地域の言語や歴史・伝統などの文化を多面的に認識できる。	歴史Ⅰ 地理	歴史Ⅱ 公共社会Ⅰ	公共社会Ⅱ 公共社会Ⅲ	第2外国語Ⅰ	歴史学特講 哲学 第2外国語Ⅱ 第2外国語Ⅲ 言語文化特講 日本文学論
	2	様々な地域における芸術とそれに根ざした価値観を、認識・理解する意識を持てる。	音楽	美術			
RB 数学とその他 の自然科学、 情報処理及 び専門分野 におけるもの づくり、環境 づくりに関す る基礎能力を 身に付ける。	1	数学とその他の自然科学に関する基礎知識を理解できる。	基礎解析A 基礎解析B 物理基礎 化学Ⅰ 生物	解析Ⅰ 線形代数 物理 化学Ⅱ	解析Ⅱ 数理統計学 応用物理Ⅰ 基礎数学 基礎物理	解析Ⅲ 応用数学 応用物理Ⅱ	数学特講
	2	専門分野における基礎知識・技術に基づいて情報を処理し、工学的現象を正しく理解できる。	専門基礎Ⅰ 専門基礎Ⅱ 専門基礎Ⅲ	C言語基礎 機械工作法Ⅰ 材料学Ⅰ 機械工作実習Ⅰ 機械製図 プログラミング基礎	C言語応用 機械工作法Ⅱ 材料学Ⅱ 材料力学Ⅰ 流れ学Ⅰ 電気工学 機械工作実習Ⅱ 機械設計製図Ⅰ IoT基礎 IoT実習 電力エネルギー工学 情報・制御基礎 分子・材料設計基礎 空間情報工学	日本語Ⅱ 機械設計法 材料力学Ⅱ 工業力学 機構学 流れ学Ⅱ 熱力学 電子工学 センサ工学 機械設計製図Ⅱ 数理・データサイエンス入門	工学倫理 機械計算力学 材料科学 数値流れ学 伝熱工学 熱機関 システム工学 材料力学Ⅲ 振動工学Ⅰ 振動工学Ⅱ 自動制御Ⅰ 自動制御Ⅱ CAD・CAE ロボティクス データエンジニアリング基礎 センサ材料工学 先端分子・材料設計 地盤防災工学
	1	英語による基礎的な対話や文章が理解でき、自分の意見を表現できる。	英語Ⅰ コミュニケーション	英語Ⅱ	英語Ⅲ	英語Ⅳ	英語Ⅴ 英語特講

大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年	
RC 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける。	2	日本語の文章や言語作品を的確に理解・鑑賞でき、自分の思いや主張を適切に日本語の談話や文章で表現できる。	国語 I	国語 II	国語 III 日本語 I	国語表現	日本語表現演習 卒業研究
	3	わかりやすい図表等を作成し、それを用いて日本語により効果的な説明ができる。					卒業研究
RD 技術者に必要なデザインマインドを身に付ける。	1	課題に対して自主的に問題を発見し、解決方法を探求して問題解決能力の重要性を認識できる。			メカトロニクス実習	ロボット創造演習 情報プロジェクト演習	
RE 情報を駆使する実践的能力と論理的思考能力を身に付ける。	1	実験・調査などの経験を通してデータの解析法を学び、理論との比較や考察などができる。				機械工学実験	i-マシナリーシステム実験
	2	課題の背景を理解し、習得した知識を生かして適切な方法を選んで実験・調査などを遂行し、データを解析・考察することにより、結果を客観的に説明できる。					卒業研究
	3	身体・健康・スポーツに関する知識と実践力を獲得するために各自の能力に応じて目標を設定し、個人あるいはグループで課題を達成できる。	保健体育 I	保健体育 II	保健体育 III	生涯スポーツ実習	

機械系・i-マシナリーシステムコース授業科目系統図 (1年)



(2) 専門科目

機械系(マシナリーシステムコース(専門探究コース) / i-マシナリーシステムコース(情報融合コース))

授業科目	単位種別	単位数	学年別配当					備考	
			1年	2年	3年	4年	5年		
必修科目	共通	数理統計学	2			2			
		応用数学	2				2		
		応用物理 I	2			2			
		応用物理 II	2				2		
		専門基礎 I	2	2					
		専門基礎 II	2	2					
		専門基礎 III	2	2					
		C言語基礎	1		1				
		C言語応用	1			1			
		機械計算力学	1					1	
		材料学 I	1		1				
		材料学 II	2			2			
		機械工作法 I	2		2				
		機械工作法 II	1			1			
		材料力学 I	2			2			
		材料力学 II	2				2		
		熱力学	2				2		
		伝熱工学	1					1	
		流れ学 I	1			1			
		流れ学 II	2				2		
		工業力学	2				2		
		機構学	1				1		
		機械設計法	2				2		
		自動制御 I	1					1	
		振動工学 I	1					1	
		センサ工学	1				1		
		電気工学	2			2			
		電子工学	2				2		
		機械製図	4		4				
		機械設計製図 I	3			3			
		機械設計製図 II	2				2		
		CAD・CAE	1					1	
		機械工作実習 I	4		4				
		機械工作実習 II	3			3			
メカトロニクス実習	1			1					
機械工学実験	2				2				
卒業研究	9					9			
修得単位計		74	6	12	20	22	14		
探究	知能機械演習	2				2			
	マシナリーシステム実験	2					2		
	修得単位計		4			2	2		
	融合	★プログラミング基礎	1		1				
		★IoT基礎	1			1			
		★IoT実習	1			1			
ロボット創造演習		2				2			
i-マシナリーシステム実験		2					2		
修得単位計		7		1	2	2	2		
選択科目	共通	◎プログラミング入門	1		1				
		材料力学III	1				1		
		熱機関	1				1		
		数値流れ学	1				1		
		自動制御II	1				1		
		振動工学II	1				1		
		システム工学	1				1		
		材料科学	1					1	
	修得単位計		5以上				5以上		
	融合	修得単位計		2以上				2以上	
正課外科目	共通	インターンシップ	2				2		
		学内コンテスト						(別に定める)	
		大学等における学修						(別に定める)	
		技能審査における学修						(別に定める)	
学際 デカ リキ ュラ ム エ ム (エ ン ジ ニ ア ム リ ン グ	必修科目	共通	数理・データサイエンス入門	1				1	
		探究	プロジェクト演習	1				1	
		融合	情報プロジェクト演習	1				1	
	修得単位計		2				2		
	選択科目	共通	≡ ロボティクス	1					1
			電力エネルギー工学	A	1			1	
			データエンジニアリング基礎	1			1		1
			情報・制御基礎	A	1			1	
			センサ材料工学	1					1
			分子・材料設計基礎	A	1			1	
			先端分子・材料設計	1					1
			空間情報工学	A	1			1	
			地盤防災工学	1					1
			他大学等科目(学際)	1					1
修得単位計		1以上				1以上			
修得単位計		3以上				3以上			
修得単位合計 (卒業認定必要 単位数)	探究	学際カリキュラム除く	86以上	6	12	20	24	21以上	
		学際カリキュラム含む					68以上		
	融合	学際カリキュラム除く	86以上	6	13	22	24	18以上	
		学際カリキュラム含む					67以上		

注1: 表中において、マシナリーシステムコースは探究、i-マシナリーシステムコースは融合と略記する。

注2: 学修単位の単位種別は次のとおりとする。

A: 15時間の授業と30時間の授業外学修で1単位とする。

B: 30時間の授業と15時間の授業外学修で1単位とする。

C: 45時間の授業で1単位とする。(実験、実習のみ可)

≡: 専門選択科目に組入可能(単位の付与は学際カリキュラム選択科目又は専門選択科目のいずれか一方とする)。

★: 情報融合コース基礎科目。情報融合コースから専門探究コースにコース変更した場合、専門選択科目に組入可能。

◎: 情報融合コースを選択した場合、プログラミング基礎の単位に読み替える。

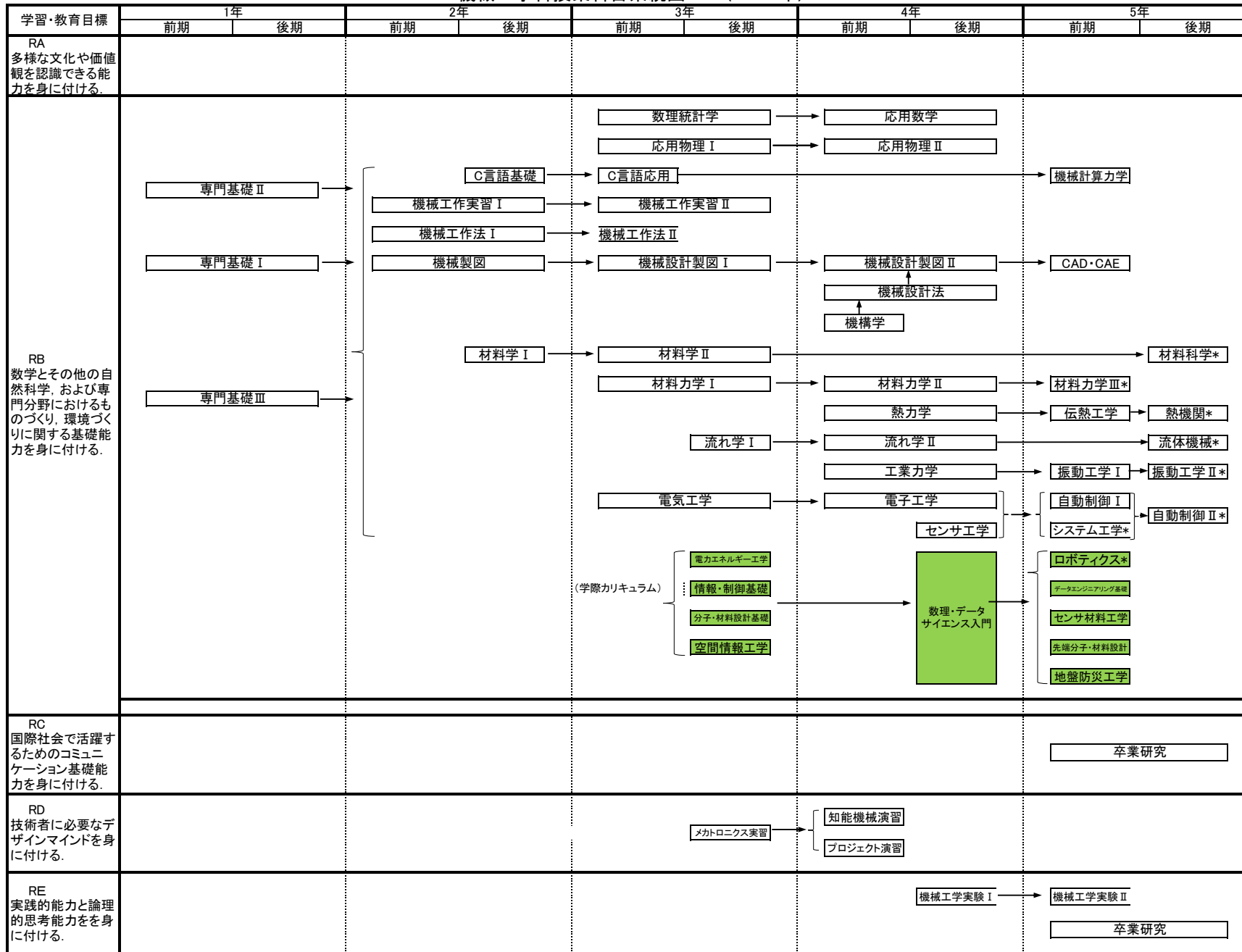
令和8年度本科(準学士課程)の学習・教育目標と科目の配置

機械工学科(2年、3年)

本科(準学士課程)							
大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年	
RA 多様な文化や価値観を認識できる能力を身に付ける。	1	人間社会の基本的な仕組みを理解し、様々な地域の言語や歴史・伝統などの文化を多面的に認識できる。	歴史Ⅰ 地理	歴史Ⅱ 公共社会Ⅰ	公共社会Ⅱ 公共社会Ⅲ	第2外国語Ⅰ	歴史学特講 哲学 第2外国語Ⅱ 第2外国語Ⅲ 言語文化特講 日本文学論
	2	様々な地域における芸術とそれに根ざした価値観を、認識・理解する意識を持てる。	音楽	美術			
RB 数学とその他の自然科学、および専門分野におけるものづくり、環境づくりに関する基礎能力を身に付ける。	1	数学とその他の自然科学に関する基礎知識を理解できる。	基礎解析A 基礎解析B 物理基礎 化学Ⅰ 生物	解析Ⅰ 線形代数 物理 化学Ⅱ	解析Ⅱ 数理統計学 応用物理Ⅰ 基礎数学 基礎物理	解析Ⅲ 応用数学 応用物理Ⅱ	数学特講
	2	専門分野における基礎知識・技術に基づいて情報を処理し、工学的現象を正しく理解できる。	専門基礎Ⅰ 専門基礎Ⅱ 専門基礎Ⅲ	C言語基礎 機械工作法Ⅰ 材料学Ⅰ 機械工作実習Ⅰ 機械製図	C言語応用 機械工作法Ⅱ 材料学Ⅱ 材料力学Ⅰ 流れ学Ⅰ 電気工学 機械工作実習Ⅱ 機械設計製図Ⅰ 電力エネルギー工学 情報・制御基礎 分子・材料設計基礎 空間情報工学	日本語Ⅱ 機械設計法 材料力学Ⅱ 工業力学 機構学 流れ学Ⅱ 熱力学 電子工学 センサ工学 機械設計製図Ⅱ 数理・データサイエンス入門	工学倫理 機械計算力学 材料科学 流体機械 伝熱工学 熱機関 システム工学 材料力学Ⅲ 振動工学Ⅰ 振動工学Ⅱ 自動制御Ⅰ 自動制御Ⅱ CAD・CAE ロボティクス データエンジニアリング基礎 センサ材料工学 先端分子・材料設計 地盤防災工学
	1	英語による基礎的な対話や文章が理解でき、自分の意見を表現できる。	英語Ⅰ コミュニケーション	英語Ⅱ	英語Ⅲ	英語Ⅳ	英語Ⅴ 英語特講

大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年	
RC 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける。	2	日本語の文章や言語作品を的確に理解・鑑賞でき、自分の思いや主張を適切に日本語の談話や文章で表現できる。	国語 I	国語 II	国語 III 日本語 I	国語表現	日本語表現演習 卒業研究
	3	わかりやすい図表等を作成し、それを用いて日本語により効果的な説明ができる。					卒業研究
RD 技術者に必要なデザインマインドを身に付ける。	1	課題に対して自主的に問題を発見し、解決方法を探求して問題解決能力の重要性を認識できる。			メカトロニクス実習	知能機械演習 プロジェクト演習	
RE 実践的能力と論理的思考能力を身に付ける。	1	実験・調査などの経験を通してデータの解析法を学び、理論との比較や考察などができる。				機械工学実験 I	機械工学実験 II
	2	課題の背景を理解し、習得した知識を生かして適切な方法を選んで実験・調査などを遂行し、データを解析・考察することにより、結果を客観的に説明できる。					卒業研究
	3	身体・健康・スポーツに関する知識と実践力を獲得するために各自の能力に応じて目標を設定し、個人あるいはグループで課題を達成できる。	保健体育 I	保健体育 II	保健体育 III	生涯スポーツ実習	

機械工学科授業科目系統図 (2~3年)



(2) 専門科目
機械工学科

授業科目	単位種別	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	数理統計学		2			2		
	応用数学	B	2				2	
	応用物理Ⅰ		2			2		
	応用物理Ⅱ	B	2				2	
	専門基礎Ⅰ		2	2				
	専門基礎Ⅱ		2	2				
	専門基礎Ⅲ		2	2				
	C言語基礎		1		1			
	C言語応用		1			1		
	機械計算力学		1					1
	材料学Ⅰ		1		1			
	材料学Ⅱ		2			2		
	機械工作法Ⅰ		2		2			
	機械工作法Ⅱ		1			1		
	材料力学Ⅰ		2			2		
	材料力学Ⅱ	B	2				2	
	熱力学	B	2				2	
	伝熱工学		1					1
	流れ学Ⅰ		1			1		
	流れ学Ⅱ	B	2				2	
	工業力学	B	2				2	
	機構学		1				1	
	機械設計法	B	2				2	
	自動制御Ⅰ		1					1
	振動工学Ⅰ		1					1
	センサ工学		1				1	
	電気工学		2			2		
	電子工学		2				2	
	機械製図		4		4			
	機械設計製図Ⅰ		3			3		
機械設計製図Ⅱ		2				2		
CAD・CAE		1					1	
機械工作実習Ⅰ		4		4				
機械工作実習Ⅱ		3			3			
メカトロニクス実習		1			1			
知能機械演習		2				2		
機械工学実験Ⅰ		2				2		
機械工学実験Ⅱ		2					2	
卒業研究		9					9	
修得単位計		78	6	12	20	24	16	
選択科目	材料力学Ⅲ		1				1	
	熱機関		1				1	
	流体機械		1				1	
	自動制御Ⅱ		1				1	
	振動工学Ⅱ		1				1	
	システム工学		1				1	
	材料科学		1				1	
修得単位計		5以上					5以上	
正課外科目	インターンシップ		2				2	
	学内コンテスト		(別に定める)					
	大学等における学修		(別に定める)					
	技能審査における学修		(別に定める)					
学際カリキュラム	必修科目	プロジェクト演習		1			1	
		数理・データサイエンス入門		1			1	
		修得単位計		2			2	
	選択科目	#ロボットシステム		1				1
		電力エネルギー工学	A	1		1		
		データエンジニアリング基礎		1				1
		情報・制御基礎	A	1		1		
		センサ材料工学		1				1
		分子・材料設計基礎	A	1		1		
		先端分子・材料設計		1				1
		空間情報工学	A	1		1		
	地盤防災工学		1				1	
	他大学等科目(学際)		1				1	
修得単位計		1以上				1以上		
修得単位計		3以上				3以上		
修得単位合計 (卒業認定必要単位数)	学際カリキュラム除く	86以上	6	12	20以上	24以上	21以上	
学際カリキュラム含む	68以上							

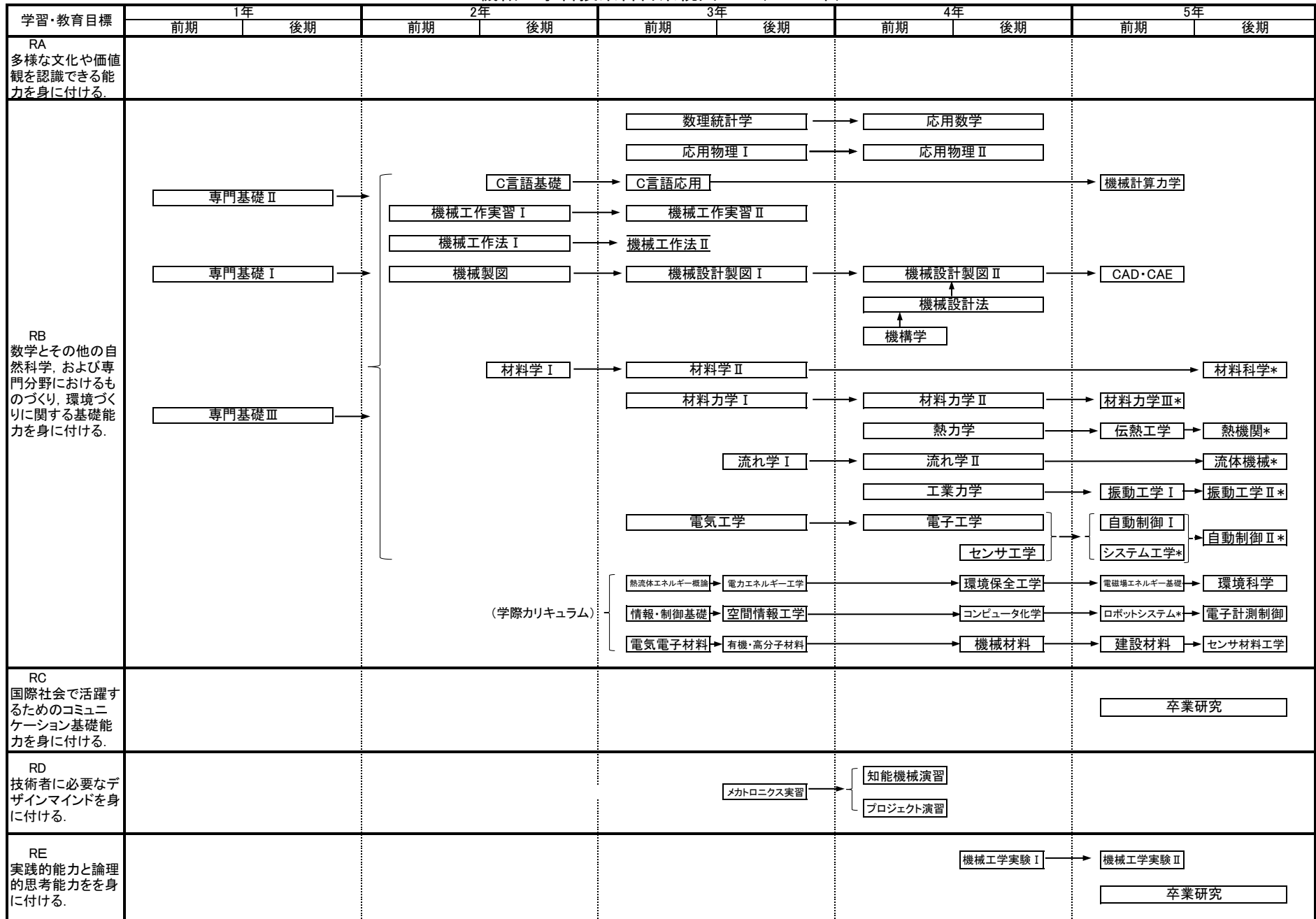
#: 専門選択科目に単位振替可能(単位の付与は学際カリキュラム科目又は専門選択科目のいずれか一方とする)

(注) 学修単位の単位種別は次のとおりとする。
A: 15時間の授業と30時間の授業外学修で1単位とする。
B: 30時間の授業と15時間の授業外学修で1単位とする。
C: 45時間の授業で1単位とする。(実験、実習のみ可)

本科(準学士課程)							
大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年	
RA 多様な文化や価値観を認識できる能力を身に付ける。	1	人間社会の基本的な仕組みを理解し、様々な地域の言語や歴史・伝統などの文化を多面的に認識できる。	歴史Ⅰ 地理Ⅰ 地理Ⅱ	歴史Ⅱ 公共社会Ⅰ	公共社会Ⅱ 公共社会Ⅲ	第2外国語Ⅰ	歴史学特講 哲学 第2外国語Ⅱ 第2外国語Ⅲ 言語文化特講 日本文学論
	2	様々な地域における芸術とそれに根ざした価値観を、認識・理解する意識を持てる。	音楽	美術			
RB 数学とその他の自然科学、および専門分野におけるものづくり、環境づくりに関する基礎能力を身に付ける。	1	数学とその他の自然科学に関する基礎知識を理解できる。	基礎解析A 基礎解析B 物理基礎 化学Ⅰ 生物	解析Ⅰ 線形代数 物理 化学Ⅱ	解析Ⅱ 数理統計学 応用物理Ⅰ 基礎数学 基礎物理	解析Ⅲ 応用数学 応用物理Ⅱ	数学特講
	2	専門分野における基礎知識・技術に基づいて情報を処理し、工学的現象を正しく理解できる。	専門基礎Ⅰ 専門基礎Ⅱ 専門基礎Ⅲ	C言語基礎 機械工作法Ⅰ 材料学Ⅰ 機械工作実習Ⅰ 機械製図	C言語応用 機械工作法Ⅱ 材料学Ⅱ 材料力学Ⅰ 流れ学Ⅰ 電気工学 機械工作実習Ⅱ 機械設計製図Ⅰ 熱流体エネルギー概論 電力エネルギー工学 情報・制御基礎 空間情報工学 電気電子材料 有機・高分子材料	日本語Ⅱ 機械設計法 材料力学Ⅱ 工業力学 機構学 流れ学Ⅱ 熱力学 電子工学 センサ工学 機械設計製図Ⅱ 環境保全工学 コンピュータ化学 機械材料	工学倫理 機械計算力学 材料科学 流体機械 伝熱工学 熱機関 システム工学 材料力学Ⅲ 振動工学Ⅰ 振動工学Ⅱ 自動制御Ⅰ 自動制御Ⅱ CAD・CAE 電磁場エネルギー基礎 環境科学 ロボットシステム 電子計測制御 建設材料 センサ材料工学
	1	英語による基礎的な対話や文章が理解でき、自分の意見を表現できる。	英語Ⅰ コミュニケーション	英語Ⅱ	英語Ⅲ	英語Ⅳ	英語Ⅴ 英語特講

大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年	
RC 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける。	2	日本語の文章や言語作品を的確に理解・鑑賞でき、自分の思いや主張を適切に日本語の談話や文章で表現できる。	国語 I	国語 II	国語 III 日本語 I	国語表現	日本語表現演習 卒業研究
	3	わかりやすい図表等を作成し、それを用いて日本語により効果的な説明ができる。					卒業研究
RD 技術者に必要なデザインマインドを身に付ける。	1	課題に対して自主的に問題を発見し、解決方法を探求して問題解決能力の重要性を認識できる。			メカトロニクス実習	知能機械演習 プロジェクト演習	
RE 実践的能力と論理的思考能力を身に付ける。	1	実験・調査などの経験を通してデータの解析法を学び、理論との比較や考察などができる。				機械工学実験 I	機械工学実験 II
	2	課題の背景を理解し、習得した知識を生かして適切な方法を選んで実験・調査などを遂行し、データを解析・考察することにより、結果を客観的に説明できる。					卒業研究
	3	身体・健康・スポーツに関する知識と実践力を獲得するために各自の能力に応じて目標を設定し、個人あるいはグループで課題を達成できる。	保健体育 I	保健体育 II	保健体育 III	生涯スポーツ実習	

機械工学科授業科目系統図 (4~5年)



(2) 専門科目
機械工学科

授業科目	単位種別	単位数	学年別配当					備考	
			1年	2年	3年	4年	5年		
数理統計学		2			2				
応用数学	B	2				2			
応用物理 I		2			2				
応用物理 II	B	2				2			
専門基礎 I		2	2						
専門基礎 II		2	2						
専門基礎 III		2	2						
C言語基礎		1		1					
C言語応用		1			1				
機械計算力学		1					1		
材料学 I		1		1					
*材料学 II		2			2				
機械工作法 I		2		2					
機械工作法 II		1			1				
材料力学 I		2			2				
材料力学 II	B	2				2			
熱力学	B	2				2			
*伝熱工学		1					1		
流れ学 I		1			1				
流れ学 II	B	2				2			
工業力学	B	2				2			
機構学		1				1			
機械設計法	B	2				2			
*自動制御 I		1					1		
振動工学 I		1					1		
*センサ工学		1				1			
電気工学		2			2				
電子工学		2				2			
機械製図		4		4					
機械設計製図 I		3			3				
機械設計製図 II		2				2			
CAD・CAE		1					1		
機械工作実習 I		4		4					
機械工作実習 II		3			3				
メカトロニクス実習		1			1				
知能機械演習		2				2			
機械工学実験 I		2				2			
機械工学実験 II		2					2		
卒業研究		9						9	
修得単位計		78	6	12	20	24	16		
材料力学 III		1					1		
*熱機関		1					1		
*流体機械		1					1		
自動制御 II		1					1		
振動工学 II		1					1		
システム工学		1					1		
*材料科学		1					1		
修得単位計		5以上					5以上		
正課外科目	インターンシップ	2				2		卒業認定に必要な単位数には含まれないが、単位認定は行う。	
	学内コンテスト		(別に定める)						
	大学等における学修		(別に定める)						
	技能審査における学修		(別に定める)						
学際カリキュラム	必修科目	プロジェクト演習	1			1		群別に修得すること	
	環境・エネルギー群	熱流体エネルギー概論	A	1		1			2単位以上修得すること
		電力エネルギー工学	A	1		1			
		電磁場エネルギー基礎	A	1			1		
		環境科学	A	1			1		
		環境保全工学	A	1			1		
		他大学等科目(学際)		2以内			2以内		
	情報・制御群	# ロボットシステム	A	1			1		2単位以上修得すること
		電子計測制御	A	1			1		
		情報・制御基礎	A	1		1			
		コンピュータ化学	A	1			1		
		空間情報工学	A	1		1			
		他大学等科目(学際)		2以内			2以内		
	材料科学群	機械材料	A	1			1		2単位以上修得すること
		電気電子材料	A	1		1			
		センサ材料工学	A	1			1		
		有機・高分子材料	A	1		1			
建設材料		A	1			1			
他大学等科目(学際)			2以内			2以内			
修得単位計		2以上			2以上				
修得単位計		3以上			3以上				
修得単位合計(卒業認定必要単位数)	学際カリキュラム除く	86以上	6	12	20以上	24以上	21以上		
	学際カリキュラム含む				68以上				

*:学際連携科目 #:専門選択科目に単位振替可能(単位の付与は学際カリキュラム科目又は専門選択科目のいずれか一方とする)

機械工学科の全課程の修了の認定に必要な単位数は、平成30年度以降の入学者については167単位以上(そのうち、一般科目については81単位以上、専門科目については86単位以上)、平成29年度以前の入学者については169単位以上(そのうち、一般科目については83単位以上、専門科目については86単位以上)とする。

(注) 学修単位の単位種別は次のとおりとする。
A:15時間の授業と30時間の授業外学修で1単位とする。
B:30時間の授業と15時間の授業外学修で1単位とする。
C:45時間の授業で1単位とする。(実験、実習のみ可)

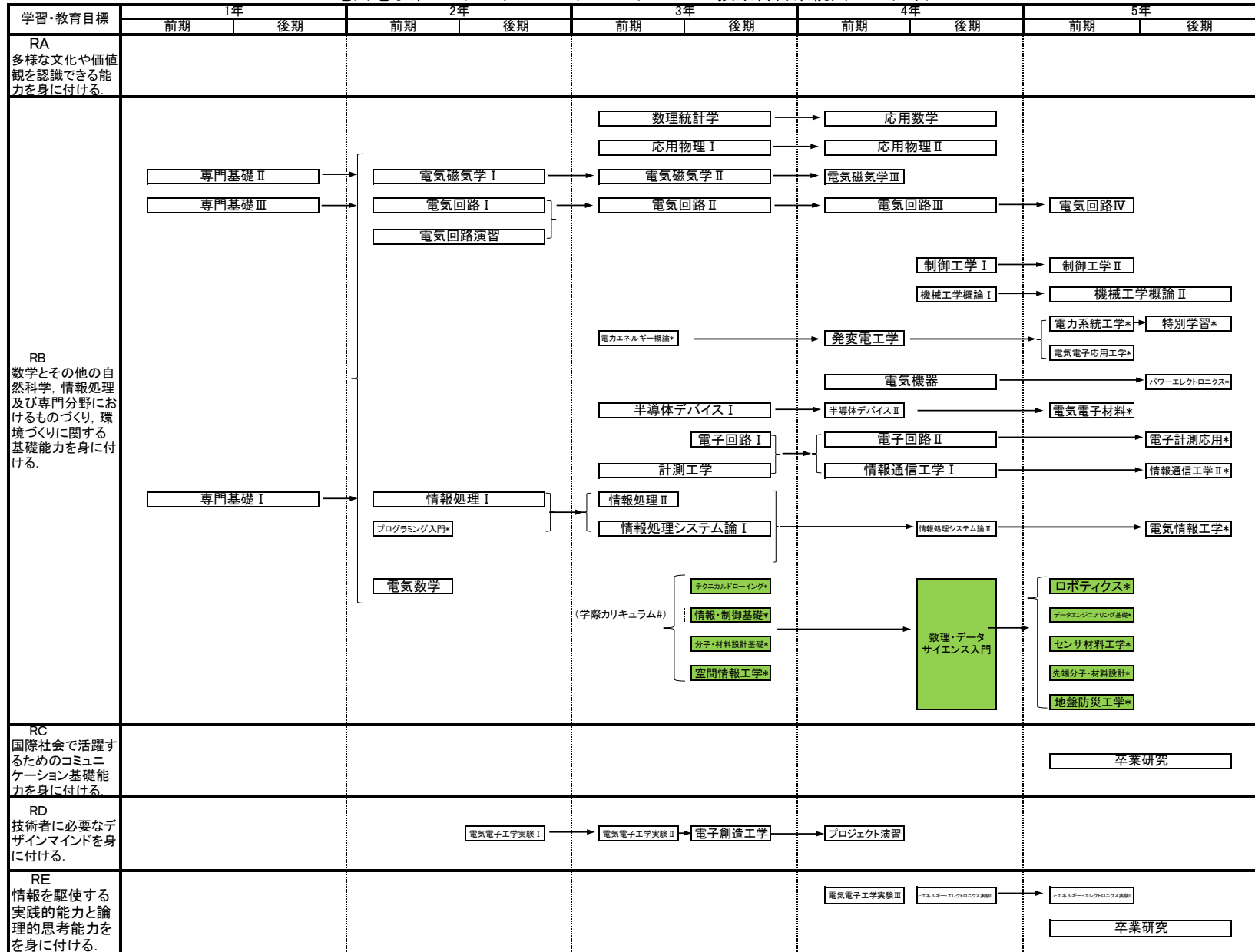
令和8年度本科(準学士課程)の学習・教育目標と科目の配置

電気電子系・エネルギー・エレクトロニクスコース(1年)

本科(準学士課程)							
大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年	
RA 多様な文化や価値観を認識できる能力を身に付ける。	1	人間社会の基本的な仕組みを理解し、様々な地域の言語や歴史・伝統などの文化を多面的に認識できる。	歴史Ⅰ 地理	歴史Ⅱ 公共社会Ⅰ	公共社会Ⅱ 公共社会Ⅲ	第2外国語Ⅰ	歴史学特講 哲学 第2外国語Ⅱ 第2外国語Ⅲ 言語文化特講 日本文学論
	2	様々な地域における芸術とそれに根ざした価値観を、認識・理解する意識を持てる。	音楽	美術			
RB 数学とその他の自然科学、情報処理及び専門分野におけるものづくり、環境づくりに関する基礎能力を身に付ける。	1	数学とその他の自然科学に関する基礎知識を理解できる。	基礎解析A 基礎解析B 物理基礎 化学Ⅰ 生物	解析Ⅰ 線形代数 物理 化学Ⅱ	解析Ⅱ 数理統計学 応用物理Ⅰ 基礎数学 基礎物理	解析Ⅲ 応用数学 応用物理Ⅱ	数学特講
	2	専門分野における基礎知識・技術に基づいて情報を処理し、工学的現象を正しく理解できる。	専門基礎Ⅰ 専門基礎Ⅱ 専門基礎Ⅲ	電気磁気学Ⅰ 電気数学 電気回路Ⅰ 電気回路演習 情報処理Ⅰ プログラミング入門	電気磁気学Ⅱ 電気回路Ⅱ 計測工学 半導体デバイスⅠ 電子回路Ⅰ 情報処理Ⅱ 情報処理システム論Ⅰ テクニカルドローイング 情報・制御基礎 分子・材料設計基礎 空間情報工学 電力エネルギー概論	日本語Ⅱ 電気磁気学Ⅲ 電気回路Ⅲ 半導体デバイスⅡ 電子回路Ⅱ 情報処理システム論Ⅱ 情報通信工学Ⅰ 電気機器 発変電工学 制御工学Ⅰ 機械工学概論Ⅰ 数理・データサイエンス入門	工学倫理 電気回路Ⅳ 電力系統工学 パワーエレクトロニクス 制御工学Ⅱ 機械工学概論Ⅱ 電気電子応用工学 情報通信工学Ⅱ 電気情報工学 電気電子材料 電子計測応用 ロボティクス データエンジニアリング基礎 センサ材料工学 先端分子・材料設計 地盤防災工学 特別学修
	1	英語による基礎的な対話や文章が理解でき、自分の意見を表現できる。	英語Ⅰ コミュニケーション	英語Ⅱ	英語Ⅲ	英語Ⅳ	英語Ⅴ 英語特講

大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年	
RC 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける。	2		国語 I	国語 II	国語 III 日本語 I	国語表現	日本語表現演習 卒業研究
	3						卒業研究
RD 技術者に必要なデザインマインドを身に付ける。	1		電気電子工学実験 I	電気電子工学実験 II 電子創造工学	プロジェクト演習		
RE 実践的能力と論理的思考能力を身に付ける。	1				電気電子工学実験 III エネルギー・エレクトロニクス実験 I	エネルギー・エレクトロニクス実験 II	
	2					卒業研究	
	3	保健体育 I	保健体育 II	保健体育 III	生涯スポーツ実習		

電気電子系 エネルギー・エレクトロニクスコース授業科目系統図 (1年)



*: 選択科目 #: 学際カリキュラム

令和8年度本科(準学士課程)の学習・教育目標と科目の配置

電気電子系・i-エネルギー・エレクトロニクスコース(1年)

本科(準学士課程)							
大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年	
RA 多様な文化や価値観を認識できる能力を身に付ける。	1	人間社会の基本的な仕組みを理解し、様々な地域の言語や歴史・伝統などの文化を多面的に認識できる。	歴史Ⅰ 地理	歴史Ⅱ 公共社会Ⅰ	公共社会Ⅱ 公共社会Ⅲ	第2外国語Ⅰ	歴史学特講 哲学 第2外国語Ⅱ 第2外国語Ⅲ 言語文化特講 日本文学論
	2	様々な地域における芸術とそれに根ざした価値観を、認識・理解する意識を持てる。	音楽	美術			
RB 数学とその他の自然科学、情報処理及び専門分野におけるものづくり、環境づくりに関する基礎能力を身に付ける。	1	数学とその他の自然科学に関する基礎知識を理解できる。	基礎解析A 基礎解析B 物理基礎 化学Ⅰ 生物	解析Ⅰ 線形代数 物理 化学Ⅱ	解析Ⅱ 数理統計学 応用物理Ⅰ 基礎数学 基礎物理	解析Ⅲ 応用数学 応用物理Ⅱ	数学特講
	2	専門分野における基礎知識・技術に基づいて情報を処理し、工学的現象を正しく理解できる。	専門基礎Ⅰ 専門基礎Ⅱ 専門基礎Ⅲ	電気磁気学Ⅰ 電気数学 電気回路Ⅰ 電気回路演習 情報処理Ⅰ プログラミング基礎	電気磁気学Ⅱ 電気回路Ⅱ 計測工学 半導体デバイスⅠ 電子回路Ⅰ 情報処理Ⅱ 情報処理システム論Ⅰ テクニカルドローイング 情報・制御基礎 分子・材料設計基礎 空間情報工学 電力エネルギー概論 IoT基礎 IoT実習	日本語Ⅱ 電気磁気学Ⅲ 電気回路Ⅲ 半導体デバイスⅡ 電子回路Ⅱ 情報処理システム論Ⅱ 情報通信工学Ⅰ 電気機器 発電工学 制御工学Ⅰ 機械工学概論Ⅰ 数理・データサイエンス入門	工学倫理 電気回路Ⅳ 電力系統工学 パワーエレクトロニクス 制御工学Ⅱ 機械工学概論Ⅱ 電気電子応用工学 情報通信工学Ⅱ 電気情報工学 電気電子材料 電子計測応用 ロボティクス データエンジニアリング基礎 センサ材料工学 先端分子・材料設計 地盤防災工学 特別学修
	1	英語による基礎的な対話や文章が理解でき、自分の意見を表現できる。	英語Ⅰ コミュニケーション	英語Ⅱ	英語Ⅲ	英語Ⅳ	英語Ⅴ 英語特講

大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年	
RC 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける。	2		国語 I	国語 II	国語 III 日本語 I	国語表現	日本語表現演習 卒業研究
	3						卒業研究
RD 技術者に必要なデザインマインドを身に付ける。	1		電気電子工学実験 I	電気電子工学実験 II 電子創造工学	プロジェクト演習		
RE 情報を駆使する実践的能力と論理的思考能力を身に付ける。	1				電気電子工学実験 III i-エネルギー・エレクトロニクス実験 I	i-エネルギー・エレクトロニクス実験 II	
	2						卒業研究
	3	保健体育 I	保健体育 II	保健体育 III	生涯スポーツ実習		

(2) 専門科目

電気電子系(エネルギー・エレクトロニクスコース(専門探究コース) / i-エネルギー・エレクトロニクスコース(情報融合コース))

授業科目	単位種別	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
数理統計学		2			2			
応用数学		2				2		
応用物理 I		2			2			
応用物理 II		2				2		
専門基礎 I		2	2					
専門基礎 II		2	2					
専門基礎 III		2	2					
電気磁気学 I		2		2				
電気磁気学 II		2			2			
電気磁気学 III		1				1		
電気数学		1		1				
電気回路 I		2		2				
電気回路 II		2			2			
電気回路 III		2				2		
電気回路 IV	A	2					2	
電気回路演習		2		2				
計測工学		2			2			
半導体デバイス I		2			2			
半導体デバイス II	A	2				2		
電子回路 I		1			1			
電子回路 II		2				2		
情報処理 I		2		2				
情報処理 II		1			1			
情報処理システム論 I		2			2			
情報処理システム論 II	A	2				2		
情報通信工学 I		2				2		
電気機器		2				2		
発変電工学	A	2				2		
制御工学 I		1				1		
制御工学 II		1					1	
機械工学概論 I		1				1		
機械工学概論 II		2					2	
電子創造工学		2			2			
電気電子工学実験 I		2		2				
電気電子工学実験 II		2			2			
電気電子工学実験 III		2				2		
卒業研究		9					9	
修得単位計		74	6	11	20	23	14	
エネルギー・エレクトロニクス実験 I		2				2		
エネルギー・エレクトロニクス実験 II		2					2	
修得単位計		4				2	2	
★ プログラミング基礎		1		1				
★ IoT基礎		1			1			
★ IoT実習		1			1			
i-エネルギー・エレクトロニクス実験 I		2				2		
i-エネルギー・エレクトロニクス実験 II		2					2	
修得単位計		7		1	2	2	2	
◎ プログラミング入門		1		1				
電力エネルギー概論		1			1			
電気電子応用工学		1					1	
情報通信工学II		1					1	
電子計測応用		1					1	
電気電子材料		1					1	
電気情報工学		1					1	
特別学修		1					1	
電力系統工学		1					1	
パワーエレクトロニクス		1					1	
修得単位計		5以上				5以上		
修得単位計		2以上					2以上	
インターンシップ		2				2		
学内コンテスト								(別に定める)
大学等における学修								(別に定める)
技能審査における学修								(別に定める)
共通								
数理データサイエンス入門		1				1		
プロジェクト演習		1				1		
情報プロジェクト演習		1				1		
修得単位計		2				2		
テクニカルローイング	A	1			1			
ロボティクス		1					1	
# データエンジニアリング基礎		1					1	
情報・制御基礎	A	1			1			
センサ材料工学		1					1	
分子・材料設計基礎	A	1			1			
先端分子・材料設計		1					1	
空間情報工学	A	1			1			
地盤防災工学		1					1	
他大学等科目(学際)		1					1	
修得単位計		1以上				1以上		
修得単位計		3以上				3以上		
学際カリキュラム除く		86以上	6	11	20以上	25以上	21以上*	
学際カリキュラム含む						69以上		
学際カリキュラム除く		86以上	6	12	22以上	25以上	18以上*	
学際カリキュラム含む						68以上		

注1: 表中において、エネルギー・エレクトロニクスコースは探究、i-エネルギー・エレクトロニクスコースは融合と略記する。

注2: 学修単位の単位種別は次のとおりとする。

A: 15時間の授業と30時間の授業外学修で1単位とする。

B: 30時間の授業と15時間の授業外学修で1単位とする。

C: 45時間の授業で1単位とする。(実験、実習のみ可)

#: 専門選択科目に単位組入可能(単位の付与は学生カリキュラム選択科目又は専門選択科目のいずれか一方とする)。

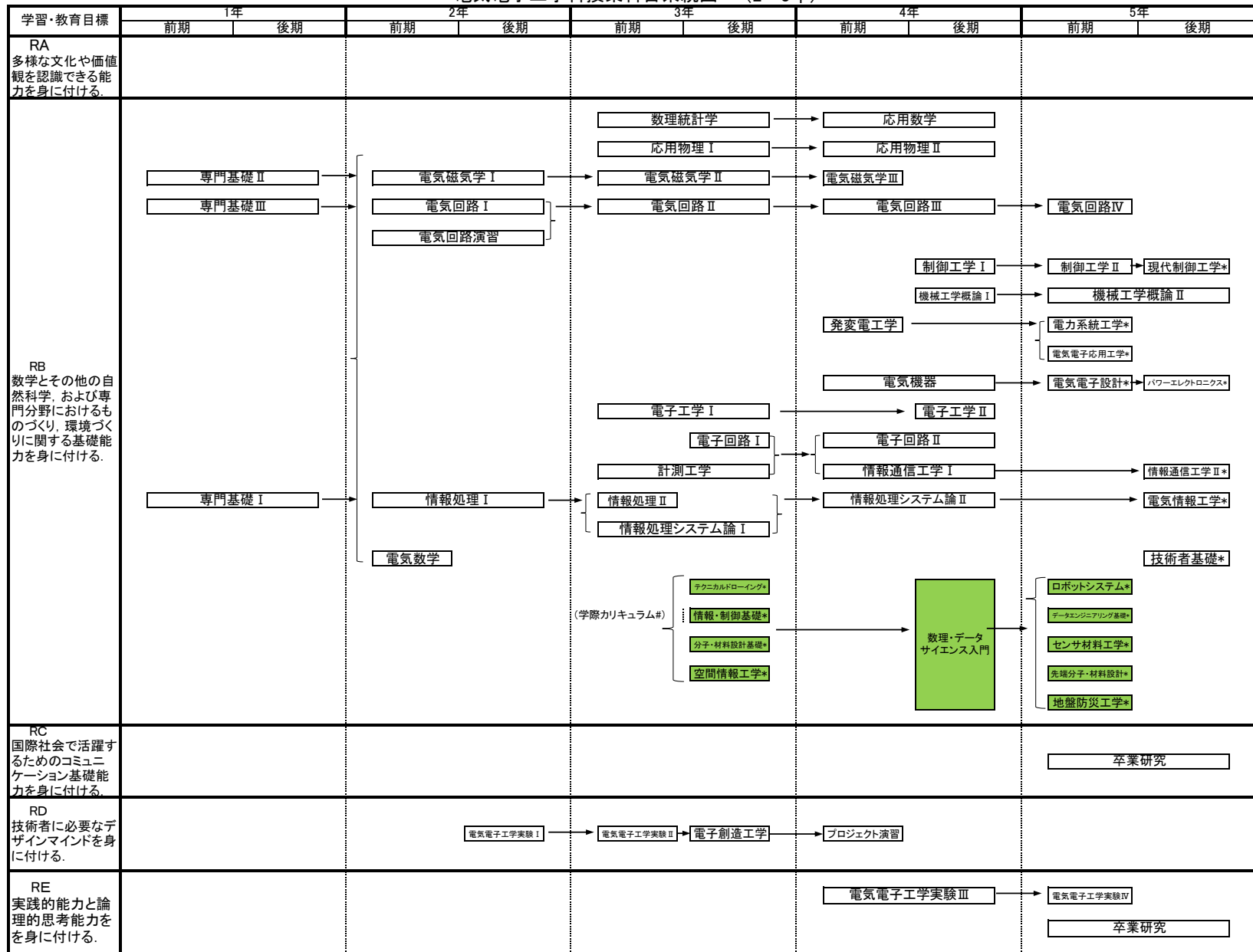
★: 情報融合コース基礎科目・情報融合コースから専門探究コースにコース変更した場合、専門選択科目に単位組入可能。

◎: 情報融合コースを選択した場合、プログラミング基礎の単位に読み替える

本科(準学士課程)							
大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年	
RA 多様な文化や価値観を認識できる能力を身に付ける。	1	人間社会の基本的な仕組みを理解し、様々な地域の言語や歴史・伝統などの文化を多面的に認識できる。	歴史Ⅰ 地理	歴史Ⅱ 公共社会Ⅰ	公共社会Ⅱ 公共社会Ⅲ	第2外国語Ⅰ	歴史学特講 哲学 第2外国語Ⅱ 第2外国語Ⅲ 言語文化特講 日本文学論
	2	様々な地域における芸術とそれに根ざした価値観を、認識・理解する意識を持てる。	音楽	美術			
RB 数学とその他の自然科学、および専門分野におけるものづくり、環境づくりに関する基礎能力を身に付ける。	1	数学とその他の自然科学に関する基礎知識を理解できる。	基礎解析A 基礎解析B 物理基礎 化学Ⅰ 生物	解析Ⅰ 線形代数 物理 化学Ⅱ	解析Ⅱ 数理統計学 応用物理Ⅰ 基礎数学 基礎物理	解析Ⅲ 応用数学 応用物理Ⅱ	数学特講
	2	専門分野における基礎知識・技術に基づいて情報を処理し、工学的現象を正しく理解できる。	専門基礎Ⅰ 専門基礎Ⅱ 専門基礎Ⅲ	電気磁気学Ⅰ 電気数学 電気回路Ⅰ 電気回路演習 情報処理Ⅰ	電気磁気学Ⅱ 電気回路Ⅱ 計測工学 電子工学Ⅰ 電子回路Ⅰ 情報処理Ⅱ 情報処理システムⅠ テクニカルドローイング 情報・制御基礎 分子・材料設計基礎 空間情報工学	日本語Ⅱ 電気磁気学Ⅲ 電気回路Ⅲ 電子工学Ⅱ 電子回路Ⅱ 情報処理システムⅡ 情報通信工学Ⅰ 電気機器 発変電工学 制御工学Ⅰ 機械工学概論Ⅰ 数理・データサイエンス入門	工学倫理 電気回路Ⅳ 電力系統工学 パワーエレクトロニクス 制御工学Ⅱ 機械工学概論Ⅱ 電気電子応用工学 情報通信工学Ⅱ 現代制御工学 電気電子設計 電気情報工学 技術者基礎 ロボットシステム データエンジニアリング基礎 センサ材料工学 先端分子・材料設計 地盤防災工学
	1	英語による基礎的な対話や文章が理解でき、自分の意見を表現できる。	英語Ⅰ コミュニケーション	英語Ⅱ	英語Ⅲ	英語Ⅳ	英語Ⅴ 英語特講

大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年	
RC 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける。	2	日本語の文章や言語作品を的確に理解・鑑賞でき、自分の思いや主張を適切に日本語の談話や文章で表現できる。	国語 I	国語 II	国語 III 日本語 I	国語表現	日本語表現演習 卒業研究
	3	わかりやすい図表等を作成し、それを用いて日本語により効果的な説明ができる。					卒業研究
RD 技術者に必要なデザインマインドを身に付ける。	1	課題に対して自主的に問題を発見し、解決方法を探求して問題解決能力の重要性を認識できる。		電気電子工学実験 I	電気電子工学実験 II 電子創造工学	プロジェクト演習	
RE 実践的能力と論理的思考能力を身に付ける。	1	実験・調査などの経験を通してデータの解析法を学び、理論との比較や考察などができる。				電気電子工学実験 III	電気電子工学実験 IV
	2	課題の背景を理解し、習得した知識を生かして適切な方法を選んで実験・調査などを遂行し、データを解析・考察することにより、結果を客観的に説明できる。					卒業研究
	3	身体・健康・スポーツに関する知識と実践力を獲得するために各自の能力に応じて目標を設定し、個人あるいはグループで課題を達成できる。	保健体育 I	保健体育 II	保健体育 III	生涯スポーツ実習	

電気電子工学科授業科目系統図 (2~3年)



*: 選択科目 #: 学際カリキュラム

(2) 専門科目
電気電子工学科

授業科目	単位種別	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	数理統計学		2			2		
	応用数学	B	2				2	
	応用物理 I		2			2		
	応用物理 II	B	2				2	
	専門基礎 I		2	2				
	専門基礎 II		2	2				
	専門基礎 III		2	2				
	電気磁気学 I		2		2			
	電気磁気学 II		2			2		
	電気磁気学 III		1				1	
	電気数学		1		1			
	電気回路 I		2		2			
	電気回路 II		2			2		
	電気回路 III	B	2				2	
	電気回路 IV	A	2					2
	電気回路演習		2		2			
	計測工学		2			2		
	電子工学 I		2			2		
	電子工学 II	A	2				2	
	電子回路 I		1			1		
	電子回路 II		2				2	
	情報処理 I		2		2			
	情報処理 II		1			1		
	情報処理システム論 I		2			2		
	情報処理システム論 II		2				2	
	情報通信工学 I		2				2	
	電気機器		2				2	
	発変電工学	A	2				2	
	制御工学 I	B	1				1	
	制御工学 II	B	1					1
	機械工学概論 I		1				1	
	機械工学概論 II		2					2
電子創造工学		2			2			
電気電子工学実験 I		2		2				
電気電子工学実験 II		2			2			
電気電子工学実験 III		4				4		
電気電子工学実験 IV		2					2	
卒業研究		9					9	
修得単位数計		78	6	11	20	25	16	
選択科目	電気電子応用工学		1				1	
	情報通信工学 II		1				1	
	現代制御工学		1				1	
	電気電子設計		1				1	
	電気情報工学		1				1	
	技術者基礎		1				1	
	電力系統工学		1				1	
	パワーエレクトロニクス		1				1	
修得単位数計		5以上				5以上		
正課外科目	インターンシップ		2			2		
	学内コンテスト			(別に定める)				
	大学等における学修			(別に定める)				
	技能審査における学修			(別に定める)				
学際カリキュラム	必修科目	プロジェクト演習		1			1	
		数理・データサイエンス入門		1			1	
		修得単位数計		2			2	
	選択科目	テクニカルドローイング	A	1			1	
		ロボットシステム		1			1	
		# データエンジニアリング基礎		1			1	
		情報・制御基礎	A	1			1	
		センサ材料工学		1			1	
		分子・材料設計基礎	A	1			1	
		先端分子・材料設計		1			1	
		空間情報工学	A	1			1	
		地盤防災工学		1			1	
		他大学等科目(学際)		1			1	
		修得単位数計		1以上			1以上	
修得単位数計		3以上			3以上			
修得単位数合計 (卒業認定必要単位数)	学際カリキュラム除く	86以上	6	12	20以上	24以上	21以上	
	学際カリキュラム含む				68以上			

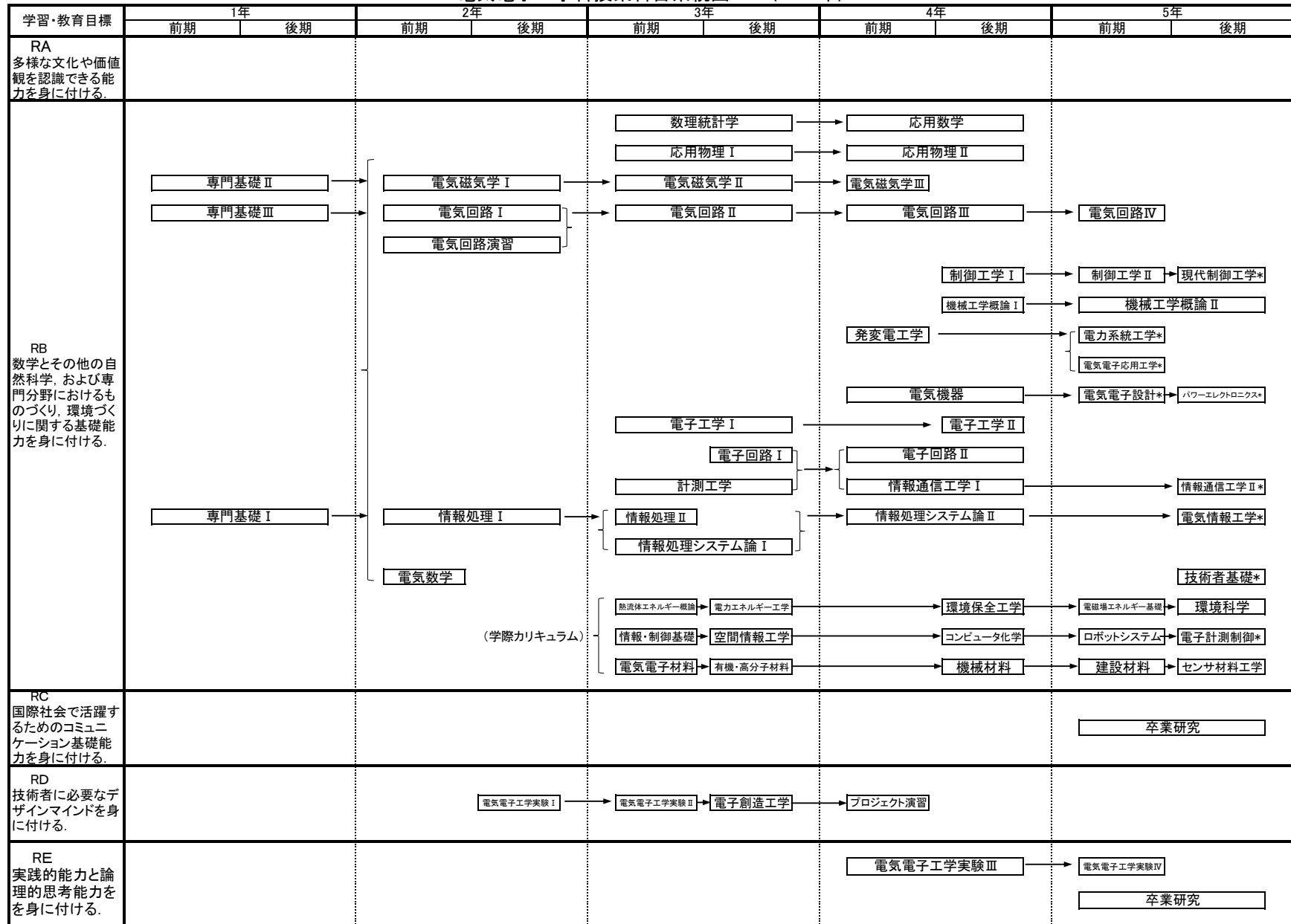
#: 専門選択科目に単位振替可能(単位の付与は学際カリキュラム科目又は専門選択科目のいずれか一方とする)

(注) 学修単位の単位種別は次のとおりとする。
A: 15時間の授業と30時間の授業外学修で1単位とする。
B: 30時間の授業と15時間の授業外学修で1単位とする。
C: 45時間の授業で1単位とする。(実験、実習のみ可)

本科(準学士課程)							
大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年	
RA 多様な文化や価値観を認識できる能力を身に付ける。	1	人間社会の基本的な仕組みを理解し、様々な地域の言語や歴史・伝統などの文化を多面的に認識できる。	歴史Ⅰ 地理Ⅰ 地理Ⅱ	歴史Ⅱ 公共社会Ⅰ	公共社会Ⅱ 公共社会Ⅲ	第2外国語Ⅰ	歴史学特講 哲学 第2外国語Ⅱ 第2外国語Ⅲ 言語文化特講 日本文学論
	2	様々な地域における芸術とそれに根ざした価値観を、認識・理解する意識を持てる。	音楽	美術			
RB 数学とその他の自然科学、および専門分野におけるものづくり、環境づくりに関する基礎能力を身に付ける。	1	数学とその他の自然科学に関する基礎知識を理解できる。	基礎解析A 基礎解析B 物理基礎 化学Ⅰ 生物	解析Ⅰ 線形代数 物理 化学Ⅱ	解析Ⅱ 数理統計学 応用物理Ⅰ 基礎数学 基礎物理	解析Ⅲ 応用数学 応用物理Ⅱ	数学特講
	2	専門分野における基礎知識・技術に基づいて情報を処理し、工学的現象を正しく理解できる。	専門基礎Ⅰ 専門基礎Ⅱ 専門基礎Ⅲ	電気磁気学Ⅰ 電気数学 電気回路Ⅰ 電気回路演習 情報処理Ⅰ	電気磁気学Ⅱ 電気回路Ⅱ 計測工学 電子工学Ⅰ 電子回路Ⅰ 情報処理Ⅱ 情報処理システム論Ⅰ 熱流体エネルギー概論 電力エネルギー工学 情報・制御基礎 空間情報工学 電気電子材料 有機・高分子材料	日本語Ⅱ 電気磁気学Ⅲ 電気回路Ⅲ 電子工学Ⅱ 電子回路Ⅱ 情報処理システム論Ⅱ 情報通信工学Ⅰ 電気機器 発変電工学 制御工学Ⅰ 機械工学概論Ⅰ 環境保全工学 コンピュータ化学 機械材料	工学倫理 電気回路Ⅳ 電力系統工学 パワーエレクトロニクス 制御工学Ⅱ 機械工学概論Ⅱ 電気電子応用工学 情報通信工学Ⅱ 現代制御工学 電気電子設計 電気情報工学 技術者基礎 電磁場エネルギー基礎 環境科学 ロボットシステム 電子計測制御 建設材料 センサ材料工学
	1	英語による基礎的な対話や文章が理解でき、自分の意見を表現できる。	英語Ⅰ コミュニケーション	英語Ⅱ	英語Ⅲ	英語Ⅳ	英語Ⅴ 英語特講

大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年	
RC 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける.	2	日本語の文章や言語作品を的確に理解・鑑賞でき、自分の思いや主張を適切に日本語の談話や文章で表現できる.	国語 I	国語 II	国語 III 日本語 I	国語表現	日本語表現演習 卒業研究
	3	わかりやすい図表等を作成し、それを用いて日本語により効果的な説明ができる.					卒業研究
RD 技術者に必要なデザインマインドを身に付ける.	1	課題に対して自主的に問題を発見し、解決方法を探求して問題解決能力の重要性を認識できる.		電気電子工学実験 I	電気電子工学実験 II 電子創造工学	プロジェクト演習	
RE 実践的能力と論理的思考能力を身に付ける.	1	実験・調査などの経験を通してデータの解析法を学び、理論との比較や考察などができる.				電気電子工学実験 III	電気電子工学実験 IV
	2	課題の背景を理解し、習得した知識を生かして適切な方法を選んで実験・調査などを遂行し、データを解析・考察することにより、結果を客観的に説明できる.					卒業研究
	3	身体・健康・スポーツに関する知識と実践力を獲得するために各自の能力に応じて目標を設定し、個人あるいはグループで課題を達成できる.	保健体育 I	保健体育 II	保健体育 III	生涯スポーツ実習	

電気電子工学科授業科目系統図 (4~5年)



*: 選択科目 #: 学際カリキュラム

(2)専門科目
電気電子工学科

授業科目	単位種別	単位数	学年別配当					備考		
			1年	2年	3年	4年	5年			
数理統計学		2			2					
応用数学	B	2				2				
応用物理 I		2			2					
応用物理 II	B	2				2				
専門基礎 I		2	2							
専門基礎 II		2	2							
専門基礎 III		2	2							
電気磁気学 I		2		2						
電気磁気学 II		2			2					
電気磁気学 III		1				1				
電気数学		1		1						
電気回路 I		2		2						
電気回路 II		2			2					
電気回路 III	B	2				2				
電気回路 IV	A	2					2			
電気回路演習		2		2						
計測工学		2			2					
電子工学 I		2			2					
*電子工学 II	A	2				2				
電子回路 I		1			1					
電子回路 II		2				2				
情報処理 I		2		2						
情報処理 II		1			1					
情報処理システム論 I		2			2					
*情報処理システム論 II		2				2				
情報通信工学 I		2				2				
電気機器		2				2				
発変電工学	A	2				2				
制御工学 I	B	1				1				
制御工学 II	B	1					1			
機械工学概論 I		1				1				
機械工学概論 II		2					2			
電子創造工学		2			2					
電気電子工学実験 I		2		2						
電気電子工学実験 II		2			2					
電気電子工学実験 III		4				4				
電気電子工学実験 IV		2					2			
卒業研究		9					9			
修得単位計		78	6	11	20	25	16			
*電気電子応用工学		1					1			
*情報通信工学 II		1					1			
*現代制御工学		1					1			
*電気電子設計		1					1			
*電気情報工学		1					1			
技術者基礎		1					1			
*電力系統工学		1					1			
パワーエレクトロニクス		1					1			
修得単位計		5以上					5以上			
インターンシップ		2				2				
学内コンテスト			(別に定める)							
大学等における学修			(別に定める)							
技能審査における学修			(別に定める)							
必修科目	プロジェクト演習	1				1				
学際カリキュラム	環境・エネルギー群	熱流体エネルギー概論	A	1		1			2単位以上修得すること	
		電力エネルギー工学	A	1		1				
		電磁場エネルギー基礎	A	1				1		
		環境科学	A	1				1		
		環境保全工学	A	1				1		
	他大学等科目(学際)		2以内				2以内			
	情報・制御群	ロボットシステム	A	1				1	2単位以上修得すること	
		#電子計測制御	A	1				1		
		情報・制御基礎	A	1		1				
		コンピュータ化学	A	1			1			
		空間情報工学	A	1		1				
	他大学等科目(学際)		2以内				2以内			
	材料科学群	機械材料	A	1			1		2単位以上修得すること	
		電気電子材料	A	1		1				
		センサ材料工学	A	1				1		
有機・高分子材料		A	1		1					
建設材料		A	1					1		
他大学等科目(学際)		2以内				2以内				
修得単位計		2以上			2以上					
修得単位計		3以上			3以上					
修得単位合計(卒業認定必要単位数)	学際カリキュラム除く	86以上	6	11	20以上	25以上	21以上			
	学際カリキュラム含む						70以上			

*:学際連携科目 # :専門選択科目に単位振替可能(単位の付与は学際カリキュラム科目又は専門選択科目のいずれか一方とする)

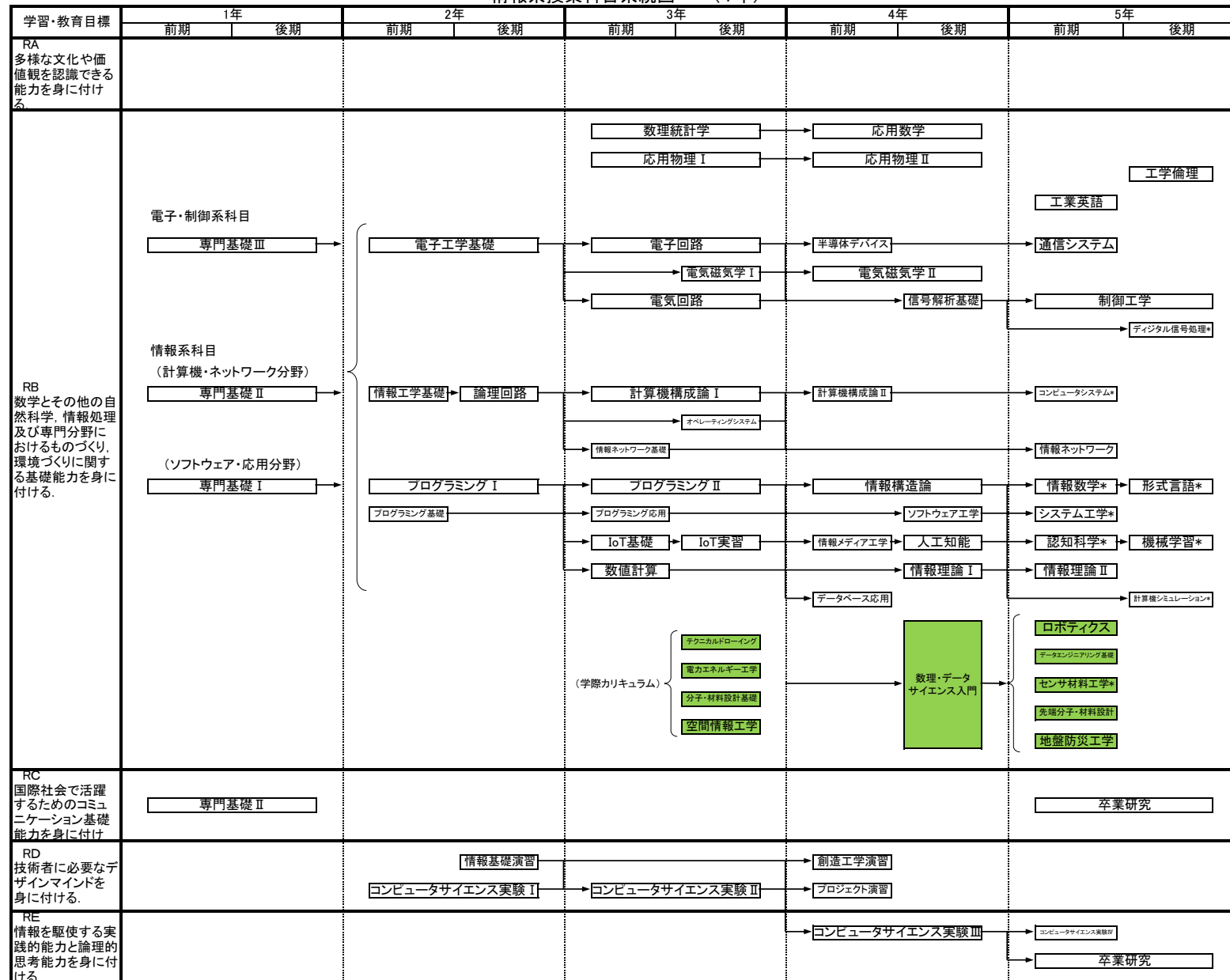
電気電子工学科の全課程の修了の認定に必要な単位数は、平成30年度以降の入学者については167単位以上(そのうち、一般科目については81単位以上、専門科目については86単位以上)、平成29年度以前の入学者については169単位以上(そのうち、一般科目については83単位以上、専門科目については86単位以上)とする。

(注)学修単位の単位種別は次のとおりとする。
A:15時間の授業と30時間の授業外学修で1単位とする。
B:30時間の授業と15時間の授業外学修で1単位とする。
C:45時間の授業で1単位とする。(実験、実習のみ可)

本科(準学士課程)							
大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年	
RA 多様な文化や価値観を認識できる能力を身に付ける。	1	人間社会の基本的な仕組みを理解し、様々な地域の言語や歴史・伝統などの文化を多面的に認識できる。	歴史Ⅰ 地理	歴史Ⅱ 公共社会Ⅰ	公共社会Ⅱ 公共社会Ⅲ	第2外国語Ⅰ	歴史学特講 哲学 第2外国語Ⅱ 第2外国語Ⅲ 言語文化特講 日本文学論
	2	様々な地域における芸術とそれに根ざした価値観を、認識・理解する意識を持てる。	音楽	美術			
RB 数学とその他の自然科学、情報処理及び専門分野におけるものづくり、環境づくりに関する基礎能力を身に付ける。	1	数学とその他の自然科学に関する基礎知識を理解できる。	基礎解析A 基礎解析B 物理基礎 化学Ⅰ 生物	解析Ⅰ 線形代数 物理 化学Ⅱ	解析Ⅱ 数理統計学 応用物理Ⅰ 基礎数学 基礎物理	解析Ⅲ 応用数学 応用物理Ⅱ	数学特講
	2	専門分野における基礎知識・技術に基づいて情報を処理し、工学的現象を正しく理解できる。	専門基礎Ⅰ 専門基礎Ⅱ 専門基礎Ⅲ	電子工学基礎 情報工学基礎 プログラミングⅠ 論理回路 プログラミング基礎	電気回路 電子回路 電気磁気学Ⅰ 数値計算 プログラミングⅡ プログラミング応用 計算機構成論Ⅰ オペレーティングシステム 情報ネットワーク基礎 テクニカルドローイング 電力エネルギー工学 分子・材料設計基礎 空間情報工学 IoT基礎 IoT実習	日本語Ⅱ 信号解析基礎 電気磁気学Ⅱ 情報メディア工学 計算機構成論Ⅱ ソフトウェア工学 情報構造論 情報理論Ⅰ 半導体デバイス 人工知能 データベース応用 数理・データサイエンス入門	工学倫理 工業英語 制御工学 通信システム 情報ネットワーク 情報理論Ⅱ 情報数学 コンピュータシステム デジタル信号処理 システム工学 計算機シミュレーション 認知科学 形式言語 機械学習 ロボティクス データエンジニアリング基礎 センサ材料工学 先端分子・材料設計 地盤防災工学
	1	英語による基礎的な対話や文章が理解でき、自分の意見を表現できる。	英語Ⅰ コミュニケーション	英語Ⅱ	英語Ⅲ	英語Ⅳ	英語Ⅴ 英語特講

大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年	
RC 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける.	2	日本語の文章や言語作品を的確に理解・鑑賞でき、自分の思いや主張を適切に日本語の談話や文章で表現できる.	国語 I	国語 II	国語 III 日本語 I	国語表現	日本語表現演習 卒業研究
	3	わかりやすい図表等を作成し、それを用いて日本語により効果的な説明ができる.	専門基礎 II				卒業研究
RD 技術者に必要なデザインマインドを身に付ける.	1	課題に対して自主的に問題を発見し、解決方法を探求して問題解決能力の重要性を認識できる.		情報基礎演習 コンピュータサイエンス実験 I	コンピュータサイエンス実験 II	創造工学演習 プロジェクト演習	
RE 情報を駆使する実践的能力と論理的思考能力を身に付ける.	1	実験・調査などの経験を通してデータの解析法を学び、理論との比較や考察などができる.				コンピュータサイエンス実験 III	コンピュータサイエンス実験 IV
	2	課題の背景を理解し、習得した知識を生かして適切な方法を選んで実験・調査などを遂行し、データを解析・考察することにより、結果を客観的に説明できる.					卒業研究
	3	身体・健康・スポーツに関する知識と実践力を獲得するために各自の能力に応じて目標を設定し、個人あるいはグループで課題を達成できる.	保健体育 I	保健体育 II	保健体育 III	生涯スポーツ実習	

情報系授業科目系統図 (1年)



* : 選択科目

(2) 専門科目
情報系(コンピュータサイエンスコース(専門探究コース))

授業科目	単位種別	単位数	学年別配当					備考	
			1年	2年	3年	4年	5年		
数理統計学		2			2				
応用数学		2				2			
応用物理 I		2			2				
応用物理 II		2				2			
専門基礎 I		2	2						
専門基礎 II		2	2						
専門基礎 III		2	2						
半導体デバイス		1					1		
電子工学基礎		2		2					
電気回路		2			2				
信号解析基礎		1					1		
電子回路		2			2				
電気磁気学 I		1			1				
電気磁気学 II		2					2		
数値計算		1			1				
情報メディア工学		1					1		
工業英語		1						1	
情報工学基礎		1		1					
情報基礎演習		1		1					
プログラミング基礎		1		1					
プログラミング I		2		2					
プログラミング II		2			2				
IoT実習		1			1				
情報ネットワーク基礎		1			1				
論理回路		1		1					
計算機構成論 I		2			2				
計算機構成論 II		1				1			
オペレーティングシステム	A	2			2				
プログラミング応用	A	2			2				
創造工学演習		2				2			
ソフトウェア工学		1					1		
情報構造論		2					2		
制御工学		2						2	
通信システム		1						1	
情報ネットワーク		1						1	
情報理論 I		1					1		
人工知能	A	2					2		
データベース応用		2					2		
情報理論 II		1						1	
コンピュータサイエンス実験 I		2		2					
コンピュータサイエンス実験 II		4			4				
コンピュータサイエンス実験 III		2				2			
コンピュータサイエンス実験 IV		2						2	
卒業研究		9						9	
修得単位計		79	6	10	24	22	17		
情報数学		1						1	
デジタル信号処理		1						1	
システム工学		1						1	
計算機シミュレーション		1						1	
認知科学		1						1	
コンピュータシステム		1						1	
形式言語		1						1	
機械学習		1						1	
修得単位計		4以上						4以上	
正課外科目	インターンシップ	2					2		
	学内コンテスト		(別に定める)						
	大学等における学修		(別に定める)						
	技能審査における学修		(別に定める)						
学際・グローバルサイエンス(エンブレグニラム)	プロジェクト演習	1					1		
	数理・データサイエンス入門	1					1		
	修得単位計	2					2		
	テクニカルドローイング	A	1		1				
	ロボティクス	1						1	
	電力エネルギー工学	A	1		1				
	データエンジニアリング基礎	1						1	
#	センサ材料工学	1						1	
	分子・材料設計基礎	A	1		1				
	先端分子・材料設計	1						1	
	空間情報工学	A	1		1				
	地盤防災工学	1						1	
	他大学等科目(学際)	1					1		
	修得単位計	1以上					1以上		
	修得単位計	3以上					3以上		
修得単位合計(卒業認定必要単位数)	学際カリキュラム除く	86以上	6	10	24以上	22以上	21以上		
	学際カリキュラム含む				69以上				

注:学修単位の単位種別は次のとおりとする。

A: 15時間の授業と30時間の授業外学修で1単位とする。

B: 30時間の授業と15時間の授業外学修で1単位とする。

C: 45時間の授業で1単位とする。(実験、実習のみ可)

#: 専門選択科目に単位組入可能(単位の付与は学際カリキュラム選択科目又は専門選択科目のいずれか一方とする)。

本科(準学士課程)							
大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年	
RA 多様な文化や価値観を認識できる能力を身に付ける。	1	人間社会の基本的な仕組みを理解し、様々な地域の言語や歴史・伝統などの文化を多面的に認識できる。	歴史Ⅰ 地理	歴史Ⅱ 公共社会Ⅰ	公共社会Ⅱ 公共社会Ⅲ	第2外国語Ⅰ	歴史学特講 哲学 第2外国語Ⅱ 第2外国語Ⅲ 言語文化特講 日本文学論
	2	様々な地域における芸術とそれに根ざした価値観を、認識・理解する意識を持てる。	音楽	美術			
RB 数学とその他の自然科学、および専門分野におけるものづくり、環境づくりに関する基礎能力を身に付ける。	1	数学とその他の自然科学に関する基礎知識を理解できる。	基礎解析A 基礎解析B 物理基礎 化学Ⅰ 生物	解析Ⅰ 線形代数 物理 化学Ⅱ	解析Ⅱ 数理統計学 応用物理Ⅰ 基礎数学 基礎物理	解析Ⅲ 応用数学 応用物理Ⅱ	数学特講
	2	専門分野における基礎知識・技術に基づいて情報を処理し、工学的現象を正しく理解できる。	専門基礎Ⅰ 専門基礎Ⅱ 専門基礎Ⅲ	電子工学基礎 情報工学基礎 プログラミング基礎 論理回路	電気回路 電子回路Ⅰ 電気磁気学Ⅰ 数値計算 プログラミング応用 計算機構成論Ⅰ オペレーティングシステム 情報ネットワーク基礎 テクニカルドローイング 電力エネルギー工学 分子・材料設計基礎 空間情報工学	日本語Ⅱ 機械工学概論 信号解析基礎 電子回路Ⅱ 電気磁気学Ⅱ 情報メディア工学 計算機構成論Ⅱ ソフトウェア工学 情報構造論 情報理論Ⅰ 数理・データサイエンス入門	工学倫理 工業英語 制御工学 通信システム 情報ネットワーク 情報理論Ⅱ 情報数学 人工知能 計算機アーキテクチャ デジタル信号処理 システム工学 計算機シミュレーション 認知科学 データベース ロボットシステム データエンジニアリング基礎 センサ材料工学 先端分子・材料設計 地盤防災工学
	1	英語による基礎的な対話や文章が理解でき、自分の意見を表現できる。	英語Ⅰ コミュニケーション	英語Ⅱ	英語Ⅲ	英語Ⅳ	英語Ⅴ 英語特講

大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年	
RC 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける。	2	日本語の文章や言語作品を的確に理解・鑑賞でき、自分の思いや主張を適切に日本語の談話や文章で表現できる。	国語Ⅰ	国語Ⅱ	国語Ⅲ 日本語Ⅰ	国語表現	日本語表現演習 卒業研究
	3	わかりやすい図表等を作成し、それを用いて日本語により効果的な説明ができる。	専門基礎Ⅱ				卒業研究
RD 技術者に必要なデザインマインドを身に付ける。	1	課題に対して自主的に問題を発見し、解決方法を探索して問題解決能力の重要性を認識できる。		情報基礎演習 電子情報工学実験Ⅰ	電子情報工学実験Ⅱ	創造工学演習 プロジェクト演習	
RE 実践的能力と論理的思考能力を身に付ける。	1	実験・調査などの経験を通してデータの解析法を学び、理論との比較や考察などができる。				電子情報工学実験Ⅲ	電子情報工学実験Ⅳ
	2	課題の背景を理解し、習得した知識を生かして適切な方法を選んで実験・調査などを遂行し、データを解析・考察することにより、結果を客観的に説明できる。					卒業研究
	3	身体・健康・スポーツに関する知識と実践力を獲得するために各自の能力に応じて目標を設定し、個人あるいはグループで課題を達成できる。	保健体育Ⅰ	保健体育Ⅱ	保健体育Ⅲ	生涯スポーツ実習	

(2) 専門科目
電子情報工学科

授業科目	単位種別	単位数	学年別配当					備考	
			1年	2年	3年	4年	5年		
必修科目	数理統計学		2			2			
	応用数学	B	2				2		
	応用物理 I		2			2			
	応用物理 II	B	2				2		
	専門基礎 I		2	2					
	専門基礎 II		2	2					
	専門基礎 III		2	2					
	機械工学概論	B	2				2		
	電子工学基礎		2		2				
	電気回路		2			2			
	信号解析基礎		1				1		
	電子回路 I		2			2			
	電子回路 II		2				2		
	電気磁気学 I		1			1			
	電気磁気学 II		2				2		
	数値計算		1			1			
	情報メディア工学		2				2		
	工業英語	B	1					1	
	情報工学基礎		1		1				
	情報基礎演習		1		1				
	プログラミング基礎		2		2				
	プログラミング応用		2			2			
	情報ネットワーク基礎		1			1			
	論理回路		1		1				
	計算機構成論 I		2			2			
	計算機構成論 II	B	1				1		
	オペレーティングシステム		2			2			
	創造工学演習		2				2		
	ソフトウェア工学		1				1		
	情報構造論	B	2				2		
	制御工学		2					2	
通信システム		1					1		
情報ネットワーク	B	1					1		
情報理論 I		1				1			
情報理論 II	B	1					1		
電子情報工学実験 I		4		4					
電子情報工学実験 II		4			4				
電子情報工学実験 III		4				4			
電子情報工学実験 IV		2					2		
卒業研究		9					9		
修得単位計			79	6	11	21	24	17	
選択科目	情報数学		1					1	
	人工知能		1					1	
	計算機アーキテクチャ		1					1	
	デジタル信号処理		1					1	
	システム工学		1					1	
	計算機シミュレーション		1					1	
	認知科学		1					1	
	データベース		1					1	
修得単位計			4以上					4以上	
正課外科目	インターンシップ		2				2		
	学内コンテスト				(別に定める)				
	大学等における学修				(別に定める)				
	技能審査における学修				(別に定める)				
学際カリキュラム	必修科目	プロジェクト演習		1				1	
		教理・データサイエンス入門		1				1	
		修得単位計		2				2	
	選択科目	テクニカルドローイング	A	1			1		
		ロボットシステム		1					1
		電力エネルギー工学	A	1			1		
		データエンジニアリング基礎		1					1
		#センサ材料工学		1					1
		分子・材料設計基礎	A	1			1		
		先端分子・材料設計		1					1
		空間情報工学	A	1			1		
		地盤防災工学		1					1
		他大学等科目(学際)		1					1
修得単位計			1以上					1以上	
修得単位計			3以上					3以上	
修得単位合計 (卒業認定必要単位数)	学際カリキュラム除く		86以上	6	12	20以上	24以上	21以上	
	学際カリキュラム含む					24以上	28以上	28以上	

※: 専門選択科目に単位振替可能(単位の付与は学際カリキュラム科目又は専門選択科目のいずれか一方とする)

(注) 学修単位の単位種別は次のとおりとする。
A: 15時間の授業と30時間の授業外学修で1単位とする。
B: 30時間の授業と15時間の授業外学修で1単位とする。
C: 45時間の授業で1単位とする。(実験、実習のみ可)

本科(準学士課程)							
大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年	
RA 多様な文化や価値観を認識できる能力を身に付ける。	1	人間社会の基本的な仕組みを理解し、様々な地域の言語や歴史・伝統などの文化を多面的に認識できる。	歴史Ⅰ 地理Ⅰ 地理Ⅱ	歴史Ⅱ 公共社会Ⅰ	公共社会Ⅱ 公共社会Ⅲ	第2外国語Ⅰ	歴史学特講 哲学 第2外国語Ⅱ 第2外国語Ⅲ 言語文化特講 日本文学論
	2	様々な地域における芸術とそれに根ざした価値観を、認識・理解する意識を持てる。	音楽	美術			
RB 数学とその他の自然科学、および専門分野におけるものづくり、環境づくりに関する基礎能力を身に付ける。	1	数学とその他の自然科学に関する基礎知識を理解できる。	基礎解析A 基礎解析B 物理基礎 化学Ⅰ 生物	解析Ⅰ 線形代数 物理 化学Ⅱ	解析Ⅱ 数理統計学 応用物理Ⅰ 基礎数学 基礎物理	解析Ⅲ 応用数学 応用物理Ⅱ	数学特講
	2	専門分野における基礎知識・技術に基づいて情報を処理し、工学的現象を正しく理解できる。	専門基礎Ⅰ 専門基礎Ⅱ 専門基礎Ⅲ	電子工学基礎 情報工学基礎 プログラミング基礎 論理回路	電気回路 電子回路Ⅰ 電気磁気学Ⅰ 数値計算 プログラミング応用 計算機構成論Ⅰ オペレーティングシステム 情報ネットワーク基礎 熱流体エネルギー概論 電力エネルギー工学 情報・制御基礎 空間情報工学 電気電子材料 有機・高分子材料	日本語Ⅱ 機械工学概論 信号解析基礎 電子回路Ⅱ 電気磁気学Ⅱ 情報メディア工学 計算機構成論Ⅱ ソフトウェア工学 情報構造論 情報理論Ⅰ 環境保全工学 コンピュータ化学 機械材料	工学倫理 工業英語 制御工学 通信システム 情報ネットワーク 情報理論Ⅱ 情報数学 人工知能 計算機アーキテクチャ デジタル信号処理 システム工学 計算機シミュレーション 認知科学 データベース 電磁場エネルギー基礎 環境科学 ロボットシステム 電子計測制御 建設材料 センサ材料工学
	1	英語による基礎的な対話や文章が理解でき、自分の意見を表現できる。	英語Ⅰ コミュニケーション	英語Ⅱ	英語Ⅲ	英語Ⅳ	英語Ⅴ 英語特講

大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年	
RC 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける。	2	日本語の文章や言語作品を的確に理解・鑑賞でき、自分の思いや主張を適切に日本語の談話や文章で表現できる。	国語 I	国語 II	国語 III 日本語 I	国語表現	日本語表現演習 卒業研究
	3	わかりやすい図表等を作成し、それを用いて日本語により効果的な説明ができる。	専門基礎 II				卒業研究
RD 技術者に必要なデザインマインドを身に付ける。	1	課題に対して自主的に問題を発見し、解決方法を探求して問題解決能力の重要性を認識できる。		情報基礎演習 電子情報工学実験 I	電子情報工学実験 II	創造工学演習 プロジェクト演習	
RE 実践的能力と論理的思考能力を身に付ける。	1	実験・調査などの経験を通してデータの解析法を学び、理論との比較や考察などができる。				電子情報工学実験 III	電子情報工学実験 IV
	2	課題の背景を理解し、習得した知識を生かして適切な方法を選んで実験・調査などを遂行し、データを解析・考察することにより、結果を客観的に説明できる。					卒業研究
	3	身体・健康・スポーツに関する知識と実践力を獲得するために各自の能力に応じて目標を設定し、個人あるいはグループで課題を達成できる。	保健体育 I	保健体育 II	保健体育 III	生涯スポーツ実習	

電子情報工学科授業科目系統図 (4~5年)

学習・教育目標	1年		2年		3年		4年		5年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
<p>RA 多様な文化や価値観を認識できる能力を身に付ける。</p>										
<p>RB 数学とその他の自然科学、および専門分野におけるものづくり、環境づくりに関する基礎能力を身に付ける。</p>	<p>電子系科目 専門基礎Ⅲ</p> <p>情報系科目 (計算機・ネットワーク分野) 専門基礎Ⅱ</p> <p>(ソフトウェア・応用分野) 専門基礎Ⅰ</p>	<p>電子工学基礎</p> <p>情報工学基礎</p> <p>論理回路</p> <p>プログラミング基礎</p>	<p>電気回路</p> <p>電子回路Ⅰ</p> <p>情報ネットワーク基礎</p> <p>オペレーティングシステム</p> <p>プログラミング応用</p> <p>数値計算</p>	<p>電磁気学Ⅰ</p> <p>電子回路Ⅱ</p> <p>情報ネットワーク基礎</p> <p>計算機構成論Ⅰ</p> <p>オペレーティングシステム</p> <p>情報構成論Ⅱ</p> <p>信号解析基礎</p> <p>情報理論Ⅰ</p> <p>情報メディア工学</p> <p>ソフトウェア工学</p>	<p>応用数学</p> <p>応用物理Ⅱ</p> <p>電磁気学Ⅱ</p> <p>電子回路Ⅱ</p> <p>計算機構成論Ⅱ</p> <p>情報理論Ⅱ</p> <p>情報メディア工学</p> <p>ソフトウェア工学</p> <p>環境保全工学</p> <p>コンピュータ化学</p> <p>機械材料</p>	<p>制御工学</p> <p>通信システム</p> <p>情報ネットワーク</p> <p>計算機アーキテクチャ</p> <p>デジタル信号処理*</p> <p>情報数学*</p> <p>システム工学*</p> <p>情報理論Ⅱ</p> <p>人工知能*</p> <p>計算機シミュレーション*</p> <p>データベース*</p> <p>認知科学*</p> <p>環境科学</p> <p>電子計測制御</p> <p>センサ材料工学*</p>	<p>工業英語</p> <p>卒業研究</p>	<p>情報基礎演習</p> <p>電子情報工学実験Ⅰ</p> <p>電子情報工学実験Ⅱ</p> <p>創造工学演習</p> <p>プロジェクト演習</p>	<p>電子情報工学実験Ⅲ</p> <p>電子情報工学実験Ⅳ</p> <p>卒業研究</p>	<p>(学際カリキュラム)</p> <p>熱流体エネルギー概論 → 電力エネルギー工学 → 環境保全工学 → 電磁場エネルギー基礎 → 環境科学</p> <p>情報・制御基礎 → 空間情報工学 → コンピュータ化学 → ロボットシステム → 電子計測制御</p> <p>電気電子材料 → 有機・高分子材料 → 機械材料 → 建設材料 → センサ材料工学*</p>
<p>RC 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける。</p>										
<p>RD 技術者に必要なデザインマインドを身に付ける。</p>										
<p>RE 実践的能力と論理的思考能力を身に付ける。</p>										

* : 選択科目

(2)専門科目
電子情報工学科

授業科目	単位種別	単位数	学年別配当					備考			
			1年	2年	3年	4年	5年				
必修科目	数理統計学		2			2					
	応用数学	B	2				2				
	応用物理Ⅰ		2			2					
	応用物理Ⅱ	B	2				2				
	専門基礎Ⅰ		2	2							
	専門基礎Ⅱ		2	2							
	専門基礎Ⅲ		2	2							
	機械工学概論	B	2				2				
	電子工学基礎		2		2						
	電気回路		2			2					
	信号解析基礎		1				1				
	電子回路Ⅰ		2			2					
	電子回路Ⅱ		2				2				
	電気磁気学Ⅰ		1			1					
	電気磁気学Ⅱ		2				2				
	数値計算		1			1					
	情報メディア工学		2				2				
	工業英語	B	1					1			
	情報工学基礎		1		1						
	情報基礎演習		1		1						
	プログラミング基礎		2		2						
	プログラミング応用		2			2					
	情報ネットワーク基礎		1			1					
	論理回路		1		1						
	計算機構成論Ⅰ		2			2					
	計算機構成論Ⅱ	B	1				1				
	オペレーティングシステム		2			2					
	創造工学演習		2				2				
	ソフトウェア工学		1				1				
	情報構造論	B	2				2				
制御工学		2					2				
通信システム		1					1				
情報ネットワーク	B	1					1				
情報理論Ⅰ		1				1					
情報理論Ⅱ	B	1					1				
電子情報工学実験Ⅰ		4		4							
電子情報工学実験Ⅱ		4			4						
電子情報工学実験Ⅲ		4				4					
電子情報工学実験Ⅳ		2					2				
卒業研究		9					9				
修得単位数計		79	6	11	21	24	17				
選択科目	*情報数学		1					1			
	*人工知能		1					1			
	*計算機アーキテクチャ		1					1			
	*デザイン/信号処理		1					1			
	*システム工学		1					1			
	*計算機シミュレーション		1					1			
	*認知科学		1					1			
	*データベース		1					1			
	修得単位数計		4以上					4以上			
正課外科目	インターンシップ		2				2				
	学内コンテスト				(別に定める)						
	大学等における学修				(別に定める)						
	技能審査における学修				(別に定める)						
学際カリキュラム	必修科目	選択科目	プロジェクト演習		1			1		群別に修得すること	
			環境・エネルギー群	熱流体エネルギー概論	A	1			1		
			電力エネルギー工学	A	1			1			
			# 電磁場エネルギー基礎	A	1				1		
			環境科学	A	1				1		
			環境保全工学	A	1				1		
			他大学等科目(学際)		2以内				2以内		
			情報・制御群	ロボットシステム	A	1					1
			電子計測制御	A	1				1		
			情報・制御基礎	A	1			1			
			コンピュータ化学	A	1				1		
			空間情報工学	A	1			1			
			他大学等科目(学際)		2以内				2以内		
			材料科学群	機械材料	A	1					1
			電気電子材料	A	1			1			
			# センサ材料工学	A	1				1		
			有機・高分子材料	A	1			1			
			建設材料	A	1				1		
			他大学等科目(学際)		2以内				2以内		
			修得単位数計		2以上				2以上		
修得単位数計(卒業認定必要単位数)	学際カリキュラム除く	86以上	6	11	21以上	24以上	21以上				
	学際カリキュラム含む				69以上						

*:学際連携科目 #:専門選択科目に単位振替可能(単位の付与は学際カリキュラム科目又は専門選択科目のいずれか一方とする)

電子情報工学科の全課程の修了の認定に必要な単位数は、平成30年度以降の入学者については167単位以上(そのうち、一般科目については81単位以上、専門科目については86単位以上)、平成29年度以前の入学者については169単位以上(そのうち、一般科目については83単位以上、専門科目については86単位以上)とする。

(注)学修単位の単位種別は次のとおりとする。
A:15時間の授業と30時間の授業外学修で1単位とする。
B:30時間の授業と15時間の授業外学修で1単位とする。
C:45時間の授業で1単位とする。(実験、実習のみ可)

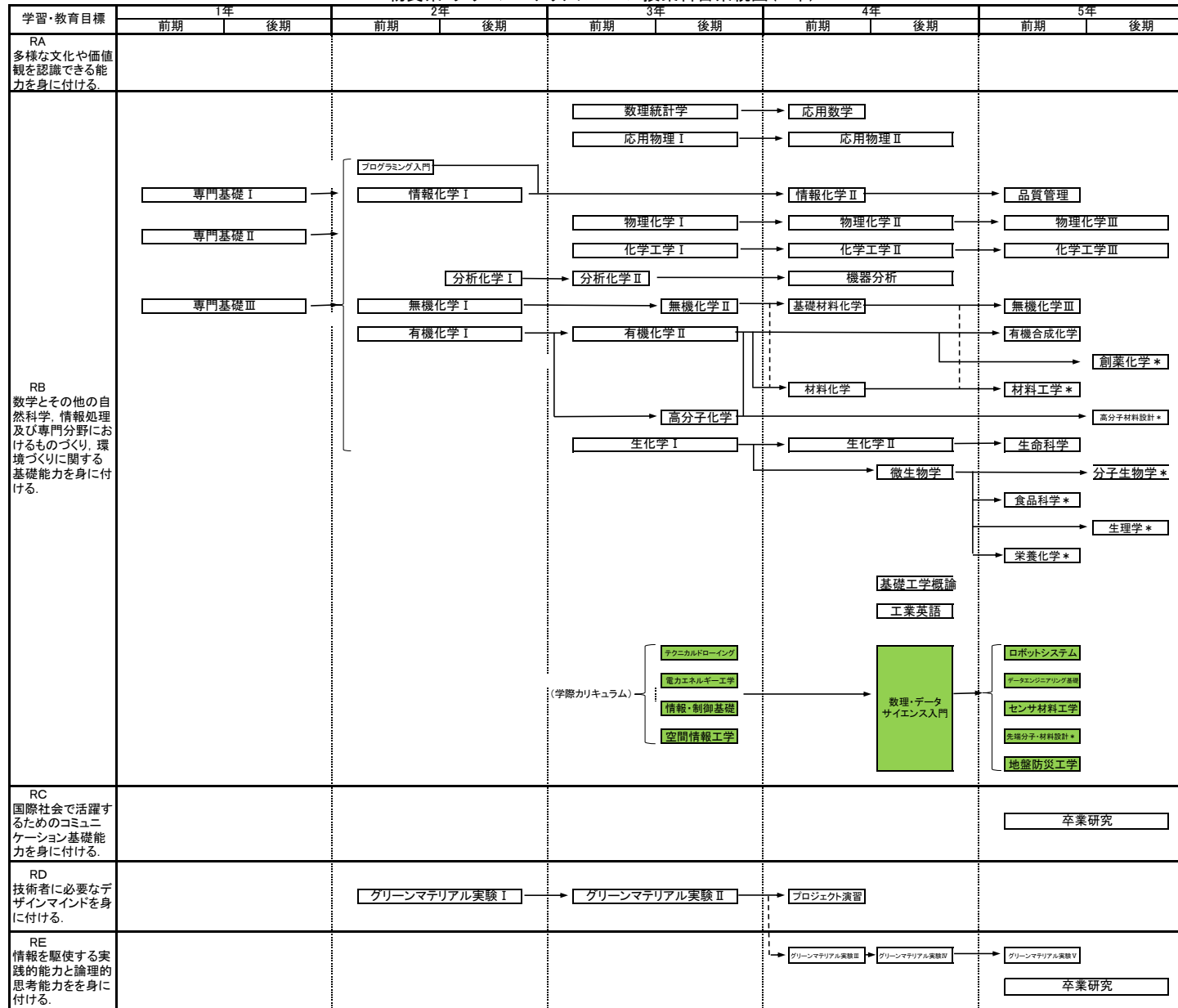
令和8年度本科(準学士課程)の学習・教育目標と科目の配置

材料・生物系 グリーンマテリアルコース(1年)

本科(準学士課程)							
大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年	
RA 多様な文化 や価値観を 認識できる能力を身に付ける。	1	人間社会の基本的な仕組みを理解し、様々な地域の言語や歴史・伝統などの文化を多面的に認識できる。	歴史Ⅰ 地理	歴史Ⅱ 公共社会Ⅰ	公共社会Ⅱ 公共社会Ⅲ	第2外国語Ⅰ	歴史学特講 哲学 ドイツ語 中国語 言語文化特講 日本文学論
	2	様々な地域における芸術とそれに根ざした価値観を、認識・理解する意識を持てる。	音楽	美術			
RB 数学とその他の自然科学、 情報処理及び専門分野 におけるものづくり、環境 づくりに関する基礎能力を 身に付ける。	1	数学とその他の自然科学に関する基礎知識を理解できる。	基礎解析A 基礎解析B 物理基礎 化学Ⅰ 生物	解析Ⅰ 線形代数 物理 化学Ⅱ	解析Ⅱ 数理統計学 応用物理Ⅰ 基礎数学 基礎物理	解析Ⅲ 応用数学 応用物理Ⅱ	数学特講
	2	専門分野における基礎知識・技術に基づいて情報を処理し、工学的現象を正しく理解できる。	専門基礎Ⅰ 専門基礎Ⅱ 専門基礎Ⅲ	分析化学Ⅰ 無機化学Ⅰ 有機化学Ⅰ 情報化学Ⅰ プログラミング入門	分析化学Ⅱ 無機化学Ⅱ 有機化学Ⅱ 高分子化学 物理化学Ⅰ 化学工学Ⅰ 生化学Ⅰ テクニカルドローイング 電力エネルギー工学 情報・制御基礎 空間情報工学	日本語Ⅱ 基礎工学概論 工業英語 機器分析 基礎材料化学 物理化学Ⅱ 化学工学Ⅱ 生化学Ⅱ 情報化学Ⅱ 微生物学 材料化学 数理・データサイエンス入門	工学倫理 無機化学Ⅲ 有機合成化学 物理化学Ⅲ 化学工学Ⅲ 生命科学 品質管理 食品科学 分子生物学 生理学 栄養化学 材料工学 高分子材料設計 創薬化学 ロボットシステム データエンジニアリング基礎 センサ材料工学 先端分子・材料設計 地盤防災工学

大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年	
RC 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける。	1	英語による基礎的な対話や文章が理解でき、自分の意見を表現できる。	英語 I コミュニケーション	英語 II	英語 III	英語 IV	英語 V 英語特講
	2	日本語の文章や言語作品を的確に理解・鑑賞でき、自分の思いや主張を適切に日本語の談話や文章で表現できる。	国語 I	国語 II	国語 III 日本語 I	国語表現	日本語表現演習 卒業研究
	3	わかりやすい図表等を作成し、それを用いて日本語により効果的な説明ができる。					卒業研究
RD 技術者に必要なデザインマインドを身に付ける。	1	課題に対して自主的に問題を発見し、解決方法を探求して問題解決能力の重要性を認識できる。		グリーンマテリアル実験 I	グリーンマテリアル実験 II	プロジェクト演習	
RE 情報を駆使する実践的能力と論理的思考能力を身に付ける。	1	実験・調査などの経験を通してデータの解析法を学び、理論との比較や考察などができる。				グリーンマテリアル実験 III グリーンマテリアル実験 IV	グリーンマテリアル実験 V
	2	課題の背景を理解し、習得した知識を生かして適切な方法を選んで実験・調査などを遂行し、データを解析・考察することにより、結果を客観的に説明できる。					卒業研究
	3	身体・健康・スポーツに関する知識と実践力を獲得するために各自の能力に応じて目標を設定し、個人あるいはグループで課題を達成できる。	保健体育 I	保健体育 II	保健体育 III	生涯スポーツ実習	

物質系・グリーンマテリアルコース授業科目系統図(1年)



*: 選択科目

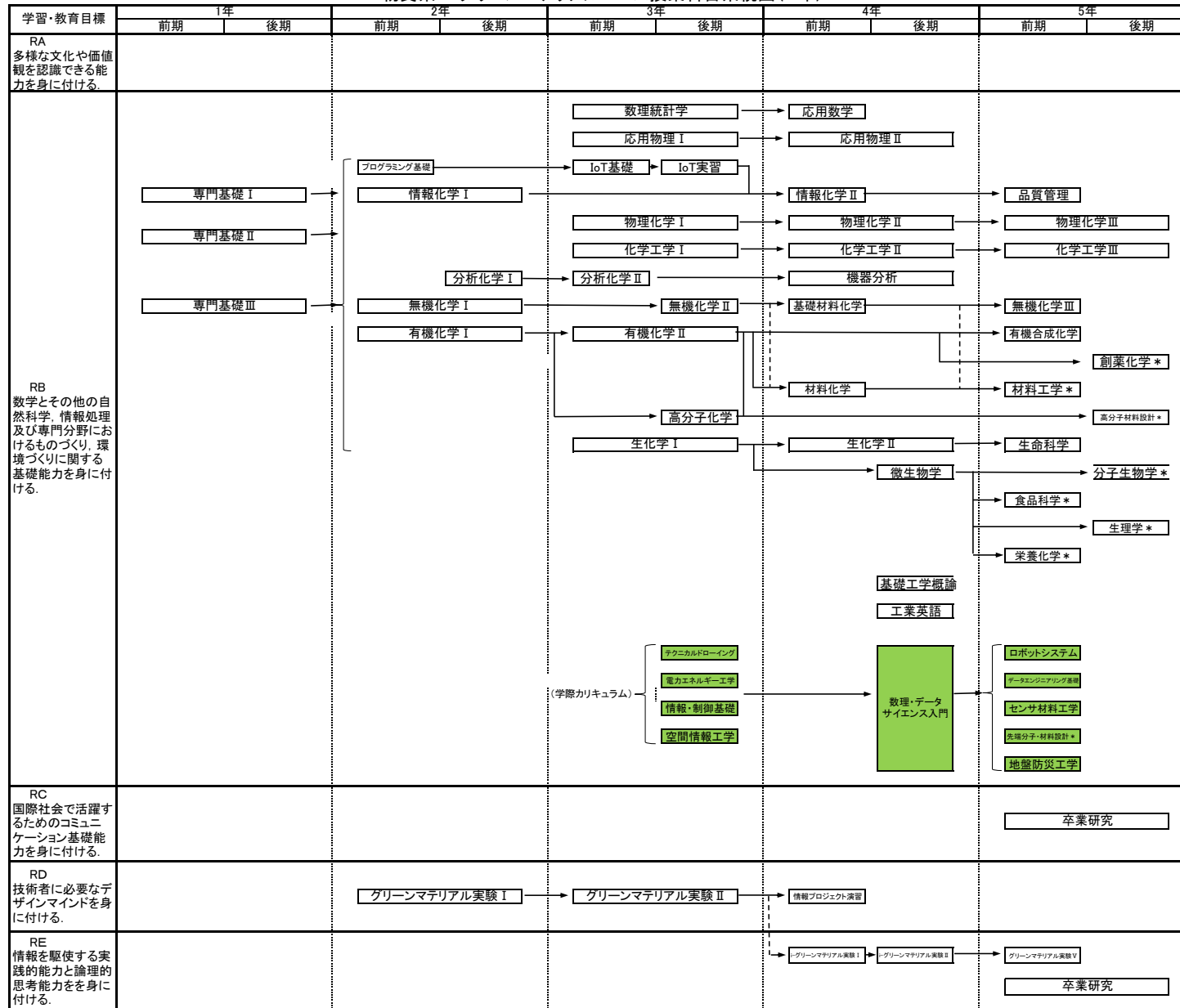
令和8年度本科(準学士課程)の学習・教育目標と科目の配置

材料・生物系 i-グリーンマテリアルコース(1年)

本科(準学士課程)							
大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年	
RA 多様な文化 や価値観を 認識できる能力を身に付ける。	1	人間社会の基本的な仕組みを理解し、様々な地域の言語や歴史・伝統などの文化を多面的に認識できる。	歴史Ⅰ 地理	歴史Ⅱ 公共社会Ⅰ	公共社会Ⅱ 公共社会Ⅲ	第2外国語Ⅰ	歴史学特講 哲学 ドイツ語 中国語 言語文化特講 日本文学論
	2	様々な地域における芸術とそれに根ざした価値観を、認識・理解する意識を持てる。	音楽	美術			
RB 数学とその他の自然科学、 情報処理及び専門分野 におけるものづくり、環境 づくりに関する基礎能力を 身に付ける。	1	数学とその他の自然科学に関する基礎知識を理解できる。	基礎解析A 基礎解析B 物理基礎 化学Ⅰ 生物	解析Ⅰ 線形代数 物理 化学Ⅱ	解析Ⅱ 数理統計学 応用物理Ⅰ 基礎数学 基礎物理	解析Ⅲ 応用数学 応用物理Ⅱ	数学特講
	2	専門分野における基礎知識・技術に基づいて情報を処理し、工学的現象を正しく理解できる。	専門基礎Ⅰ 専門基礎Ⅱ 専門基礎Ⅲ	分析化学Ⅰ 無機化学Ⅰ 有機化学Ⅰ 情報化学Ⅰ プログラミング基礎	分析化学Ⅱ 無機化学Ⅱ 有機化学Ⅱ 高分子化学 物理化学Ⅰ 化学工学Ⅰ 生化学Ⅰ IoT基礎 IoT実習 テクニカルドローイング 電力エネルギー工学 情報・制御基礎 空間情報工学	日本語Ⅱ 基礎工学概論 工業英語 機器分析 基礎材料化学 物理化学Ⅱ 化学工学Ⅱ 生化学Ⅱ 情報化学Ⅱ 微生物学 材料化学 数理・データサイエンス入門	工学倫理 無機化学Ⅲ 有機合成化学 物理化学Ⅲ 化学工学Ⅲ 生命科学 品質管理 食品科学 分子生物学 生理学 栄養化学 材料工学 高分子材料設計 創薬化学 ロボットシステム データエンジニアリング基礎 センサ材料工学 先端分子・材料設計 地盤防災工学

大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年	
RC 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける。	1	英語による基礎的な対話や文章が理解でき、自分の意見を表現できる。	英語 I コミュニケーション	英語 II	英語 III	英語 IV	英語 V 英語特講
	2	日本語の文章や言語作品を的確に理解・鑑賞でき、自分の思いや主張を適切に日本語の談話や文章で表現できる。	国語 I	国語 II	国語 III 日本語 I	国語表現	日本語表現演習 卒業研究
	3	わかりやすい図表等を作成し、それを用いて日本語により効果的な説明ができる。					卒業研究
RD 技術者に必要なデザインマインドを身に付ける。	1	課題に対して自主的に問題を発見し、解決方法を探求して問題解決能力の重要性を認識できる。		グリーンマテリアル実験 I	グリーンマテリアル実験 II	情報プロジェクト演習	
RE 情報を駆使する実践的能力と論理的思考能力を身に付ける。	1	実験・調査などの経験を通してデータの解析法を学び、理論との比較や考察などができる。				i-グリーンマテリアル実験 III i-グリーンマテリアル実験 IV	グリーンマテリアル実験 V
	2	課題の背景を理解し、習得した知識を生かして適切な方法を選んで実験・調査などを遂行し、データを解析・考察することにより、結果を客観的に説明できる。					卒業研究
	3	身体・健康・スポーツに関する知識と実践力を獲得するために各自の能力に応じて目標を設定し、個人あるいはグループで課題を達成できる。	保健体育 I	保健体育 II	保健体育 III	生涯スポーツ実習	

物質系・i-グリーンマテリアルコース授業科目系統図(1年)



*: 選択科目

(2) 専門科目

材料・生物系(グリーンマテリアルコース(専門探究コース) / i-グリーンマテリアルコース(情報融合コース))

授業科目	単位種別	単位数	学年別配当					備考	
			1年	2年	3年	4年	5年		
必修科目	共通	数理統計学	2			2			
		応用数学	1				1		
		応用物理Ⅰ	2			2			
		応用物理Ⅱ	2				2		
		専門基礎Ⅰ	2	2					
		専門基礎Ⅱ	2	2					
		専門基礎Ⅲ	2	2					
		基礎工学概論	1					1	
		工業英語	1					1	
		分析化学Ⅰ	1		1				
		分析化学Ⅱ	1			1			
		機器分析	2					2	
		無機化学Ⅰ	2		2				
		無機化学Ⅱ	1			1			
		無機化学Ⅲ	1					1	
		基礎材料化学	1					1	
		有機化学Ⅰ	2		2				
		有機化学Ⅱ	2			2			
		高分子化学	1			1			
		材料化学	1					1	
		有機合成化学	1					1	
		物理化学Ⅰ	2			2			
		物理化学Ⅱ	2					2	
		物理化学Ⅲ	2					2	
		化学工学Ⅰ	2			2			
		化学工学Ⅱ	2					2	
		化学工学Ⅲ	2					2	
		生化学Ⅰ	2			2			
		生化学Ⅱ	2					2	
		微生物学	1					1	
		生命科学	1					1	
		情報化学Ⅰ	2		2				
		情報化学Ⅱ	1					1	
品質管理	1					1			
グリーンマテリアル実験Ⅰ	5		5						
グリーンマテリアル実験Ⅱ	5			5					
グリーンマテリアル実験Ⅳ	2					2			
卒業研究	9					9			
修得単位計		74	6	12	20	19	17		
探究		グリーンマテリアル実験Ⅲ	2				2	コース別に修得すること	
		グリーンマテリアル実験Ⅴ	2				2		
		修得単位計	4				2		2
融合		★プログラミング基礎(導入科目)	1		1			コース別に修得すること	
		★IoT基礎	1			1			
		★IoT実習	1			1			
融合		i-グリーンマテリアル実験Ⅰ	2				2	コース別に修得すること	
		i-グリーンマテリアル実験Ⅱ	2				2		
		修得単位計	7		1	2	2		2
選択科目	共通	◎プログラミング入門	1		1			8単位中、探究は5単位以上、融合は2単位以上修得すること	
		創薬化学	1				1		
		食品科学	1				1		
		分子生物学	1				1		
		栄養化学	1				1		
		生理学	1				1		
		材料工学	1				1		
高分子材料設計	1				1				
探究		5以上				5以上			
融合		2以上				2以上			
正課外科目	共通	インターシップ	2				2	卒業認定に必要な単位数には含まれないが、単位認定は行う。	
		学内コンテスト					(別に定める)		
		大学等における学修					(別に定める)		
		技能審査における学修					(別に定める)		
グ学・際カリキュラム	必修科目	共通	数理・データサイエンス入門	1			1	コース別に修得すること	
		探究	プロジェクト演習	1			1		
		融合	情報プロジェクト演習	1			1		
融合		修得単位計	2				2		
		共通	テクニカルローイング	A	1			1	10単位中、1単位以上修得すること なお、学年別配当が同じ授業科目は並列開講
			ロボティクス	A	1			1	
電力エネルギー工学	A		1			1			
データエンジニアリング基礎	A		1			1			
情報・制御基礎	A		1			1			
センサ材料工学	A		1			1			
# 先端分子・材料設計	A		1			1			
空間情報工学	A	1			1				
地盤防災工学	A	1			1				
他大学等科目(学際)		1				1			
修得単位計		1以上				1以上			
修得単位計		3以上				3以上			
修得単位合計(卒業認定必要単位数)	探究	学際カリキュラム除く	86以上	6	12	20	21	24以上	
		学際カリキュラム含む					68以上		
		学際カリキュラム除く	86以上	6	13	22	21	21以上	
融合						67以上			

注1:表中において、グリーンマテリアルコースは探究、i-グリーンマテリアルコースは融合と略記する。

注2:学修単位の単位種別は次のとおりとする。

A: 15時間の授業と30時間の授業外学修で1単位とする。

B: 30時間の授業と15時間の授業外学修で1単位とする。

C: 45時間の授業で1単位とする。(実験、実習のみ可)

#: 専門選択科目に組入可能(単位の付与は学際カリキュラム選択科目又は専門選択科目のいずれか一方とする)。

★: 情報融合コース基礎科目。情報融合コースから専門探究コースにコース変更した場合、専門選択科目に組入可能。

◎: 情報融合コースを選択した場合、プログラミング基礎の単位に読み替える

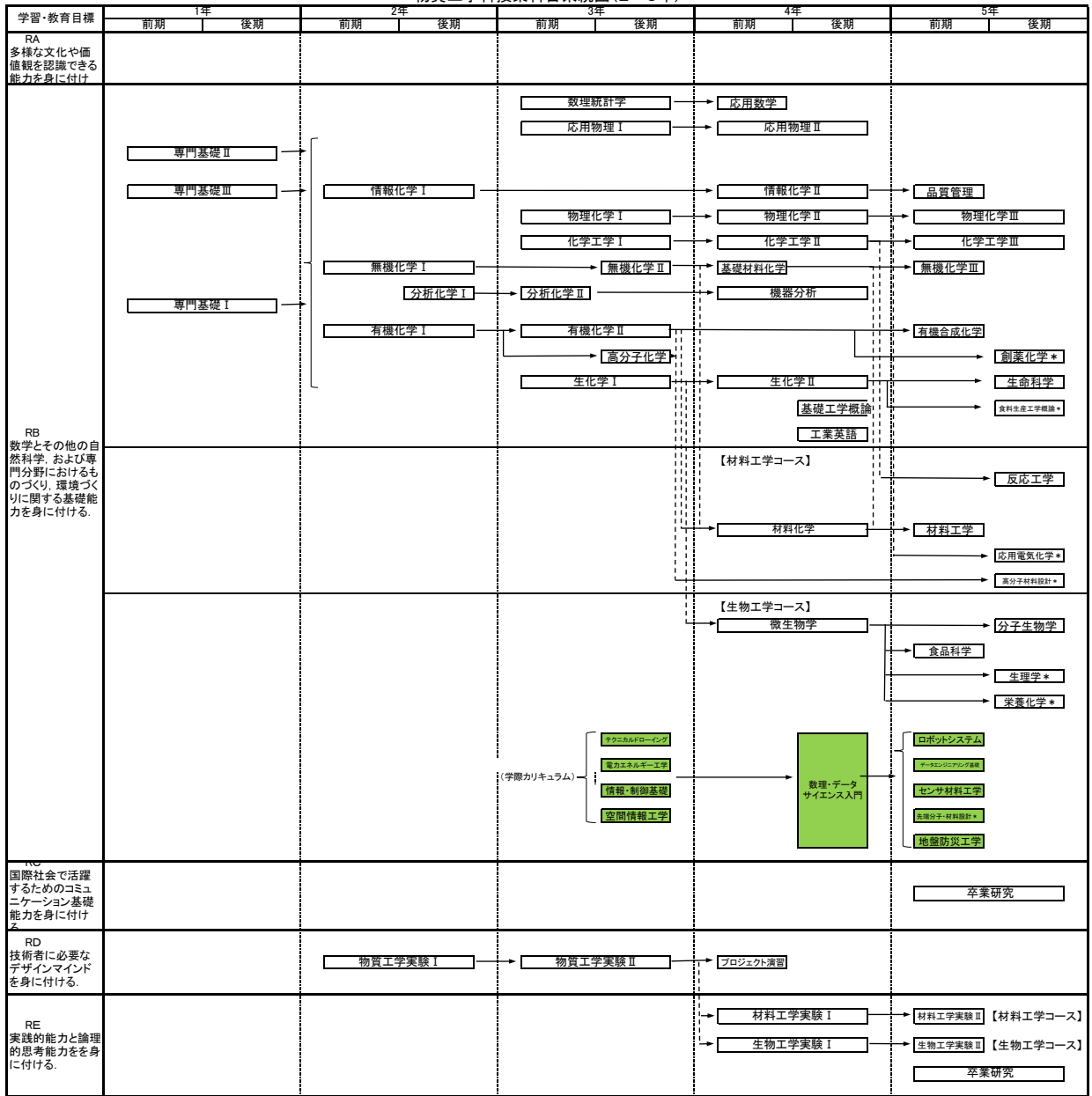
令和8年度本科(準学士課程)の学習・教育目標と科目の配置

物質工学科(2~3年)

本科(準学士課程)							
大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年	
RA 多様な文化 や価値観を 認識できる能力 を身に付ける。	1	人間社会の基本的な仕組みを理解し、様々な地域の言語や歴史・伝統などの文化を多面的に認識できる。	歴史Ⅰ 地理	歴史Ⅱ 公共社会Ⅰ	公共社会Ⅱ 公共社会Ⅲ	第2外国語Ⅰ	歴史学特講 哲学 ドイツ語 中国語 言語文化特講 日本文学論
	2	様々な地域における芸術とそれに根ざした価値観を、認識・理解する意識を持てる。	音楽	美術			
RB 数学とその他の自然科学、 および専門分野におけるものづくり、環境づくりに関する基礎能力を身に付ける。	1	数学とその他の自然科学に関する基礎知識を理解できる。	基礎解析A 基礎解析B 物理基礎 化学Ⅰ 生物	解析Ⅰ 線形代数 物理 化学Ⅱ	解析Ⅱ 数理統計学 応用物理Ⅰ 基礎数学 基礎物理	解析Ⅲ 応用数学 応用物理Ⅱ	数学特講
	2	専門分野における基礎知識・技術に基づいて情報を処理し、工学的現象を正しく理解できる。	専門基礎Ⅰ 専門基礎Ⅱ 専門基礎Ⅲ	分析化学Ⅰ 無機化学Ⅰ 有機化学Ⅰ 情報化学Ⅰ	分析化学Ⅱ 無機化学Ⅱ 有機化学Ⅱ 高分子化学 物理化学Ⅰ 化学工学Ⅰ 生化学Ⅰ テクニカルドローイング 電力エネルギー工学 情報・制御基礎 空間情報工学	日本語Ⅱ 基礎工学概論 工業英語 機器分析 基礎材料化学 物理化学Ⅱ 化学工学Ⅱ 生化学Ⅱ 情報化学Ⅱ [材料化学] (生物工学コース) [材料工学コース] 数理・データサイエンス入門	工学倫理 無機化学Ⅲ 有機合成化学 物理化学Ⅲ 化学工学Ⅲ 生命科学 品質管理 (食品科学) (分子生物学) (生理学) (栄養化学) [材料工学] [反応工学] [応用電気化学] [高分子材料設計] 創薬化学 食料生産工学概論 (生物工学コース) [材料工学コース] [材料工学コース] ロボットシステム データエンジニアリング基礎 センサ材料工学 先端分子・材料設計 地盤防災工学

大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年	
RC 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける。	1	英語による基礎的な対話や文章が理解でき、自分の意見を表現できる。	英語 I コミュニケーション	英語 II	英語 III	英語 IV	英語 V 英語特講
	2	日本語の文章や言語作品を的確に理解・鑑賞でき、自分の思いや主張を適切に日本語の談話や文章で表現できる。	国語 I	国語 II	国語 III 日本語 I	国語表現	日本語表現演習 卒業研究
	3	わかりやすい図表等を作成し、それを用いて日本語により効果的な説明ができる。					卒業研究
RD 技術者に必要なデザインマインドを身に付ける。	1	課題に対して自主的に問題を発見し、解決方法を探求して問題解決能力の重要性を認識できる。		物質工学実験 I	物質工学実験 II	プロジェクト演習	
RE 実践的能力と論理的思考能力を身に付ける。	1	実験・調査などの経験を通してデータの解析法を学び、理論との比較や考察などができる。				(生物工学実験 I) [材料工学実験 I] (生物工学コース) [材料工学コース]	(生物工学実験 II) [材料工学実験 II] (生物工学コース) [材料工学コース]
	2	課題の背景を理解し、習得した知識を生かして適切な方法を選んで実験・調査などを遂行し、データを解析・考察することにより、結果を客観的に説明できる。					卒業研究
	3	身体・健康・スポーツに関する知識と実践力を獲得するために各自の能力に応じて目標を設定し、個人あるいはグループで課題を達成できる。	保健体育 I	保健体育 II	保健体育 III	生涯スポーツ実習	

物質工学科授業科目系統図(2~3年)



*: 選択科目

(2) 専門科目
物質工学科

授業科目		単位種別	単位数	学年別配当					備考	
				1年	2年	3年	4年	5年		
必修科目	共通	数理統計学		2			2			
		応用数学		1				1		
		応用物理Ⅰ		2			2			
		応用物理Ⅱ	B	2				2		
		専門基礎Ⅰ		2	2					
		専門基礎Ⅱ		2	2					
		専門基礎Ⅲ		2	2					
		基礎工学概論	B	1					1	
		工業英語	B	1					1	
		分析化学Ⅰ		1		1				
		分析化学Ⅱ		1			1			
		機器分析		2					2	
		無機化学Ⅰ		2		2				
		無機化学Ⅱ		1			1			
		無機化学Ⅲ		1						1
		基礎材料化学		1					1	
		有機化学Ⅰ		2		2				
		有機化学Ⅱ		2			2			
		高分子化学		1			1			
		有機合成化学		1						1
		物理化学Ⅰ		2			2			
		物理化学Ⅱ	B	2					2	
		物理化学Ⅲ	B	2						2
		化学工学Ⅰ		2			2			
		化学工学Ⅱ	B	2					2	
		化学工学Ⅲ	B	2						2
	生化学Ⅰ		2			2				
	生化学Ⅱ		2					2		
	生命科学		1						1	
	情報化学Ⅰ		2		2					
	情報化学Ⅱ		2					2		
	品質管理		1						1	
	物質工学実験Ⅰ		5		5					
物質工学実験Ⅱ	C	4			4					
卒業研究		8						8		
コース	生物工学	微生物学	A	2				2		
		食品科学	A	2					2	
		分子生物学	A	2					2	
		生物工学実験Ⅰ	C	4				4		
		生物工学実験Ⅱ	C	2					2	
	材料工学	材料化学	A	2				2		
		材料工学	A	2					2	
コース	反応工学	A	2					2		
	材料工学実験Ⅰ	C	4				4			
	材料工学実験Ⅱ	C	2					2		
修得単位数計			81	6	12	19	22	22		
選択科目	共通	創薬化学		1				1	コース別に、4単位(共通及びコース別開設単位数の合計)中2単位以上修得すること。	
		食料生産工学概論		1				1		
	ス学生コ物工	生理学		1				1		
	ス学生コ物工	栄養化学		1				1		
	ス学生コ物工	応用電気化学		1				1		
ス学生コ物工	高分子材料設計		1				1			
修得単位数計			2以上				2以上			
正課外科目	共通	インターンシップ		2				2	卒業認定に必要な単位数には含まれないが、単位認定は行う。	
		学内コンテスト						(別に定める)		
		大学等における学修						(別に定める)		
		技能審査における学修						(別に定める)		
学際カリキュラム	必修科目	プロジェクト演習		1				1	10単位中1単位以上修得	
		数理・データサイエンス入門		1				1		
		修得単位数計		2				2		
		テクニカルドローイング	A	1			1			
		ロボットシステム		1				1		
		電力エネルギー工学	A	1			1			
		データエンジニアリング基礎		1				1		
		情報・制御基礎	A	1			1			
		センサ材料工学		1				1		
		#先端分子・材料設計		1				1		
		空間情報工学	A	1			1			
		地盤防災工学		1				1		
		他大学等科目(学際)		1				1		
修得単位数計			1以上				1以上			
修得単位数計			3以上				3以上			
学際カリキュラム除く			86以上	6	12	20以上	24以上	21以上		
学際カリキュラム含む			86以上	6	12	20以上	24以上	21以上		
修得単位数合計(卒業認定必要単位数)			86以上	6	12	20以上	24以上	21以上		
学際カリキュラム含む			86以上	6	12	20以上	24以上	21以上		

#: 専門選択科目(共通コース)に単位振替可能(単位の付与は学際カリキュラム科目又は専門選択科目のいずれか一方とする)

(注) 学修単位の単位種別は次のとおりとする。
 A: 15時間の授業と30時間の授業外学修で1単位とする。
 B: 30時間の授業と15時間の授業外学修で1単位とする。
 C: 45時間の授業で1単位とする。(実験、実習のみ可)

令和8年度本科(準学士課程)の学習・教育目標と科目の配置

物質工学科(4~5年)

本科(準学士課程)							
大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年	
RA 多様な文化 や価値観を 認識できる能力 を身に付ける。	1	人間社会の基本的な仕組みを理解し、様々な地域の言語や歴史・伝統などの文化を多面的に認識できる。	歴史Ⅰ 地理Ⅰ 地理Ⅱ	歴史Ⅱ 公共社会Ⅰ	公共社会Ⅱ 公共社会Ⅲ	第2外国語Ⅰ	歴史学特講 哲学 ドイツ語 中国語 言語文化特講 日本文学論
	2	様々な地域における芸術とそれに根ざした価値観を、認識・理解する意識を持てる。	音楽	美術			
RB 数学とその他の自然科学、 および専門分野におけるもの づくり、環境づくりに関する 基礎能力を身に付ける。	1	数学とその他の自然科学に関する基礎知識を理解できる。	基礎解析A 基礎解析B 物理基礎 化学Ⅰ 生物	解析Ⅰ 線形代数 物理 化学Ⅱ	解析Ⅱ 数理統計学 応用物理Ⅰ 基礎数学 基礎物理	解析Ⅲ 応用数学 応用物理Ⅱ	数学特講
	2	専門分野における基礎知識・技術に基づいて情報を処理し、工学的現象を正しく理解できる。	専門基礎Ⅰ 専門基礎Ⅱ 専門基礎Ⅲ	分析化学Ⅰ 無機化学Ⅰ 有機化学Ⅰ 情報化学Ⅰ	分析化学Ⅱ 無機化学Ⅱ 有機化学Ⅱ 高分子化学 物理化学Ⅰ 化学工学Ⅰ 生化学Ⅰ 熱流体エネルギー概論 電力エネルギー工学 情報・制御基礎 空間情報工学 電気電子材料 有機・高分子材料	日本語Ⅱ 基礎工学概論 工業英語 機器分析 基礎材料化学 物理化学Ⅱ 化学工学Ⅱ 生化学Ⅱ 情報化学Ⅱ(微生物学) [材料化学] (生物工学コース) [材料工学コース] 環境保全工学 コンピュータ化学 機械材料	工学倫理 無機化学Ⅲ 有機合成化学 物理化学Ⅲ 化学工学Ⅲ 生命科学 品質管理(食品科学) (分子生物学) (生理学) (栄養化学) [材料工学] [反応工学] [応用電気化学] [高分子材料設計] 創薬化学 食料生産工学概論 (生物工学コース) [材料工学コース] 電磁場エネルギー基礎 環境科学 ロボットシステム 電子計測制御 建設材料 センサ材料工学

大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年	
RC 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける。	1	英語による基礎的な対話や文章が理解でき、自分の意見を表現できる。	英語 I コミュニケーション	英語 II	英語 III	英語 IV	英語 V 英語特講
	2	日本語の文章や言語作品を的確に理解・鑑賞でき、自分の思いや主張を適切に日本語の談話や文章で表現できる。	国語 I	国語 II	国語 III 日本語 I	国語表現	日本語表現演習 卒業研究
	3	わかりやすい図表等を作成し、それを用いて日本語により効果的な説明ができる。					卒業研究
RD 技術者に必要なデザインマインドを身に付ける。	1	課題に対して自主的に問題を発見し、解決方法を探求して問題解決能力の重要性を認識できる。		物質工学実験 I	物質工学実験 II	プロジェクト演習	
RE 実践的能力と論理的思考能力を身に付ける。	1	実験・調査などの経験を通してデータの解析法を学び、理論との比較や考察などができる。				(生物工学実験 I) [材料工学実験 I] (生物工学コース) [材料工学コース]	(生物工学実験 II) [材料工学実験 II] (生物工学コース) [材料工学コース]
	2	課題の背景を理解し、習得した知識を生かして適切な方法を選んで実験・調査などを遂行し、データを解析・考察することにより、結果を客観的に説明できる。					卒業研究
	3	身体・健康・スポーツに関する知識と実践力を獲得するために各自の能力に応じて目標を設定し、個人あるいはグループで課題を達成できる。	保健体育 I	保健体育 II	保健体育 III	生涯スポーツ実習	

(2) 専門科目
物質工学科

授業科目	単位種別	単位数	学年別配当					備考	
			1年	2年	3年	4年	5年		
必修科目	共通	数理統計学	2			2			
		応用数学	1				1		
		応用物理Ⅰ	2			2			
		応用物理Ⅱ	B 2				2		
		専門基礎Ⅰ	2	2					
		専門基礎Ⅱ	2	2					
		専門基礎Ⅲ	2	2					
		基礎工学概論	B 1					1	
		工業英語	B 1					1	
		分析化学Ⅰ	1		1				
		分析化学Ⅱ	1			1			
		機器分析	2					2	
		無機化学Ⅰ	2		2				
		無機化学Ⅱ	1			1			
		無機化学Ⅲ	1					1	
		基礎材料化学	1					1	
		有機化学Ⅰ	2		2				
		有機化学Ⅱ	2			2			
		高分子化学	1			1			
		有機合成化学	1					1	
		物理化学Ⅰ	2			2			
		物理化学Ⅱ	B 2					2	
		*物理化学Ⅲ	B 2					2	
		化学工学Ⅰ	2			2			
		化学工学Ⅱ	B 2					2	
		*化学工学Ⅲ	B 2					2	
		生化学Ⅰ	2			2			
		生化学Ⅱ	2					2	
		生命科学	1					1	
		情報化学Ⅰ	2		2				
		*情報化学Ⅱ	2					2	
		品質管理	1					1	
物質工学実験Ⅰ	5		5						
物質工学実験Ⅱ	C 4			4					
卒業研究	8					8			
コース工学	微生物学	A 2				2	コース別に修得すること		
	食品科学	A 2				2			
	分子生物学	A 2				2			
	生物学実験Ⅰ	C 4				4			
	生物学実験Ⅱ	C 2				2			
コース工学	材料化学	A 2				2			
	材料工学	A 2				2			
	反応工学	A 2				2			
	材料工学実験Ⅰ	C 4				4			
	材料工学実験Ⅱ	C 2				2			
修得単位計		81	6	12	19	22	22		
選択科目	共通	*創薬化学	1				1	コース別に、4単位(共通及びコース別開設単位数の合計)中2単位以上修得すること。	
	共通	*食料生産工学概論	1				1		
	工学系	生理学	1				1		
	工学系	栄養化学	1				1		
	工学系	応用電気化学	1				1		
修得単位計		2以上					2以上		
正課外科目	共通	インターンシップ	2				2	卒業認定に必要な単位数には含まれないが、単位認定は行う。	
	共通	学内コンテスト					(別に定める)		
	共通	大学等における学修					(別に定める)		
	共通	技能審査における学修					(別に定める)		
学際カリキュラム	選択科目	プロジェクト演習	1				1	群別に修得すること	
		環境・エネルギー群	熱流体エネルギー概論	A 1			1		2単位以上修得すること
		環境・エネルギー群	電力エネルギー工学	A 1			1		
		環境・エネルギー群	電磁場エネルギー基礎	A 1			1		
		環境・エネルギー群	環境科学	A 1			1		
		環境・エネルギー群	環境保全工学	A 1			1		
		環境・エネルギー群	他大学等科目(学際)	2以内			2以内		
		情報・制御群	ロボットシステム	A 1			1		2単位以上修得すること
		情報・制御群	電子計測制御	A 1			1		
		情報・制御群	情報・制御基礎	A 1		1	1		
		情報・制御群	コンピュータ化学	A 1			1		
		情報・制御群	空間情報工学	A 1		1	1		
		情報・制御群	他大学等科目(学際)	2以内			2以内		
		材料科学群	機械材料	A 1			1		2単位以上修得すること
		材料科学群	電気電子材料	A 1		1	1		
		材料科学群	センサ材料工学	A 1			1		
		材料科学群	有機・高分子材料	A 1		1	1		
		材料科学群	建設材料	A 1			1		
		材料科学群	他大学等科目(学際)	2以内			2以内		
		修得単位計		2以上					2以上
修得単位計		3以上				3以上			
修得単位合計(卒業認定必要単位数)		86以上	6	12	19以上	22以上	24以上		
学際カリキュラム除く									
学際カリキュラム含む							68以上		

*:学際連携科目 #:専門選択科目に単位振替可能(単位の付与は学際カリキュラム科目又は専門選択科目のいずれか一方とする)

物質工学科の全課程の修了の認定に必要な単位数は、平成30年度以降の入学者については167単位以上(そのうち、一般科目については81単位以上、専門科目については86単位以上)、平成29年度以前の入学者については169単位以上(そのうち、一般科目については83単位以上、専門科目については86単位以上)とする。

(注)学修単位の単位種別は次のとおりとする。
A:15時間の授業と30時間の授業外学修で1単位とする。
B:30時間の授業と15時間の授業外学修で1単位とする。
C:45時間の授業で1単位とする。(実験、実習のみ可)

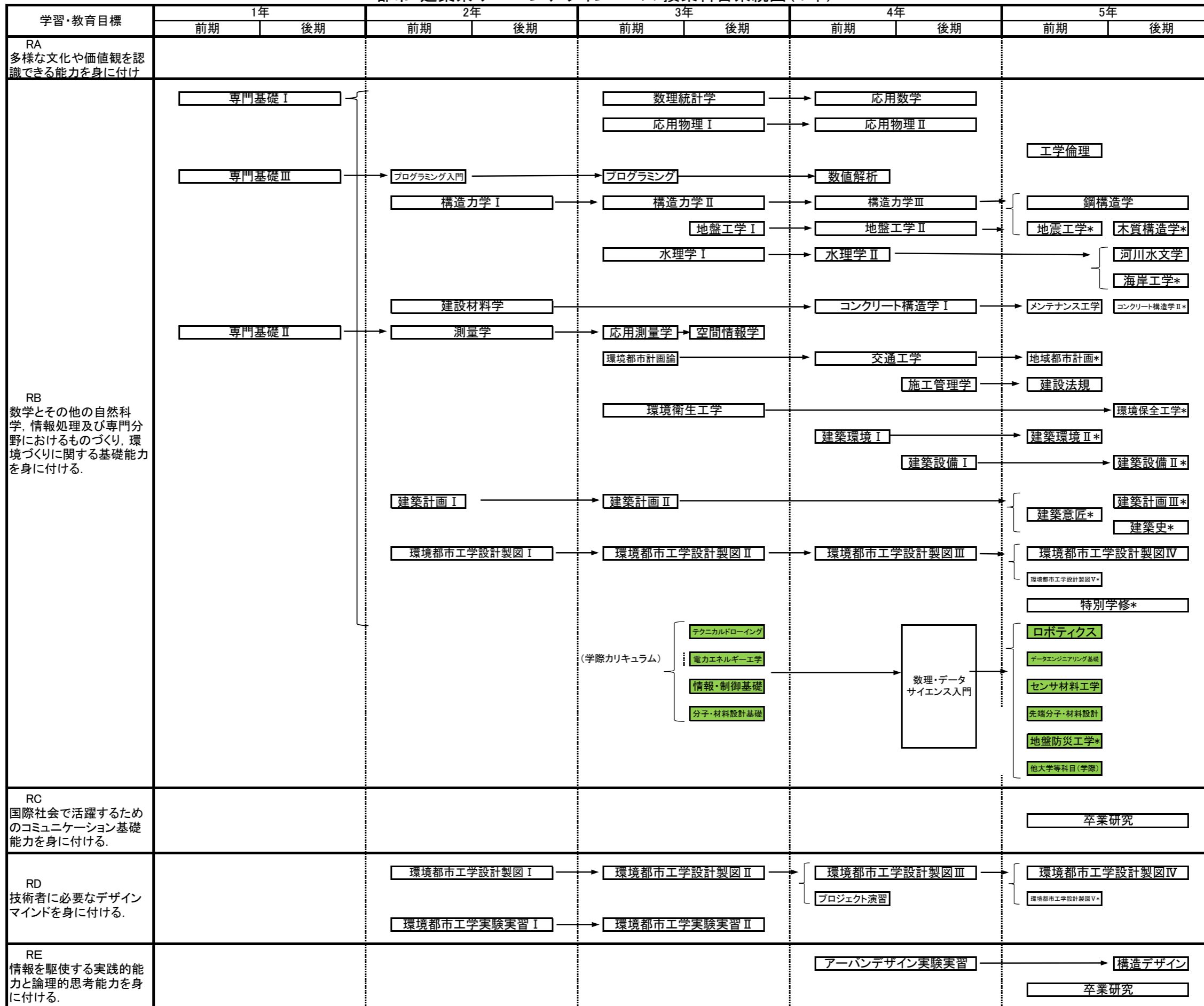
令和7年度本科(準学士課程)の学習・教育目標と科目の配置

都市・建築系・アーバンデザインコース(1年)

本科(準学士課程)						
大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年
RA 多様な文化や価値観を認識できる能力を身に付ける。	1 人間社会の基本的な仕組みを理解し、様々な地域の言語や歴史・伝統などの文化を多面的に認識できる。	歴史Ⅰ 地理	歴史Ⅱ 公共社会Ⅰ	公共社会Ⅱ 公共社会Ⅲ	第2外国語Ⅰ	歴史学特講 哲学 第2外国語Ⅱ 第2外国語Ⅲ 言語文化特講 日本文学論
	2 様々な地域における芸術とそれに根ざした価値観を、認識・理解する意識を持てる。	音楽	美術			
RB 数学とその他の自然科学、情報処理及び専門分野におけるものづくり、環境づくりに関する基礎能力を身に付ける。	1 数学とその他の自然科学に関する基礎知識を理解できる。	基礎解析A 基礎解析B 物理基礎 化学Ⅰ 生物	解析Ⅰ 線形代数 物理 化学Ⅱ	解析Ⅱ 数理統計学 応用物理Ⅰ 基礎数学 基礎物理	解析Ⅲ 応用数学 応用物理Ⅱ	数学特講
	2 専門分野における基礎知識・技術に基づいて情報を処理し、工学的現象を正しく理解できる。	専門基礎Ⅰ 専門基礎Ⅱ 専門基礎Ⅲ	構造力学Ⅰ 測量学 建築計画Ⅰ 建設材料学 プログラミング入門	プログラミング 構造力学Ⅱ 水理学Ⅰ 地盤工学Ⅰ 環境衛生工学 応用測量学 空間情報学 環境都市計画論 建築計画Ⅱ テクニカルドローイング 電力エネルギー工学 情報・制御基礎 分子・材料設計基礎	構造力学Ⅲ コンクリート構造学Ⅰ 水理学Ⅱ 建築環境Ⅰ 建築設備Ⅰ 地盤工学Ⅱ 交通工学 施工管理学 数理・データサイエンス入門	工学倫理 鋼構造学 コンクリート構造学Ⅱ 建設複合材料 河川水文学 海岸工学 建築環境Ⅱ 建築設備Ⅱ 地震工学 木質構造学 環境保全工学 地域都市計画 建設法規 建築意匠 建築史 数値解析 メンテナンス工学 建築計画Ⅲ 特別学修 ロボットシステム データエンジニアリング基礎 センサ材料工学 先端分子・材料設計 地盤防災工学

RC 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける。	1	英語による基礎的な対話や文章が理解でき、自分の意見を表現できる。	英語 I コミュニケーション	英語 II	英語 III	英語 IV	英語 V 英語特講
	2	日本語の文章や言語作品を的確に理解・鑑賞でき、自分の思いや主張を適切に日本語の談話や文章で表現できる。	国語 I	国語 II	国語 III 日本語 I	国語表現	日本語表現演習 卒業研究
	3	わかりやすい図表等を作成し、それを用いて日本語により効果的な説明ができる。					卒業研究
RD 技術者に必要なデザインマインドを身に付ける。	1	課題に対して自主的に問題を発見し、解決方法を探索して問題解決能力の重要性を認識できる。		環境都市工学設計製図 I 環境都市工学実験実習 I	環境都市工学設計製図 II 環境都市工学実験実習 II	環境都市工学設計製図 III プロジェクト演習	環境都市工学設計製図 IV 環境都市工学設計製図 V
RE 情報を駆使する実践的能力と論理的思考能力を身に付ける。	1	実験・調査などの経験を通してデータの解析法を学び、理論との比較や考察などができる。				アーバンデザイン実験実習	構造デザイン
	2	課題の背景を理解し、習得した知識を生かして適切な方法を選んで実験・調査などを遂行し、データを解析・考察することにより、結果を客観的に説明できる。					卒業研究
	3	身体・健康・スポーツに関する知識と実践力を獲得するために各自の能力に応じて目標を設定し、個人あるいはグループで課題を達成できる。	保健体育 I	保健体育 II	保健体育 III	生涯スポーツ実習	

都市・建築系 アーバンデザインコース 授業科目系統図(1年)



*: 選択科目

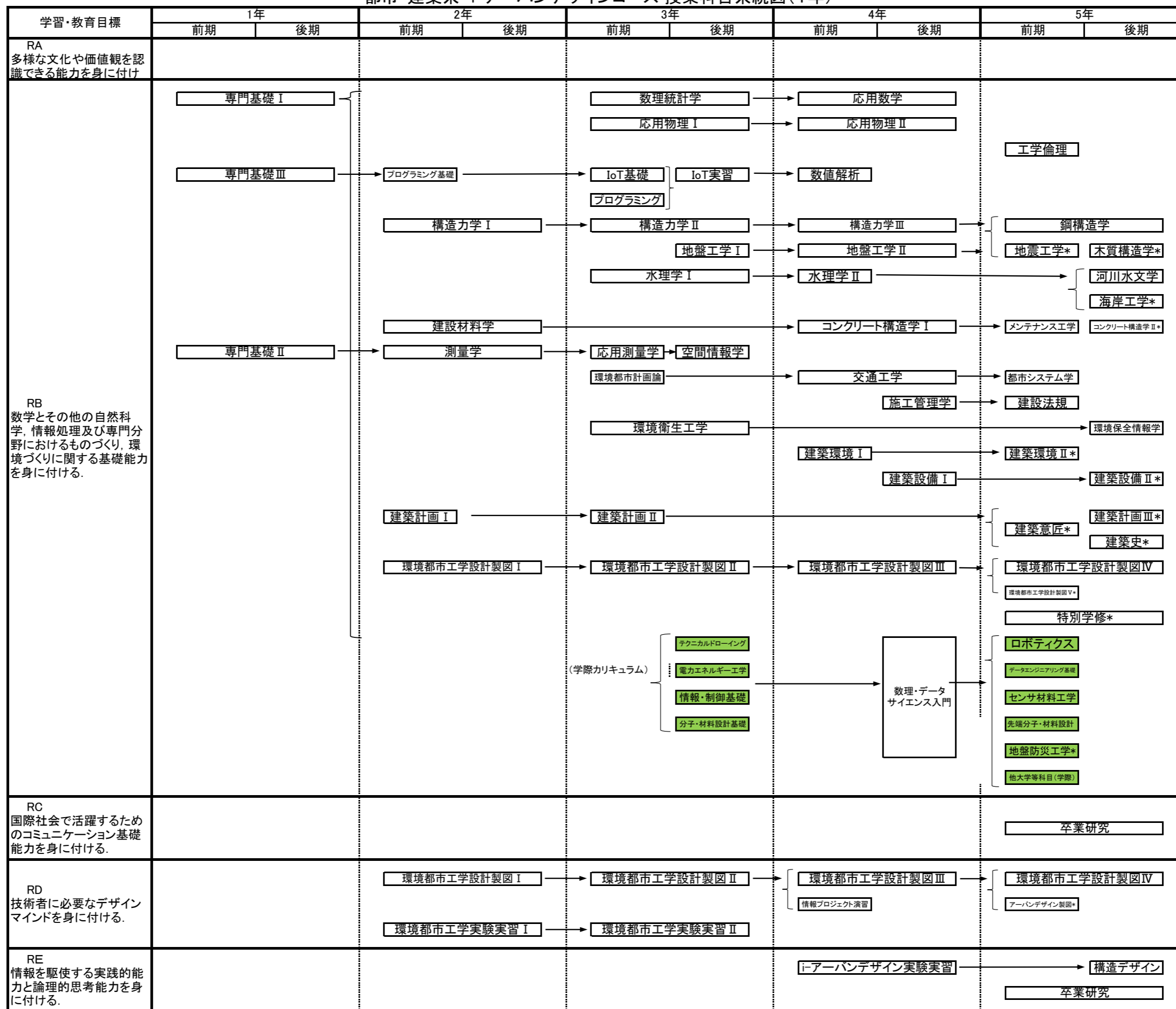
令和8年度本科(準学士課程)の学習・教育目標と科目の配置

都市・建築系・i-アーバンデザインコース(1年)

本科(準学士課程)						
大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年
RA 多様な文化 や価値観を 認識できる能 力を身に付け る。	1 人間社会の基 本的な仕組み を理解し、様々 な地域の言語 や歴史・伝統な どの文化を多 面的に認識で きる。	歴史Ⅰ 地理	歴史Ⅱ 公共社会Ⅰ	公共社会Ⅱ 公共社会Ⅲ	第2外国語Ⅰ	歴史学特講 哲学 第2外国語Ⅱ 第2外国語Ⅲ 言語文化特講 日本文学論
	2 様々な地域に おける芸術とそ れに根ざした 価値観を、認 識・理解する意 識を持てる。	音楽	美術			
RB 数学とその他 の自然科学、 情報処理及 び専門分野 におけるもの づくり、環境 づくりに関す る基礎能力を 身に付ける。	1 数学とその他 の自然科学に 関する基礎知 識を理解でき る。	基礎解析A 基礎解析B 物理基礎 化学Ⅰ 生物	解析Ⅰ 線形代数 物理 化学Ⅱ	解析Ⅱ 数理統計学 応用物理Ⅰ 基礎数学 基礎物理	解析Ⅲ 応用数学 応用物理Ⅱ	数学特講
	2 専門分野にお ける基礎知識・ 技術に基づい て情報を処理 し、工学的現象 を正しく理解 できる。	専門基礎Ⅰ 専門基礎Ⅱ 専門基礎Ⅲ	構造力学Ⅰ 測量学 建築計画Ⅰ 建設材料学 プログラミング基 礎	プログラミング 構造力学Ⅱ 水理学Ⅰ 地盤工学Ⅰ 環境衛生工学 応用測量学 空間情報学 環境都市計画論 建築計画Ⅱ IoT基礎 IoT実習 テクニカルドロー イング 電力エネルギー 工学 情報・制御基礎 分子・材料設計 基礎	構造力学Ⅲ コンクリート構造 学Ⅰ 水理学Ⅱ 建築環境Ⅰ 建築設備Ⅰ 地盤工学Ⅱ 交通工学 施工管理学 数理・データサイ エンス入門	工学倫理 鋼構造学 コンクリート構造 学Ⅱ 建設複合材料 河川水文学 海岸工学 建築環境Ⅱ 建築設備Ⅱ 地震工学 木質構造学 環境保全情報学 都市システム学 建設法規 建築意匠 建築史 数値解析 メンテナンス工 学 建築計画Ⅲ 特別学修 ロボットシステム データエンジニ アリング基礎 センサ材料工学 先端分子・材料 設計 地盤防災工学

RC 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける。	1	英語による基礎的な対話や文章が理解でき、自分の意見を表現できる。	英語 I コミュニケーション	英語 II	英語 III	英語 IV	英語 V 英語特講
	2	日本語の文章や言語作品を的確に理解・鑑賞でき、自分の思いや主張を適切に日本語の談話や文章で表現できる。	国語 I	国語 II	国語 III 日本語 I	国語表現	日本語表現演習 卒業研究
	3	わかりやすい図表等を作成し、それを用いて日本語により効果的な説明ができる。					卒業研究
RD 技術者に必要なデザインマインドを身に付ける。	1	課題に対して自主的に問題を発見し、解決方法を探索して問題解決能力の重要性を認識できる。		環境都市工学設計製図 I 環境都市工学実験実習 I	環境都市工学設計製図 II 環境都市工学実験実習 II	環境都市工学設計製図 III 情報プロジェクト演習	環境都市工学設計製図 IV アーバンデザイン製図
RE 情報を駆使する実践的能力と論理的思考能力を身に付ける。	1	実験・調査などの経験を通してデータの解析法を学び、理論との比較や考察などができる。				i-アーバンデザイン実験実習	構造デザイン
	2	課題の背景を理解し、習得した知識を生かして適切な方法を選んで実験・調査などを遂行し、データを解析・考察することにより、結果を客観的に説明できる。					卒業研究
	3	身体・健康・スポーツに関する知識と実践力を獲得するために各自の能力に応じて目標を設定し、個人あるいはグループで課題を達成できる。	保健体育 I	保健体育 II	保健体育 III	生涯スポーツ実習	

都市・建築系 i-アーバンデザインコース 授業科目系統図(1年)



*: 選択科目

(2) 専門科目

都市・建築系(アーバンデザインコース(専門探究コース) / i-アーバンデザインコース(情報融合コース))

授 業 科 目	単 位 種 別	単 位 数	学 年 別 配 当					備 考
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必修科目	数学統計学	2			2			
	応用数学	2				2		
	応用物理Ⅰ	2			2			
	応用物理Ⅱ	2				2		
	専門基礎Ⅰ	2	2					
	専門基礎Ⅱ	2	2					
	専門基礎Ⅲ	2	2					
	プログラミング	1			1			
	数値解析	1				1		
	構造力学Ⅰ	2		2				
	構造力学Ⅱ	2			2			
	構造力学Ⅲ	2				2		
	鋼構造学	2					2	
	コンクリート構造学Ⅰ	2				2		
	建設材料学	2		2				
	水理学Ⅰ	2			2			
	水理学Ⅱ	1				1		
	河川水文学	1					1	
	地盤工学Ⅰ	1			1			
	地盤工学Ⅱ	2				2		
	環境衛生工学	2			2			
	建築環境Ⅰ	1				1		
	建築設備Ⅰ	1				1		
	測量学	2		2				
	応用測量学	1			1			
	空間情報学	1			1			
	環境都市計画論	1			1			
	交通工学	2				2		
	施工管理学	A	2			2		
	建設法規	1					1	
	構造デザイン	1					1	
	メンテナンス工学	1					1	
	建築計画Ⅰ	1		1				
	建築計画Ⅱ	A	2		2			
	環境都市工学設計製図Ⅰ	2		2				
	環境都市工学設計製図Ⅱ	2			2			
	環境都市工学設計製図Ⅲ	2				2		
	環境都市工学設計製図Ⅳ	2					2	
	環境都市工学設計実験実習Ⅰ	2		2				
	環境都市工学設計実験実習Ⅱ	C	2		2			
卒業研究	9						9	
修得単位計		75	6	11	21	20	17	
探究	アーバンデザイン実験実習	C	2			2		
	修得単位計	2				2		
融合	★プログラミング基礎	1		1				
	★IoT基礎	1			1			
	★IoT実習	1			1			
	i-アーバンデザイン実験実習	C	2			2		
	都市システム学	1					1	
	環境保全情報学	1					1	
	修得単位計	7		1	2	2	2	
選択科目	◎プログラミング入門	1		1				
	地震工学	1					1	
	コンクリート構造学Ⅱ	1					1	
	海岸工学	1					1	
	建築史	1					1	
	建築意匠	1					1	
	建築環境Ⅱ	1					1	
	建築設備Ⅱ	1					1	
	建築計画Ⅲ	A	2				2	
	アーバンデザイン製図	1					1	
	木質構造学	1					1	
	特別学修	1					1	
	地域都市計画	1					1	
	環境保全工学	1					1	
	修得単位計	6以上					6以上	
融合	修得単位計	1以上				1以上		
正課外科目	共通	インターンシップ	2			2		
		学内コンテスト					(別に定める)	
		大学等における学修					(別に定める)	
		技能審査における学修					(別に定める)	
必修科目	共通	数理・データサイエンス入門	1			1		
	探究	プロジェクト演習	1			1		
	融合	情報プロジェクト演習	1			1		
		修得単位計	2			2		
選択科目	共通	テクニカルドローイング	A	1		1		
		ロボティクス	1				1	
		電力エネルギー工学	A	1		1		
		データエンジニアリング基礎	1				1	
		情報・制御基礎	A	1		1		
		センサ材料工学	1				1	
		分子・材料設計基礎	A	1		1		
		先端分子・材料設計	1				1	
		地盤防災工学	1				1	
		他大学等科目(学際)	1				1	
	修得単位計	1以上				1以上		
	修得単位計	3以上				3以上		
修得単位合計(卒業認定必要単位数)	探究	学際カリキュラム除く	86以上	6	11	21	22	23以上
		学際カリキュラム含む					69以上	
融合	学際カリキュラム除く	86以上	6	12	23	22	20以上	
	学際カリキュラム含む						68以上	

注1:表中において、アーバンデザインコースは探究、i-アーバンデザインコースは融合と略記する。

注2:学修単位の単位種別は次のとおりとする。

A:15時間の授業と30時間の授業外学修で1単位とする。

B:30時間の授業と15時間の授業外学修で1単位とする。

C:45時間の授業で1単位とする。(実験、実習のみ可)

※:専門選択科目に単位組入可能(単位の付与は学際カリキュラム選択科目又は専門選択科目のいずれか一方とする)。

★:情報融合コース基礎科目。情報融合コースから専門探究コースにコース変更した場合、専門選択科目に単位組入可能。

◎:情報融合コースを選択した場合、プログラミング基礎の単位に読み替える

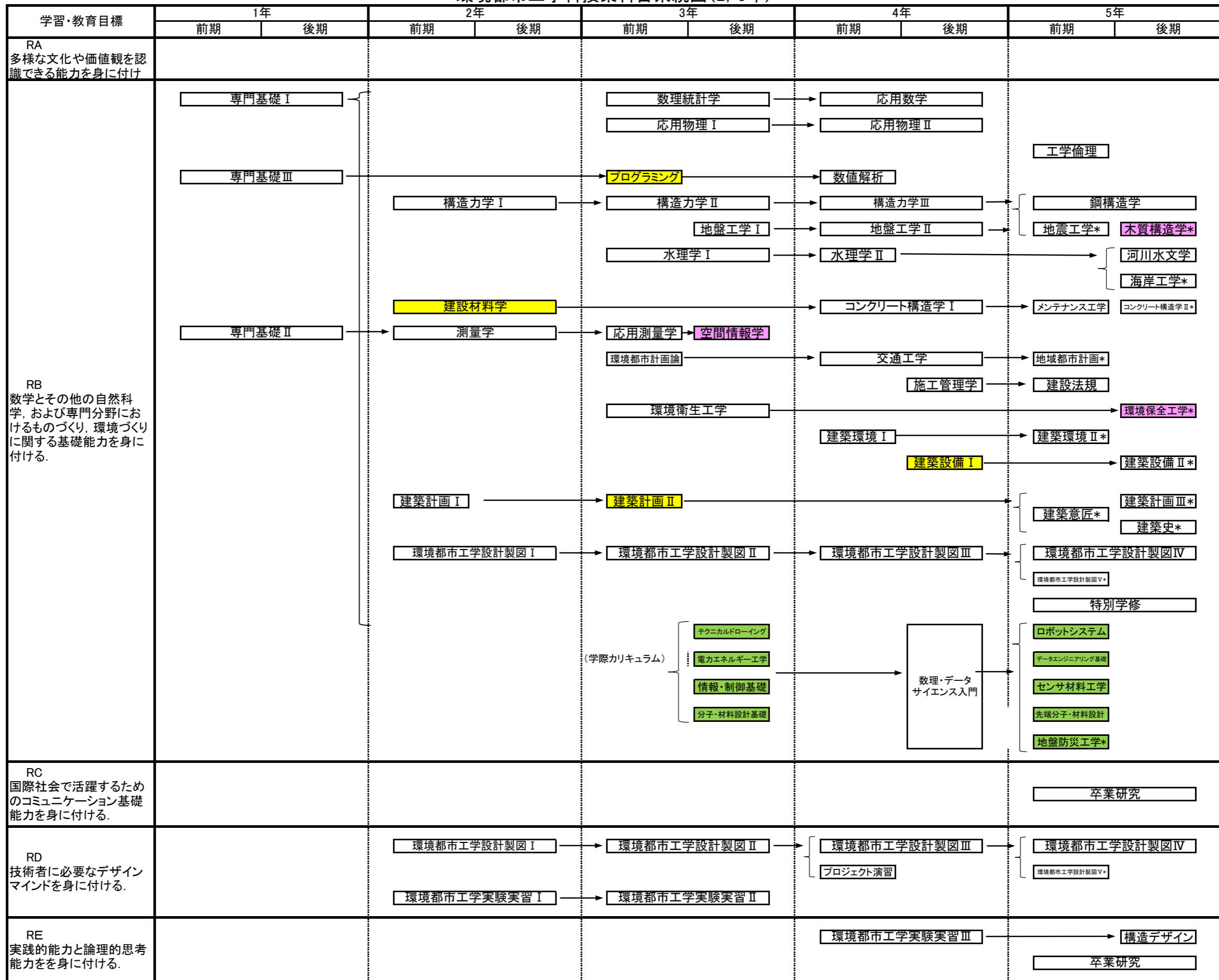
令和8年度本科(準学士課程)の学習・教育目標と科目の配置

環境都市工学科(2~3年)

本科(準学士課程)						
大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年
RA 多様な文化や価値観を認識できる能力を身に付ける。	1 人間社会の基本的な仕組みを理解し、様々な地域の言語や歴史・伝統などの文化を多面的に認識できる。	歴史Ⅰ 地理	歴史Ⅱ 公共社会Ⅰ	公共社会Ⅱ 公共社会Ⅲ	第2外国語Ⅰ	歴史学特講 哲学 第2外国語Ⅱ 第2外国語Ⅲ 言語文化特講 日本文学論
	2 様々な地域における芸術とそれに根ざした価値観を、認識・理解する意識を持てる。	音楽	美術			
RB 数学とその他の自然科学、および専門分野におけるものづくり、環境づくりに関する基礎能力を身に付ける。	1 数学とその他の自然科学に関する基礎知識を理解できる。	基礎解析A 基礎解析B 物理基礎 化学Ⅰ 生物	解析Ⅰ 線形代数 物理 化学Ⅱ	解析Ⅱ 数理統計学 応用物理Ⅰ 基礎数学 基礎物理	解析Ⅲ 応用数学 応用物理Ⅱ	数学特講
	2 専門分野における基礎知識・技術に基づいて情報を処理し、工学的現象を正しく理解できる。	専門基礎Ⅰ 専門基礎Ⅱ 専門基礎Ⅲ	構造力学Ⅰ 測量学 建築計画Ⅰ 建設材料学	プログラミング 構造力学Ⅱ 水理学Ⅰ 地盤工学Ⅰ 環境衛生工学 応用測量学 空間情報学 環境都市計画論 建築計画Ⅱ テクニカルドローイング 電力エネルギー工学 情報・制御基礎 分子・材料設計 基礎	構造力学Ⅲ コンクリート構造学Ⅰ 水理学Ⅱ 建築環境Ⅰ 建築設備Ⅰ 地盤工学Ⅱ 交通工学 施工管理学 数理・データサイエンス入門	工学倫理 鋼構造学 コンクリート構造学Ⅱ 建設複合材料 河川水文学 海岸工学 建築環境Ⅱ 建築設備Ⅱ 地震工学 木質構造学 環境保全工学 地域都市計画 建設法規 建築意匠 建築史 数値解析 メンテナンス工学 建築計画Ⅲ 特別学修 ロボットシステム データエンジニアリング基礎 センサ材料工学 先端分子・材料設計 地盤防災工学

RC 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける。	1	英語による基礎的な対話や文章が理解でき、自分の意見を表現できる。	英語 I コミュニケーション	英語 II	英語 III	英語 IV	英語 V 英語特講
	2	日本語の文章や言語作品を的確に理解・鑑賞でき、自分の思いや主張を適切に日本語の談話や文章で表現できる。	国語 I	国語 II	国語 III 日本語 I	国語表現	日本語表現演習 卒業研究
	3	わかりやすい図表等を作成し、それを用いて日本語により効果的な説明ができる。					卒業研究
RD 技術者に必要なデザインマインドを身に付ける。	1	課題に対して自主的に問題を発見し、解決方法を探索して問題解決能力の重要性を認識できる。		環境都市工学設計製図 I 環境都市工学実験実習 I	環境都市工学設計製図 II 環境都市工学実験実習 II	環境都市工学設計製図 III プロジェクト演習	環境都市工学設計製図 IV 環境都市工学設計製図 V
RE 実践的能力と論理的思考能力を身に付ける。	1	実験・調査などの経験を通してデータの解析法を学び、理論との比較や考察などができる。				環境都市工学実験実習 III	構造デザイン
	2	課題の背景を理解し、習得した知識を生かして適切な方法を選んで実験・調査などを遂行し、データを解析・考察することにより、結果を客観的に説明できる。					卒業研究
	3	身体・健康・スポーツに関する知識と実践力を獲得するために各自の能力に応じて目標を設定し、個人あるいはグループで課題を達成できる。	保健体育 I	保健体育 II	保健体育 III	生涯スポーツ実習	

環境都市工学科授業科目系統図(2, 3年)



*: 選択科目

(2) 専門科目
環境都市工学科

授 業 科 目	単 位 種 別	単 位 数	学 年 別 配 当					備 考	
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年		
必修科目	数理統計学		2			2			
	応用数学	B	2				2		
	応用物理 I		2			2			
	応用物理 II	B	2				2		
	専門基礎 I		2	2					
	専門基礎 II		2	2					
	専門基礎 III		2	2					
	プログラミング		1			1			
	数値解析		1				1		
	構造力学 I		2		2				
	構造力学 II		2			2			
	構造力学 III	B	2				2		
	鋼構造学		2					2	
	コンクリート構造学 I	B	2				2		
	建設材料学		2		2				
	水理学 I		2			2			
	水理学 II		1				1		
	河川水文学		1					1	
	地盤工学 I		1			1			
	地盤工学 II	B	2				2		
	環境衛生工学		2			2			
	建築環境 I		1				1		
	建築設備 I		1				1		
	測量学		2		2				
	応用測量学		1			1			
	空間情報学		1			1			
	環境都市計画論		1			1			
	交通工学		2				2		
	施工管理学	A	2				2		
	建設法規		1					1	
	構造デザイン		1					1	
	メンテナンス工学		1					1	
建築計画 I		1		1					
建築計画 II	A	2			2				
環境都市工学設計製図 I		2		2					
環境都市工学設計製図 II		2			2				
環境都市工学設計製図 III		2				2			
環境都市工学設計製図 IV		2					2		
環境都市工学実験実習 I		2		2					
環境都市工学実験実習 II	C	2			2				
環境都市工学実験実習 III	C	2				2			
卒業研究		9					9		
修得単位計		77	6	11	21	22	17		
選択科目	地震工学		1				1		
	コンクリート構造学 II		1				1		
	地域都市計画		1				1		
	海岸工学		1				1		
	環境保全工学		1				1		
	建築史		1				1		
	建築意匠		1				1		
	建築環境 II		1				1		
	建築設備 II		1				1		
	建築計画 III	A	2				2		
	環境都市工学設計製図 V		1				1		
	木質構造学		1				1		
	特別学修		1				1		
修得単位計		6以上					6以上		
正課外科目	インターンシップ		2			2		卒業認定に必要な単位数には含まれないが、単位認定は行う。	
	学内コンテスト				(別に定める)				
	大学等における学修				(別に定める)				
	技能審査における学修				(別に定める)				
学際カリキュラム	必修科目	プロジェクト演習		1			1	10単位中1単元以上修得	
		数理・データサイエンス入門		1			1		
	修得単位計		2			2			
	選択科目	テクニカルドローイング	A	1			1		
		ロボットシステム		1					1
		電力エネルギー工学	A	1			1		
		データエンジニアリング基礎		1					1
		情報・制御基礎	A	1			1		
		センサ材料工学		1					1
		分子・材料設計基礎	A	1			1		
		先端分子・材料設計		1					1
	#地盤防災工学		1				1		
他大学等科目(学際)		1				1			
修得単位計		1以上				1以上			
修得単位計		3以上				3以上			
修得単位合計 (卒業認定必要単位数)	学際カリキュラム除く	86以上	6	12	20以上	24以上	21以上		
	学際カリキュラム含む					68以上			

#: 専門選択科目に単位振替可能(単位の付与は学際カリキュラム科目又は専門選択科目のいずれか一方とする)

(注) 学修単位の単位種別は次のとおりとする。
A: 15時間の授業と30時間の授業外学修で1単位とする。
B: 30時間の授業と15時間の授業外学修で1単位とする。
C: 45時間の授業で1単位とする。(実験、実習のみ可)

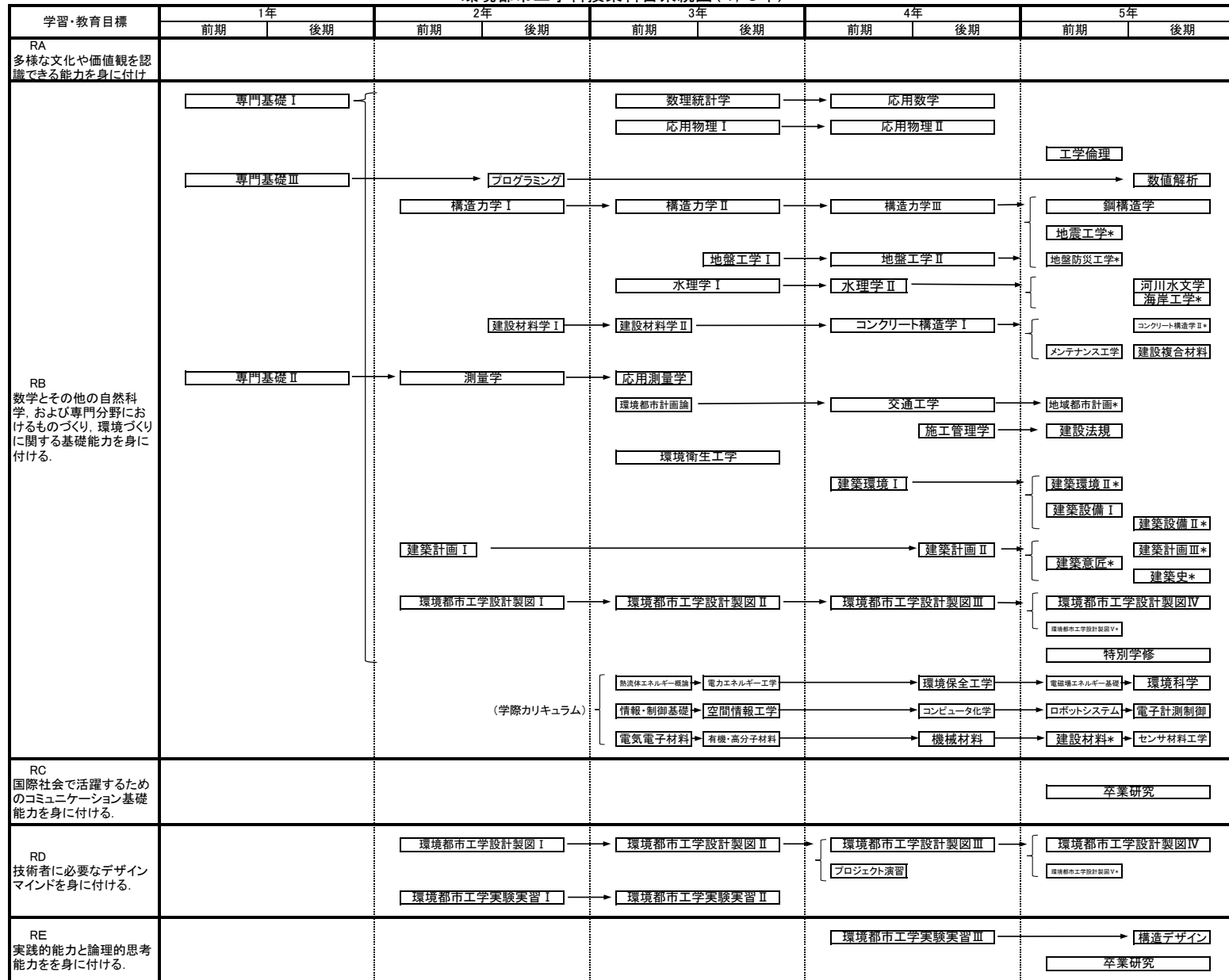
令和8年度本科(準学士課程)の学習・教育目標と科目の配置

環境都市工学科(4~5年)

本科(準学士課程)						
大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年
RA 多様な文化 や価値観を 認識できる能力を身に付ける。	1 人間社会の基本的な仕組みを理解し、様々な地域の言語や歴史・伝統などの文化を多面的に認識できる。	歴史Ⅰ 地理Ⅰ 地理Ⅱ	歴史Ⅱ 公共社会Ⅰ	公共社会Ⅱ 公共社会Ⅲ	第2外国語Ⅰ	歴史学特講 哲学 第2外国語Ⅱ 第2外国語Ⅲ 言語文化特講 日本文学論
	2 様々な地域における芸術とそれに根ざした価値観を、認識・理解する意識を持てる。	音楽	美術			
RB 数学とその他の自然科学、および専門分野におけるものづくり、環境づくりに関する基礎能力を身に付ける。	1 数学とその他の自然科学に関する基礎知識を理解できる。	基礎解析A 基礎解析B 物理基礎 化学Ⅰ 生物	解析Ⅰ 線形代数 物理 化学Ⅱ	解析Ⅱ 数理統計学 応用物理Ⅰ 基礎数学 基礎物理	解析Ⅲ 応用数学 応用物理Ⅱ	数学特講
	2 専門分野における基礎知識・技術に基づいて情報を処理し、工学的現象を正しく理解できる。	専門基礎Ⅰ 専門基礎Ⅱ 専門基礎Ⅲ	構造力学Ⅰ 測量学 建築計画Ⅰ 建設材料学	構造力学Ⅱ 建設材料学Ⅱ 水理学Ⅰ 地盤工学Ⅰ 環境衛生工学 応用測量学 環境都市計画論 熱流体エネルギー概論 電力エネルギー工学 情報・制御基礎 空間情報工学 電気電子材料 有機・高分子材料	構造力学Ⅲ コンクリート構造学Ⅰ 水理学Ⅱ 建築環境Ⅰ 地盤工学Ⅱ 交通工学 施工管理学 建築計画Ⅱ 環境保全工学 コンピュータ化学 機械材料	工学倫理 鋼構造学 コンクリート構造学Ⅱ 建設複合材料 河川水文学 海岸工学 建築環境Ⅱ 建築設備Ⅰ 建築設備Ⅱ 地盤防災工学 地震工学 地域都市計画 建設法規 建築意匠 建築史 数値解析 メンテナンス工学 建築計画Ⅲ 特別学修 電磁場エネルギー基礎 環境科学 ロボットシステム 電子計測制御 建設材料 センサ材料工学

RC 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける。	1	英語による基礎的な対話や文章が理解でき、自分の意見を表現できる。	英語 I コミュニケーション	英語 II	英語 III	英語 IV	英語 V 英語特講
	2	日本語の文章や言語作品を的確に理解・鑑賞でき、自分の思いや主張を適切に日本語の談話や文章で表現できる。	国語 I	国語 II	国語 III 日本語 I	国語表現	日本語表現演習 卒業研究
	3	わかりやすい図表等を作成し、それを用いて日本語により効果的な説明ができる。					卒業研究
RD 技術者に必要なデザインマインドを身に付ける。	1	課題に対して自主的に問題を発見し、解決方法を探索して問題解決能力の重要性を認識できる。		環境都市工学設計製図 I 環境都市工学実験実習 I	環境都市工学設計製図 II 環境都市工学実験実習 II	環境都市工学設計製図 III プロジェクト演習	環境都市工学設計製図 IV 環境都市工学設計製図 V
RE 実践的能力と論理的思考能力を身に付ける。	1	実験・調査などの経験を通してデータの解析法を学び、理論との比較や考察などができる。				環境都市工学実験実習 III	構造デザイン
	2	課題の背景を理解し、習得した知識を生かして適切な方法を選んで実験・調査などを遂行し、データを解析・考察することにより、結果を客観的に説明できる。					卒業研究
	3	身体・健康・スポーツに関する知識と実践力を獲得するために各自の能力に応じて目標を設定し、個人あるいはグループで課題を達成できる。	保健体育 I	保健体育 II	保健体育 III	生涯スポーツ実習	

環境都市工学科授業科目系統図(4, 5年)



*: 選択科目

(2) 専門科目
環境都市工学科

授業科目	単位種別	単位数	学年別配当					備考	
			1年	2年	3年	4年	5年		
数理統計学		2			2				
応用数学	B	2				2			
応用物理 I		2			2				
応用物理 II	B	2				2			
専門基礎 I		2	2						
専門基礎 II		2	2						
専門基礎 III		2	2						
プログラミング		1		1					
数値解析		1					1		
構造力学 I		2		2					
構造力学 II		2			2				
構造力学 III	B	2				2			
鋼構造学		2					2		
コンクリート構造学 I	B	2				2			
建設材料学 I		1		1					
建設材料学 II		1			1				
建設複合材料		1					1		
水理学 I		2			2				
水理学 II	A	2				2			
河川水文学		1					1		
地盤工学 I	A	2			2				
地盤工学 II	B	2				2			
環境衛生工学		2			2				
建築環境 I		1				1			
建築設備 I		1					1		
測量学		2		2					
応用測量学		1			1				
環境都市計画論	A	2			2				
交通工学		2				2			
施工管理学	A	2				2			
建設法規		1					1		
構造デザイン		1					1		
建築計画 I		1		1					
建築計画 II	A	2				2			
環境都市工学設計製図 I		2		2					
環境都市工学設計製図 II		2			2				
環境都市工学設計製図 III		2				2			
環境都市工学設計製図 IV		2					2		
環境都市工学実験実習 I		2		2					
環境都市工学実験実習 II	C	2			2				
環境都市工学実験実習 III	C	2				2			
卒業研究		9					9		
修得単位数計		79	6	11	20	23	19		
*地盤防災工学		1					1		
*地震工学		1					1		
*コンクリート構造学 II		1					1		
*地域都市計画		1					1		
*海岸工学		1					1		
*メンテナンス工学		1					1		
建築史		1					1		
建築意匠		1					1		
*建築環境 II		1					1		
*建築設備 II		1					1		
*建築計画 III	A	2				2			
環境都市工学設計製図 V		1					1		
特別学修		1					1		
修得単位数計		4以上					4以上		
正課外科目	インターンシップ	2				2		卒業認定に必要な単位数には含まれないが、単位認定は行う。	
	学内コンテスト				(別に定める)				
	大学等における学修				(別に定める)				
	技能審査における学修				(別に定める)				
学際カリキュラム	プロジェクト演習	1				1			
選択科目	環境・エネルギー群	熱流体エネルギー概論	A	1			1		
		電力エネルギー工学	A	1			1		
		電磁場エネルギー基礎	A	1				1	
		環境科学	A	1				1	
		環境保全工学	A	1				1	
		他大学等科目(学際)	2以内					2以内	
	情報・制御群	ロボットシステム	A	1				1	
		電子計測制御	A	1				1	
		情報・制御基礎	A	1		1			
		コンピュータ化学	A	1			1		
		空間情報工学	A	1		1			
	他大学等科目(学際)	2以内					2以内		
	材料科学群	機械材料	A	1				1	
		電気電子材料	A	1		1			
センサ材料工学		A	1				1		
有機・高分子材料		A	1		1				
# 建設材料		A	1					1	
他大学等科目(学際)	2以内					2以内			
修得単位数計		2以上				2以上			
修得単位数計		3以上				3以上			
学際カリキュラム除く		86以上	6	11	20以上	23以上	23以上		
学際カリキュラム含む		86以上	6	11	20以上	23以上	69以上		

*:学際連携科目 #:専門選択科目に単位振替可能(単位の付与は学際カリキュラム科目又は専門選択科目のいずれか一方とする)

環境都市工学科の全課程の修了の認定に必要な単位数は、平成30年度以降の入学者については167単位以上(そのうち、一般科目については81単位以上、専門科目については86単位以上)、平成29年度以前の入学者については169単位以上(そのうち、一般科目については83単位以上、専門科目については86単位以上)とする。

(注)学修単位の単位種別は次のとおりとする。
A:15時間の授業と30時間の授業外学修で1単位とする。
B:30時間の授業と15時間の授業外学修で1単位とする。
C:45時間の授業で1単位とする。(実験、実習のみ可)